• ソニー用お客様ご登録カードに関するお問い合わせは、デジタルベガお客様ご登録窓口へ

ナビダイヤル 0570-00-6470
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）
携帯電話・PHSでのご利用は 0586-25-6470
受付時間：月〜金　9:00〜18:00（年末年始祝日を除く）

同梱のソニー用お客様ご登録カードは、必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

• 本商品に関するお問い合わせは、下記のお客様ご相談センターへ

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル.................. 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は...... 03-5448-3311
● Fax 0466-31-2595

受付時間：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

SONY　LCD プロジェクションデジタルテレビ　KDF-50HD700

SONY

4-082-909-02 (1)

KDF-50HD700

LCD プロジェクションデジタルテレビ取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

操作

準備

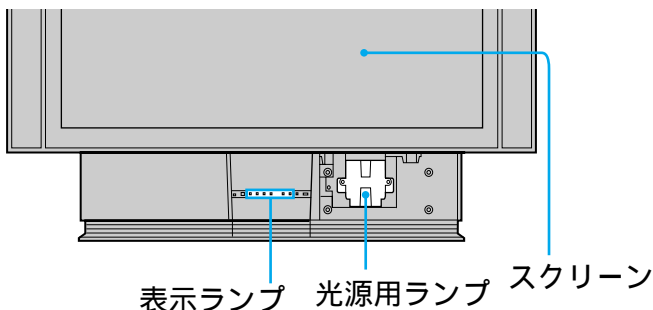
この取扱説明書での放送の表記について

地上波
NHKや民放各局のテレビ放送(VHF/UHF)です。東京タワーなど地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

BS(またはBSデジタル)
2000年12月に本放送が開始されたBSデジタル放送です。
例:BS放送、BSチャンネル、BSテレビ、BSラジオ、BSデータなど

BSアナログ
BSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル(NHK衛星第一/第二、NHKハイビジョン、WOWOW)と、独立音声ラジオ放送(St. GIGA)です。
例:BSアナログ放送、BSアナログチューナー内蔵テレビ、BSアナログチューナー内蔵ビデオなど

ハイビジョン放送
BSアナログでのBS9チャンネル(NHKハイビジョン)の放送です。
BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送HDではありません。

テレビをより快適にご覧いただくために

表示ランプ
テレビの動作状態を確認できます。赤い表示ランプが点滅しているときは、「自己診断表示」(☞122ページ)をご覧ください。

スクリーン
反射による映り込みを押さえるため、特殊な表面処理を施してあります。
誤ったお手入れをされると性能を損なうことがありますので、ご注意ください。お手入れについては、「使用上のご注意」(☞134ページ)をご覧ください。

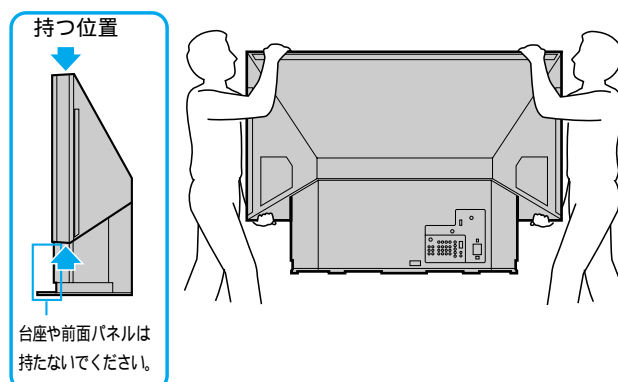
光源用ランプ
本機は、光源として光源用ランプを使っています。以下のことにご注意ください。
- 電源を入れてから画面が明るくなるまで多少時間がかかります(最長1分)。
- 光源用ランプは消耗品です。映像が暗くなったら、別売りの新しいランプユニットXL-2000Jと交換してください。再び、ご購入時の明るさで楽しめます。

ご注意
- 光源用ランプのランプカバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと電源が入りません。
光源用ランプの交換については、☞6ページをご覧ください。
- テレビを使用中は光源用ランプから強い光が出ています。目を痛める恐れがありますので、テレビの内部を覗き込まないでください。

ご使用になる前に

テレビを運ぶとき

必ず2人以上で運び、台座部分や前面パネルは持たないでください。
台座部分や前面パネルがはずれるおそれがあり危険です。

図のように、片手を側面の下側にかけ、もう一方の手で前面上部を支えて、運んでください。

テレビ使用上のご注意

画像を美しくご覧いただくために
- 直射日光や室内灯などで直接スクリーン面を照らさないようご注意ください。
- スクリーン面に手を触れたり、堅いもので傷をつけたりしないようにご注意ください(☞134ページ)。

結露について
冬、暖房をし始めた部屋や、湿度の高い部屋に置いたり、寒いところから急に暖かいところに移したりすると、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露すると画像がゆがんだり、色がなくなることがあります。このような場合は結露がなくなるまでしばらくお待ちください。

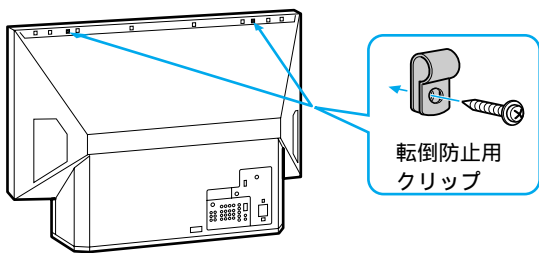
長時間テレビを見ないときの電源は

お休みになるときやお出かけになるときなどは、テレビ本体の電源スイッチで電源を切ってください。

テレビの転倒を防ぐために

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。また、本機をテレビスタンドに設置しているときに、お子様が本機に登ったり、本機を押したりすると、本機がテレビスタンドから落ちる恐れがあります。以下の方法に従ってテレビの転倒を防いでください。

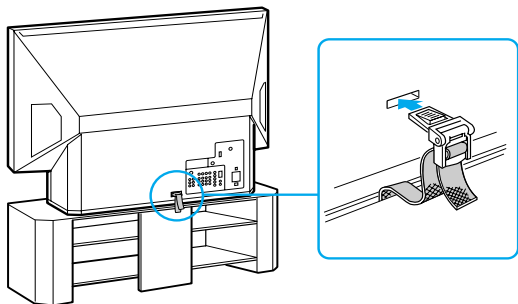
付属の転倒防止用クリップを使う

① 転倒防止用クリップ（付属）を、テレビの背面（左右2か所）にネジで固定する。

② 丈夫なひもまたはクサリなどを、①で取り付けたクリップに通して、壁または柱などにしっかり固定する。

テレビスタンドの固定ベルト（別売り）を使う

- テレビスタンド固定ベルト（別売り）BLT-R10

固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）を使う

- 固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）SU-50DX

壁ぎわに設置するときは

壁から10cm以上離して設置してください（☞69ページ）。

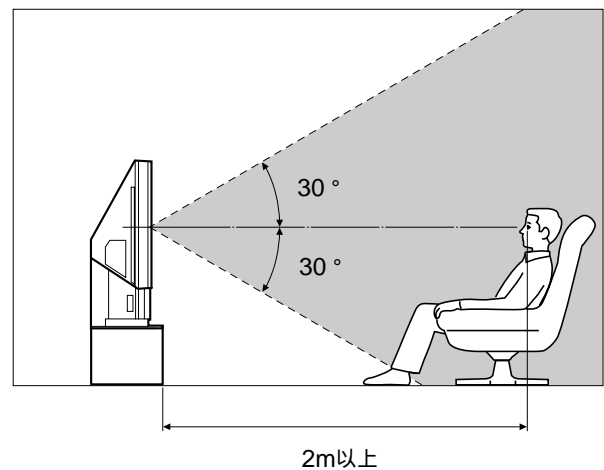
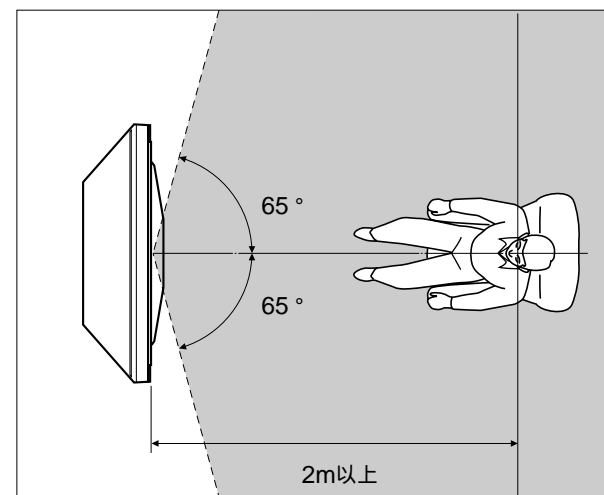
電源を切るときは

必ず、本体またはリモコンの電源スイッチで電源を切ってください。電源を切った後も、約2分間は冷却用のファンが動いています。電源プラグを抜くときや、ブレーカーを切るときは、電源スイッチを切って数分間たってから行ってください。

テレビの見やすい位置

本機は見る位置により、見やすさが多少異なります。また、画面を間近から見ると、目や神経などが疲れることがあります。下の図のように設置して、見やすい場所からご覧ください。

左右130°、上下60°以内の範囲で、本機より2m以上離れた場所からご覧いただけます。
ただし、長時間、ご覧になるときは、できるだけ離れてご覧ください。

横から見たところ

上から見たところ

光源用ランプの交換について

光源として使われているランプには寿命があります。映像が暗くなったり、色がおかしくなったらランプが消耗していますので、新しいランプ（別売り）と交換してください。

下記の注意事項を守らないと、高温・火災などにより死亡や大けがになることがあります。

- 新しいランプは、**必ず交換用ランプXL-2000J（別売り）をお使いください。**それ以外のものをお使いになると、故障の原因となります。
- **ランプ交換以外の目的でランプを取り出さないでください。**やけどや火災の原因となることがあります。
- ランプを交換する前に**必ず電源を切り、数分たってから電源プラグを抜いてください。**（電源スイッチを切っても、約2分間は冷却用ファンが動いています。）
- ランプ前面のガラス面などは、電源を切って30分たっても100度以上になっていることがあります。さわるとやけどの原因となりますので、**十分冷えてからランプを交換してください。**
- **取り出したランプをお子様の手の届くところや、燃えやすい物の近くには置かないでください。**
- 取り出した**ランプに水などをかけたり、ランプ内部に異物を入れないでください。**ランプが破損する場合があり危険です。
- ランプを抜いた後の**ランプ収納部**に金属類や燃えやすい物などの**異物を入れないでください。**火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますのでランプ収納部に**手を入れないでください。**
- **交換用ランプは確実に取り付けてください。**正しく取り付けられていないと、画面が暗くなったり、火災の原因となることがあります。

使用済みランプの回収のお願い

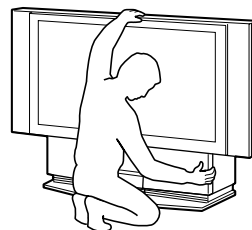
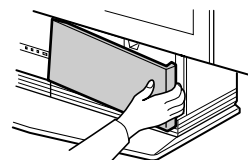
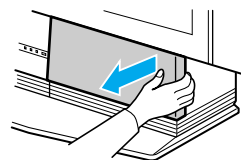
ソニーでは、環境保護の観点から、使用済みランプを回収しリサイクルしています。そのため、お手数ですが、使用済みランプは、交換した新しいランプの空き箱に入れて、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にお渡しくださるようお願いいたします。

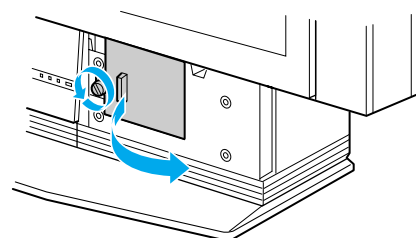
ご注意

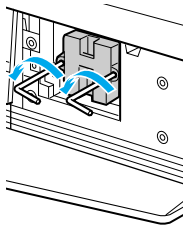
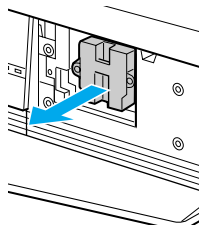
交換用ランプ前面のガラス面やランプ収納部のガラス部分には直接手で触れたり、汚したりしないでください。テレビの画質の悪化や、ランプの寿命が短くなる原因となります。

1 本体の電源スイッチを切り、数分たってから電源プラグをはずす。

（電源スイッチを切っても、約2分間は冷却用ファンが動いています。）
電源プラグは、電源スイッチを切って数分たってから抜いてください。ランプ交換は、電源プラグを抜いて30分以上たってから行ってください。
用意した交換用ランプを箱から出しておいてください。

2 前面パネルをはずす。

前面パネルは、テレビを動かないように押さえながらはずす。

右側の前面パネルの端に指をかけ、手前に引く。

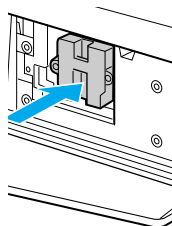
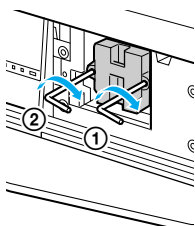
3 コインなどを使ってねじをゆるめ、ランプカバーをはずす。

4 ランプ固定ねじ2本をゆるめ、ランプを引き出す。

使用直後のランプは非常に高温になっています。ランプ前面のガラス面およびその周辺とランプ収納部のガラス部分には絶対さわらないようご注意ください。

左右2か所のねじをランプ取付用レンチ（付属）でゆるめる。

取っ手を持って手前に引き出す。

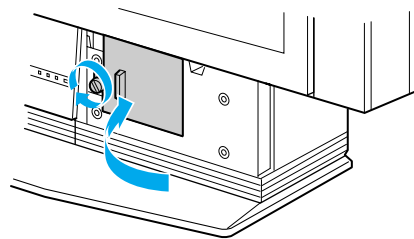
ご注意

取り出したランプはすぐに交換用ランプの空き箱に収納してください。また、このとき、ポリ袋の中には入れないでください。

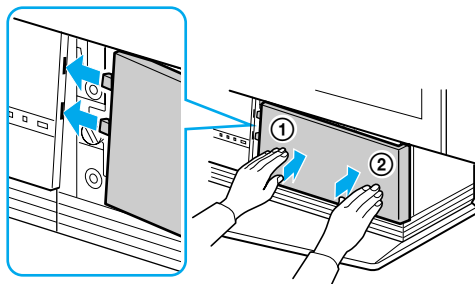
5 新しいランプを取り付ける。

ランプは確実に取り付けてください。

ランプをしっかりと元どおりに入れる。

①、②の順に2カ所のねじをランプ取付用レンチ（付属）でしっかりと締める。

6 ランプカバーを取り付ける。

ランプカバーは確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

右側の突起部を本体の穴に合わせて、元どおりにランプカバーを取り付ける。

ランプカバーをしっかり取り付けていないときは、自己診断表示機能が働き、スタンバイ/オフタイマーランプが3回点滅します。（☞122ページ）

7 前面パネルを取り付ける。

前面パネルの突起部を本体の穴に合わせて、①（突起側）、②の順に押す。

ご注意

- 交換用ランプXL-2000Jについては、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 光源用ランプの交換や接続コードの抜き差しを、勢いよく行わないでください。テレビ本体が動き、落下や床・スタンドなどに傷を作る原因となります。

チャンネルの選びかたガイド

テレビ（地上波）・BSそれぞれに、状況に合わせて、チャンネルの選び方を使い分けると便利です。

テレビ（地上波）を見る

①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンで直接選ぶ

ちょっと一言
BSデジタルや、本機につないだ他の機器の画像を見ている（☞19ページ）ときに押しても、選んだ地上波チャンネルに切り換わります。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ

① 地上波になっていないときは、地上ボタンを押して、地上波に切り換える。

② チャンネル＋/－ボタンを押す。

ちょっと一言
地上波のチャンネルの中で順送り選局します。

d（連動データ）ボタン

自動的に電源が入るチャンネルポン
次のボタンは、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときに押せば、自動的に電源が入り、（　）内のチャンネルが映ります。

- チャンネル＋/－ボタン（最後に見ていたチャンネル）
- ①〜⑫/選局の地上波用数字ボタン（選んだ地上波チャンネル）
- 地上ボタン（最後に見ていた地上波チャンネル）
- BSボタン（最後に見ていたBSチャンネル）
- 1〜12/選局のBS用数字ボタン（選んだBSテレビチャンネル）

BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見るときは

BSテレビやBSラジオを視聴しているときにd（連動データ）ボタンを押す。

詳しくは「BSテレビやBSラジオと連動したBSデータを見る［d(連動データ)ボタン］」（☞31ページ）をご覧ください

青いボタンや青い文字のボタンは、BSの操作専用ボタンです。

番組表から選ぶ

① **BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。**

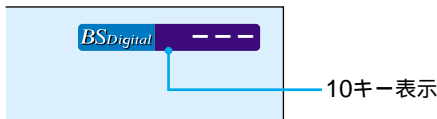
② **見たいBSの番組表を選ぶ。**
選んだ放送に切り換わります。

 または または

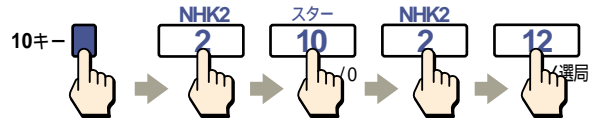
③ **番組表ボタンを押す。**
選んだ放送の番組表が表示されます。

④ **△/▽/◁/▷で見たい番組を選び、真中を押しこんで決定する。**
詳しくは「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞40ページ）をご覧ください。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶ

① **10キー ボタンを押す。**

② **1 〜 10 までのBS用数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。**

③ **12 ボタンを押す。**（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）202chを見る時

ご注意
チャンネルを選ぶ前に10キー表示が消えたときは、10キー ボタンを押して、手順①からやり直してください。

BSテレビを 1 〜 12 のBS用数字ボタンで直接選ぶ

選んだBSテレビ局の代表チャンネルになります。

ちょっと一言
- 地上波を見ているときに押しても、選んだBSテレビ局の代表チャンネルに切り換わります。
- 11 、12 ボタンに、お好きなBSチャンネルを登録できます（☞98ページ）。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ

① **BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。**

② **見たいBSを選ぶ。**

 または または

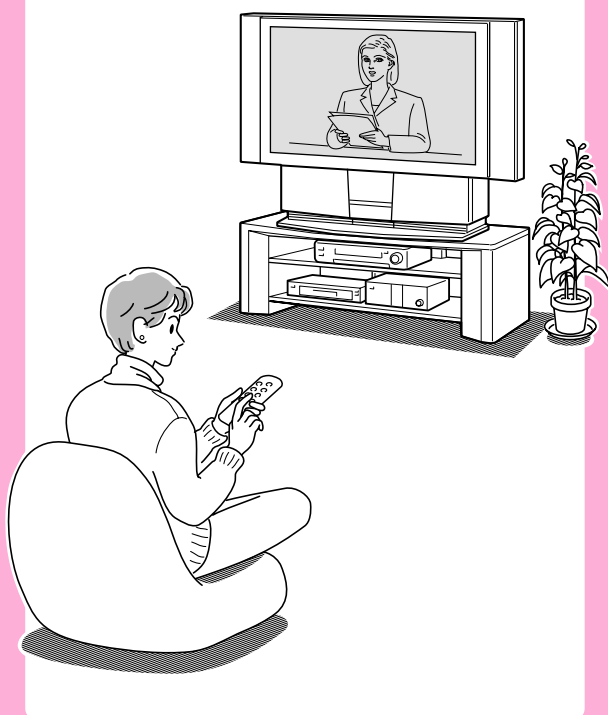
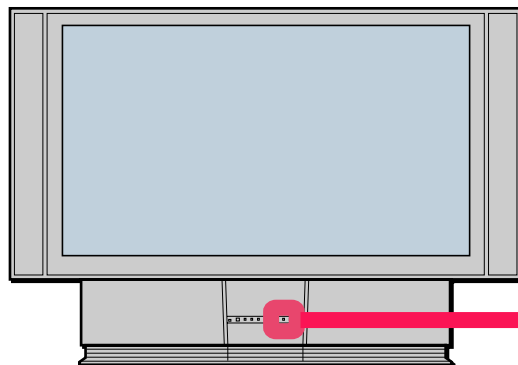
③ **チャンネル＋/－ボタン押す。**

押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。

ちょっと一言
選んだBSのチャンネル内で順送り選局します。例えば、BSテレビのときは、BSラジオやBSデータに飛ぶことなく、BSテレビのチャンネルの中で順送り選局します。

ちょっと一言
BS視聴中、テレビ ボタン、ラジオ ボタン、独立データ ボタンは、見たいBSに切り換えるときに便利です。BSテレビを見ているときに、ラジオ ボタンを押せば、最後に選んでいたBSラジオチャンネルに切り換わります。本体のBS切換ボタンでも切り換えられます。

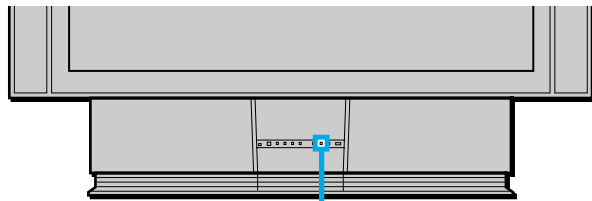
見る

ここでは、テレビ（地上波）をはじめ、ビデオやテレビゲームなど本機につないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。また、ワイド画面の楽しみかたを説明しています。
加えて、地上波やBSデジタル、本機につないだ映像のどれを見ているときでも選べる、お好み画質や音質モード、サラウンドなど多彩な機能の操作も説明しています。

テレビ（地上波）を見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

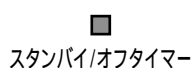
地上ボタン
地上波になっていないときに、地上波に切り換えます。地上ボタンを押すとチャンネル＋/－ボタンで、地上波が選べるようになります。

ちょっと一言
省電力のため、地上波放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

1 本機の電源を入れる。

ご注意
電源を切って約5秒以上たってから、再び電源を入れようとしても、緑色の電源ランプが点滅し、すぐに画像や音声は出ません。画像や音声が出るまで数十秒お待ちください。これは、光源用ランプの負担を軽くし、光源用ランプの不必要な消耗を防ぐためです。電源を切って約5秒以内に、再び電源を入れたときは、すぐに画像や音声が出ます。

スタンバイ/オフタイマー

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

電源

スタンバイ/オフタイマー

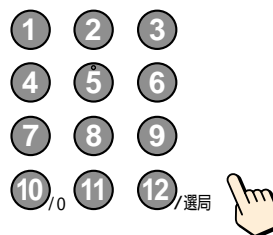
スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
本体の電源スイッチを押す。

電 源

自動的に電源が入るチャンネルポン
①～⑫/選局の地上波用数字ボタンを押してください。
本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときに押せば、自動的に電源が入り、選んだ地上波チャンネルが映ります。
また、地上ボタンを押すと、最後に見ていた地上波チャンネルが映ります。

2 ①～⑫/選局の地上波用数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10/0 11 12/選局

ちょっと一言
BSデジタルや本機に接続した他の機器の画像を見ているときに押しても、選んだ地上波チャンネルに切り換わります。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶには

① 地上波になっていないときは、地上ボタンを押して、地上波に切り換える。
② チャンネル＋/－ボタンを押す。

3 音量＋/－ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言
音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

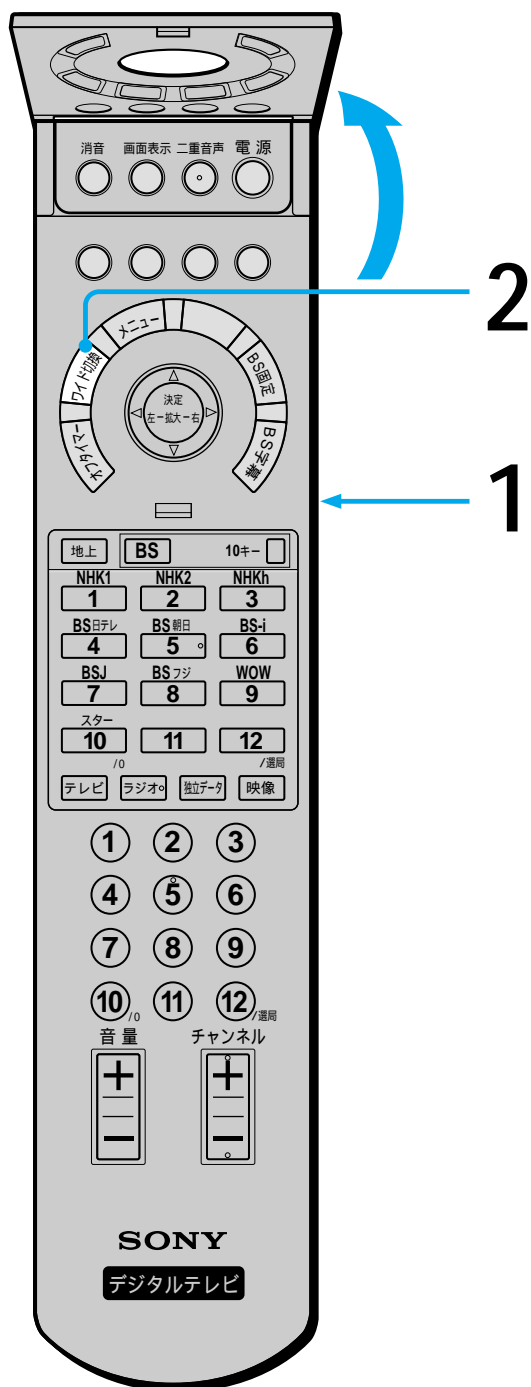
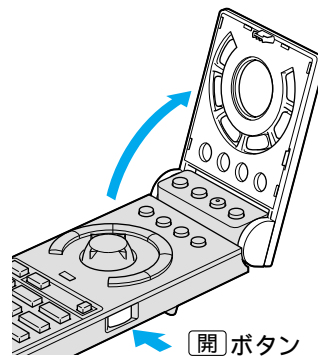
テレビ（地上波）をワイド画面で楽しむ

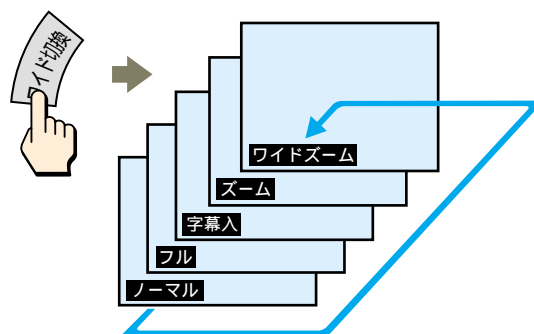
自動でワイド画面にする[オートワイド]

通常のテレビ（地上波）放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、「（画面モード）」メニューの「オートワイド設定」で、「オートワイド」が「2」、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されているとき（☞58～59ページ）を示しています。BSデジタルのワイド画面での画像の見えかたについては、「BSをワイド画面で楽しむ」（☞36ページ）をご覧ください。

オリジナルの映像（映像の種類）	画面モード	オートワイドの映像
• **画面横縦比4：3のテレビ（地上波）**		違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
• **ワイドクリアビジョン放送（横縦比16:9）** • **ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）** • **横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS2方式）**		画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）
• **シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）**		画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕が読めるように上下を圧縮して画面に入れます。
• **横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS2方式）**		天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
• **「（画面モード）」メニューの「オートワイド設定」で、「オートワイド」が「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき（☞58～59ページ）**		拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

手動でワイド画面に切り換える [ワイド切換ボタン]

オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

1 **[開]ボタンを押して、フタを開ける。**

2 **ワイド切換ボタンをくり返し押す。**

1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、本機が最適な画面モードをすばやく選んで表示します*。その後、押すたびに、次のように画面モードが変わります。画面モードの詳しい説明については、☞12、36ページをご覧ください。

* 「画面モード」メニューの「オートワイド設定」で、「オートワイド」が「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき（☞58～59ページ）は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま（「ノーマル」のまま）になります。

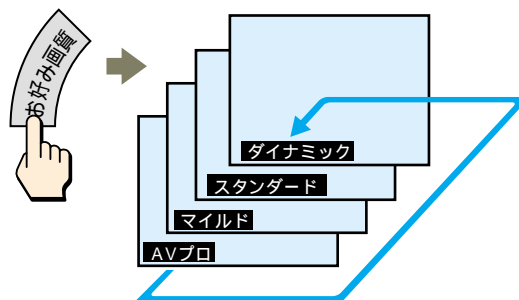
ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞58～59ページ）。

画質を選ぶ
[お好み画質ボタン]

お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。
また「マイルド」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞61ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「スタンダード」を選ぶことをおすすめします。
画質は、テレビ（地上波）、BSデジタル、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに、別々に設定できます。

お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを上げたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード
明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

マイルド
DVDやデジタル処理された放送などで見られるザラザラとしたノイズやギザギザした輪郭を軽減し、柔らかな見やすい画面になります。

AVプロ
色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます（☞61ページ）。

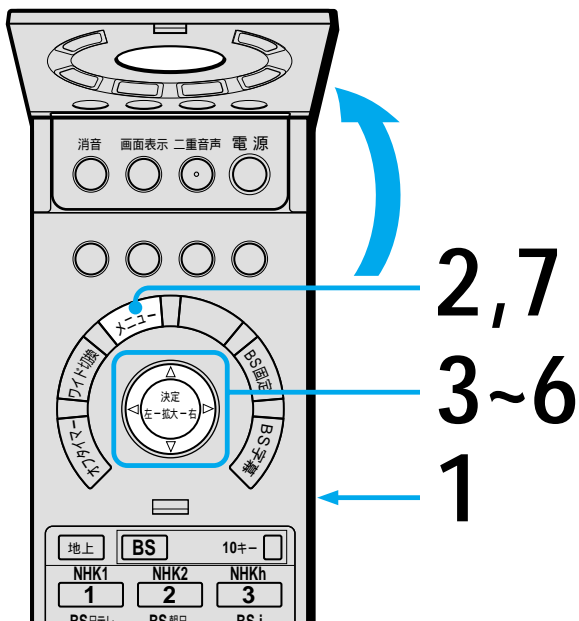
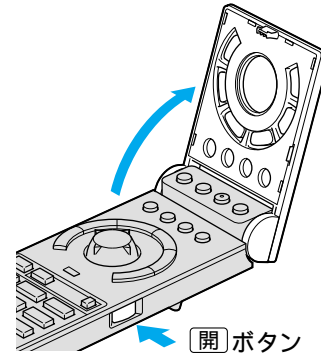
ご注意
映像 ボタンを押しても、画質は切り換わりません。映像 ボタンは、BSのマルチビュー放送を見るとき（☞44ページ）や、BSの降雨対応放送（☞28ページ）のときに使います。

音質を選ぶ
[音質モード]

「(画質/音質)」メニューの「音質モード」で、映像の内容や音声に合わせた音質設定を楽しめます。

「音質モード」は、テレビ（地上波）やBSデジタル、本機につないだ映像のどれを見ているときでも楽しめます。また、地上波、BSデジタル、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに、別々に設定できます。

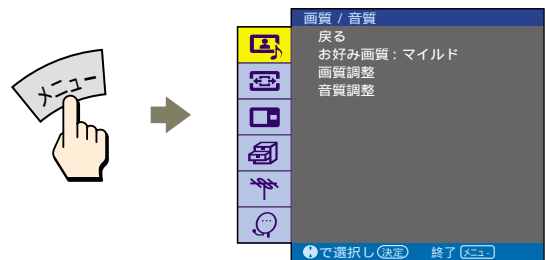
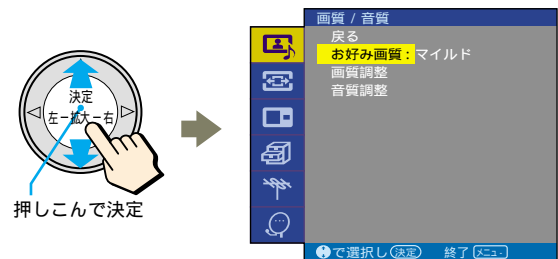
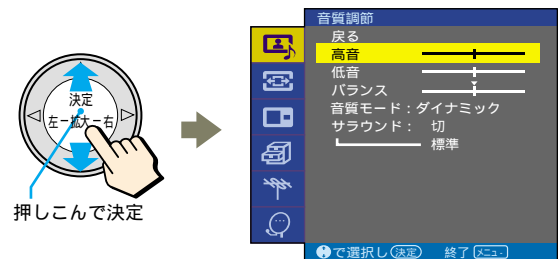
ちょっと一言

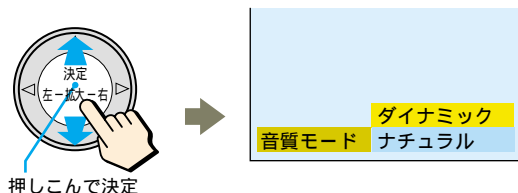
「音質モード」以外の音質調整も同時にできます。詳しくは、「立体感のある音声にする［サラウンド］」（☞16ページ）や「音質を調整する」（☞64ページ）をご覧ください。

1 **開ボタンを押して、フタを開ける。**

2 **メニューボタンを押す。**

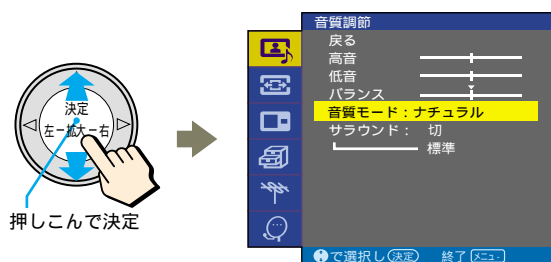
3 **△/▽で「画質/音質」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

4 **△/▽で「音質調整」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

次のページにつづく

音質を選ぶ
[音質モード]（つづき）

5 **△/▽で「音質モード」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

6 **△/▽で「ダイナミック」または「ナチュラル」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

ダイナミック
重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質です。映画やロックコンサート、モータースポーツ番組など、迫力ある映像や音声の番組に向いています。

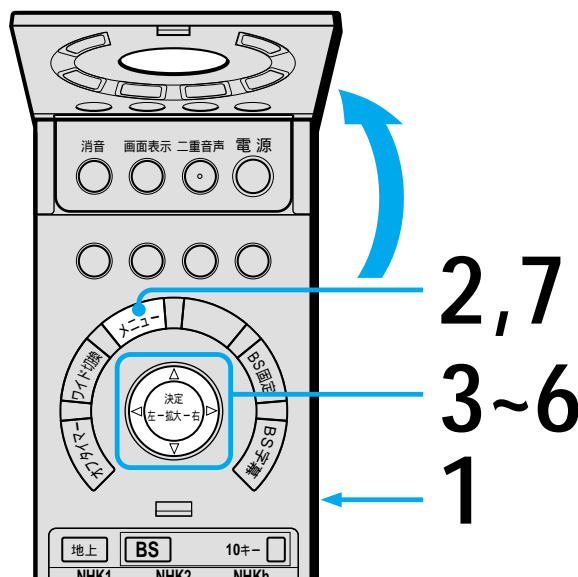
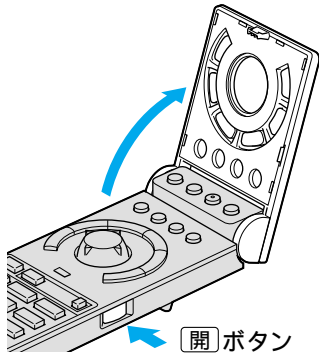
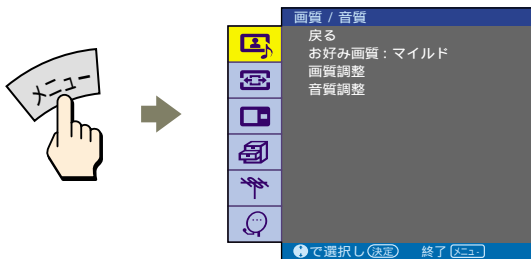
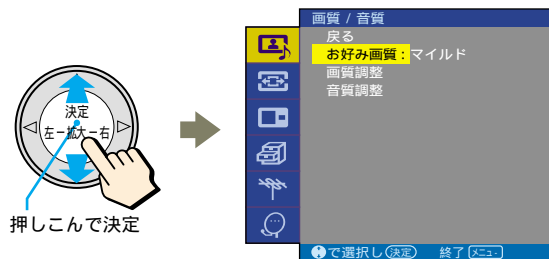
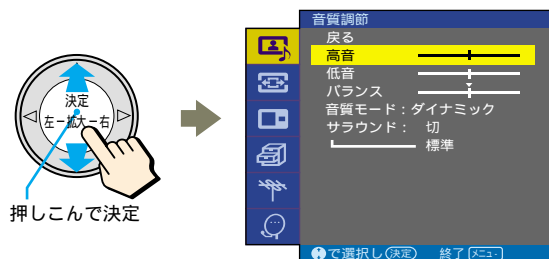
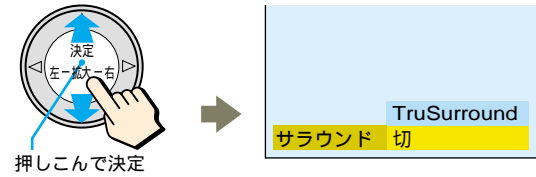
ナチュラル
オリジナルの音源を生かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質です。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどの番組に適しています。

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

立体感のある音声にする
[サラウンド]

「(画質/音質)」メニューで、「サラウンド」を「TruSurround」*に設定すると、映画館にいるような立体感にあふれ、動きのある音声を楽しめます。
それまで前方からだけ聞こえていた音声が、サラウンド（取り囲む）の言葉どおり、音場が広がり、音の空間に包み込まれたように聞こえてきます。

「サラウンド」は、テレビ（地上波）やBSデジタル、本機につないだ映像のどれを見ているときでも楽しめます。また、地上波、BSデジタル、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに、別々に設定できます。

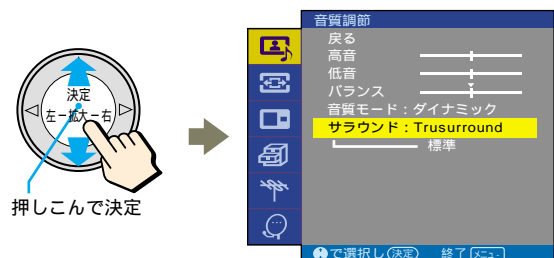
* TruSurroundと（●）記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

ちょっと一言
「サラウンド」以外の音質調整も同時にできます。詳しくは、「音質を選ぶ [音質モード]」（☞15ページ）や「音質を調整する」（☞64ページ）をご覧ください。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 メニューボタンを押す。

3 △/▽で「画質/音質」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「音質調整」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「サラウンド」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で「TruSurround」または「切」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

通常の放送やステレオ放送のときに

TruSurround（トゥルーサラウンド）:	本機のスピーカーから、映画館にいるような臨場感あふれる音声を再現します。
切:	オリジナルの音声をそのまま再現します。

BSデジタルのサラウンドステレオ放送のときに

TruSurround:	映画などに使われている5.1ch（チャンネル）サラウンドステレオなどの音声を、本機のスピーカーで仮想的に再現します。（TruSurround（トゥルーサラウンド） Digital（デジタル） 5.1ch（チャンネル））
切:	5.1chサラウンドステレオなどの音声を、通常のステレオ放送（2ch）に変換して再現します。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

テレビ(地上波)の音声を切り換える

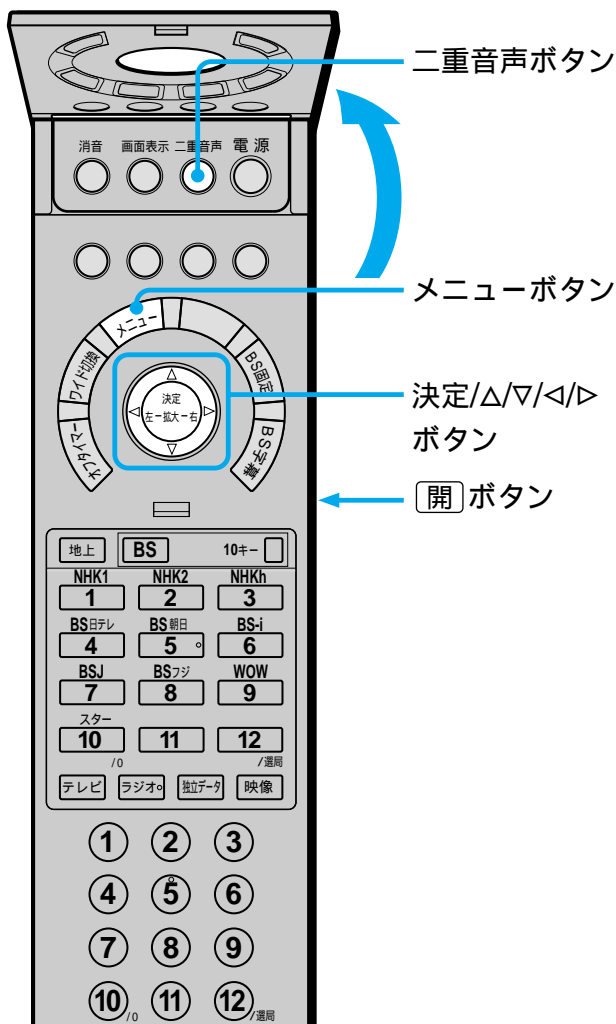
[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

ご注意

二重音声放送がないときは切り換わりません。

ちょっと一言

BSデジタルでの二重音声や第二音声への切り換えは、☞42ページをご覧ください。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左側の音声	右側の音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

例:「主/副」を選んだとき

ちょっと一言

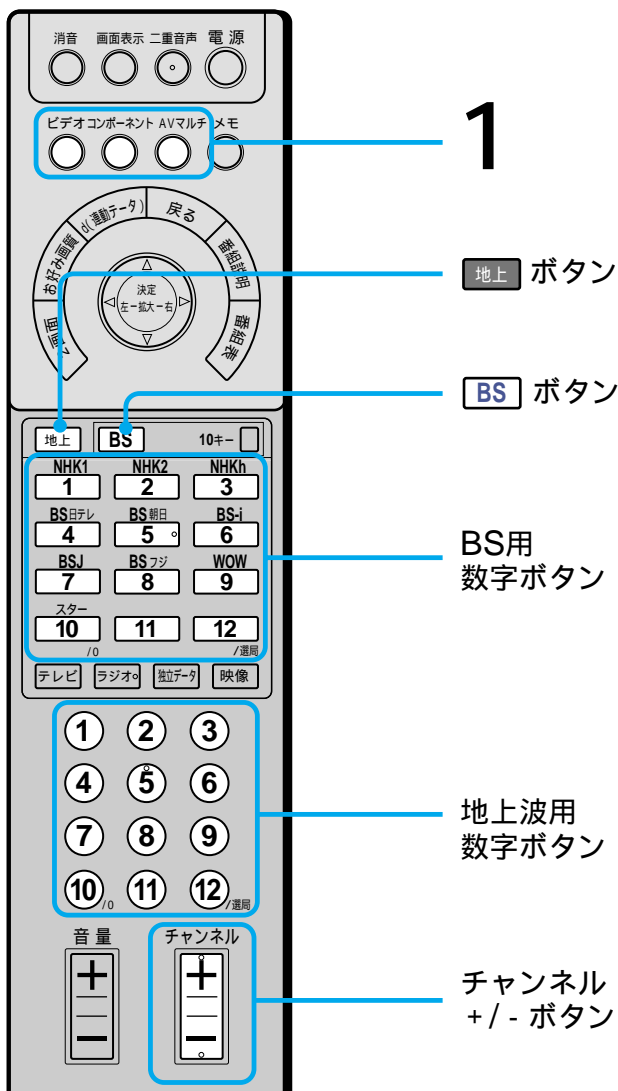
2画面のときは、操作画面の音声が切り換わります。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1. **リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。**
2. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **△/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
4. **△/▽で「初期設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
5. **「オートステレオ」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
6. **△/▽で「切」にして、真ん中を押し込んで決定する。**
7. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

本機につないだ機器の画像を見る［入力切換］

入力を切り換えて、本機につないだビデオ機器やデジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞106〜121ページをご覧ください。

ちょっと一言

本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。本体の入力切り換えボタンを押すと、押すたびに、次のように入力が切り換わります。

地上波→BS→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4
↑　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓
AVマルチ←コンポーネント2←コンポーネント1

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ	• ビデオ1入力端子	ビデオ1*1
	• ビデオ2入力端子	↓ ビデオ2*1
	• ビデオ3入力端子	↓ ビデオ3*1
	• ビデオ4入力端子	↓ ビデオ4*1
コンポーネント	• コンポーネント1入力端子	コンポーネント1
	• コンポーネント2入力端子	↓ コンポーネント2（D端子）
AVマルチ	• AVマルチ入力端子	AVマルチ

*1 S2映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」〜「Sビデオ4」と表示されます。

2 つないでいる機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ（地上波）に戻すときは

①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンまたは 地上 ボタンを押す。

BSに戻すときは

1 〜 12/選局 のBS用数字ボタンまたは BS ボタンを押す。

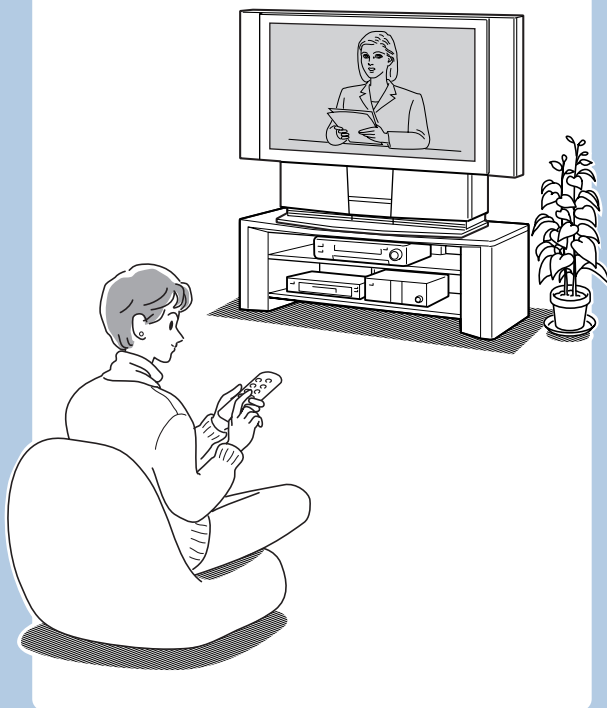
ちょっと一言

チャンネル＋/−ボタンを押すと最後に見ていた地上波またはBSのチャンネルになります。

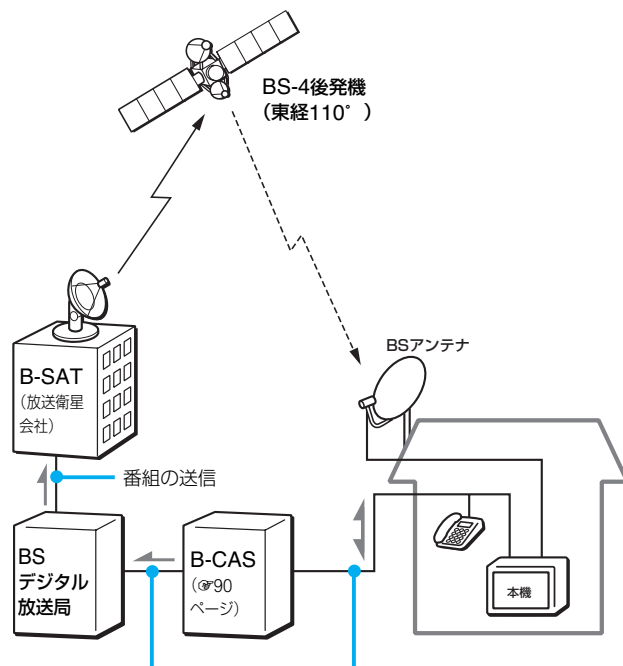
ご注意

AVマルチ入力端子に“プレイステーション 2”をつないでいるときに、AVマルチボタンを押しても、画像が出ないことがあります。このときは、“プレイステーション 2”側で、「コンポーネント映像出力」の設定を「RGB」にしてください（☞115ページ）。

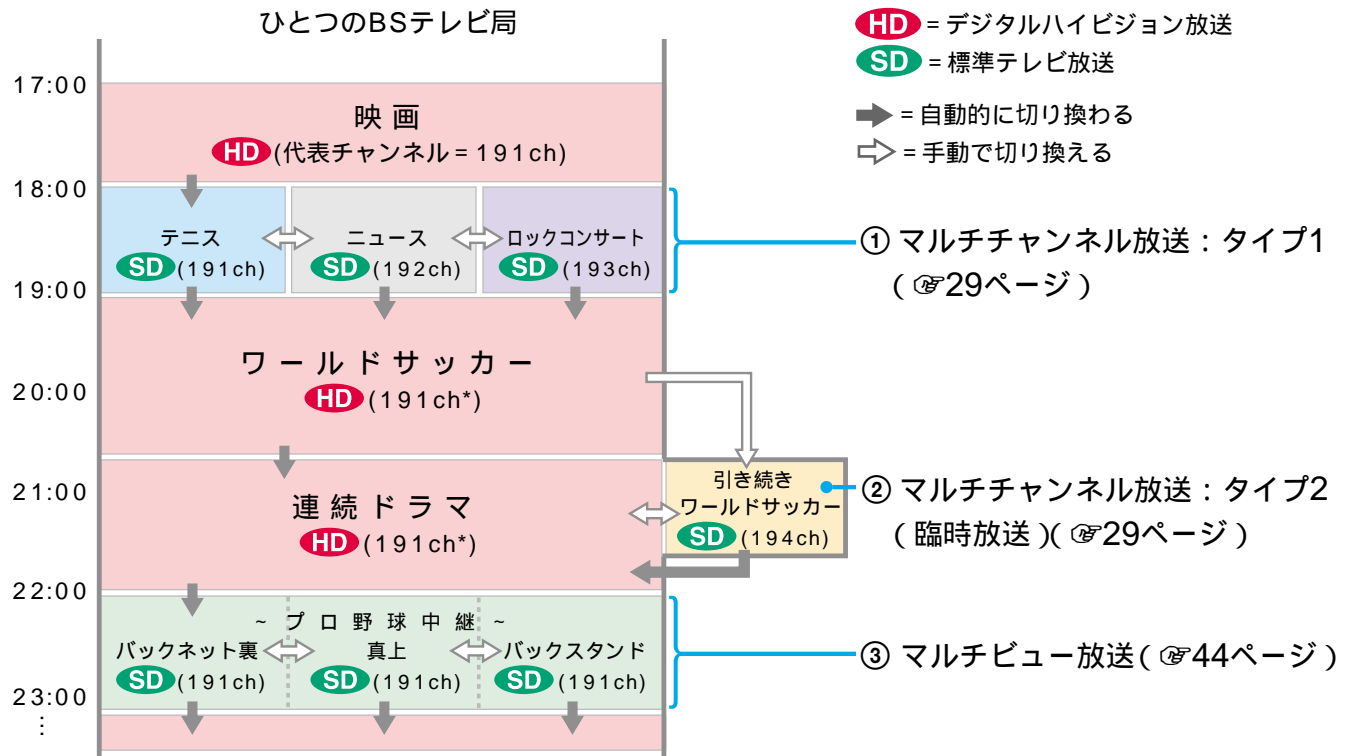
BSを見る／聞く

ここでは、BSデジタルの特長や、BSテレビやBSデータを見たり、BSラジオを聞いたりするときの操作について説明しています。
また、BS特有の多彩な機能の操作についても説明しています。番組表から見たいBS番組を探したり、音声を切り換えたり、マルチビュー放送や字幕放送を見たりするなどの操作です。
BS局からのお知らせを見たりするときの操作も説明しています。

BSデジタル放送って何？

放送衛星BS-4後発機を利用したデジタル衛星放送（BS*）で、2000年12月に放送が開始されました。
従来のテレビ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン放送HDを中心に、ラジオ放送、データ放送(双方向サービス）が楽しめます。
特に**「デジタルハイビジョン放送HD」**では1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます**。

* BSはBroadcasting Satellite（放送衛星）の略です。
**BSデジタルの画質や画像方式、走査線についての詳しい説明は、24ページをご覧ください。

BSデジタル独自の多チャンネル放送って何？

BSデジタルでは、ひとつの放送局が、デジタルハイビジョン放送HDの1チャンネル放送と、標準テレビ放送SDの多チャンネル（2〜5チャンネル）放送を、下のイラストのように時間帯によって切り換えながら放送する場合があります。

また、下のイラストのように、標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用したサービスには、①**マルチチャンネル放送：タイプ**1、②**マルチチャンネル放送：タイプ**2、③**マルチビュー放送**があります。

* 18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組をご覧いただけることもあります。

① マルチチャンネル放送：タイプ1

同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。

例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する。

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］」（☞29ページ）をご覧ください。**

② マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）

同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］」（☞29ページ）をご覧ください。**

③ マルチビュー放送

生中継の番組などで、最多で3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。

例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

→ **詳しくは、「BSのマルチビュー放送を見る［映像ボタン］」（☞44ページ）をご覧ください。**

次のページにつづく

BSデジタル放送って何？（つづき）

この他にも、緊急時に同じ放送局の別チャンネルで行われる**緊急放送**があります。
例：地震などの災害時に、緊急ニュース番組を放送する

→ **詳しくは、「緊急放送のお知らせが出たときは」（☞30ページ）をご覧ください。**

BSデジタルでは、BSテレビ以外にもサービスがあるの？

BSラジオとBSデータがあります。
本機では、すべての放送を楽しめます。

BSラジオ
音楽CD並み（BSアナログ・Bモード並み）の高音質放送などが予定されています。
→「BSラジオを聞く」（☞32ページ）

BSデータ
テレビ放送を、従来の「見るもの」から「参加するもの／使うもの」へと変化させようと、双方向的な番組の実現などが予定されています。
BSテレビやBSラジオの番組と**連動して放送されるBSデータ**（☞31ページ）と、BSデータだけを専門に放送する**BS独立データ**（☞34ページ）があります。

たくさんのBSチャンネルから、どうやって見たい番組を探すの？

見たい番組を簡単に探し出せるように、**番組表**（EPG: Electronic Program Guide）があります。
番組表では、テレビ画面上でそのチャンネルの番組表を見ることができます。
→「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞40ページ）

BSデジタルは有料なの？

2000年末から放送開始された民放系BS新会社5局は無料放送を行っています。
ただし、NHK（BS1/BS2/ハイビジョン）やWOWOW、スター・チャンネル、セント・ギガなどは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局への加入申し込みと契約が必要です。右の表をご覧ください。

BSデジタルは、ビデオに録画できるの？

現行のテレビ（地上波）と同じ画質のアナログ信号に変換し録画できます。ただし、有料BS局などでは、著作権上の問題から、録画できない番組もあります。
→「BSテレビを録画/予約録画する［BS固定ボタン］」（☞46ページ）

BSアナログ放送はなくなるの？

NHK（BS1・BS2）、ハイビジョンの3チャンネルは、デジタルとアナログの同時放送（サイマル放送）が行われるため、お持ちのBSアナログチューナー内蔵のテレビやビデオで引き続き見ることができます。ただし、2007年以降にBSアナログは終わり、BSデジタルに1本化される予定です。

加入申し込み（☞94ページ）が必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法は放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞90ページ）。

2001年2月1日現在の電話番号とホームページアドレスです。

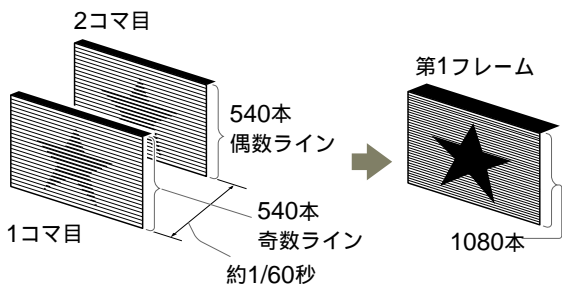
放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK ハイビジョン	03-3465-1111 受付 9:00～23:00（平日） 9:00～22:00（土日） http://www.nhk.or.jp/
WOWOW	0570-008080 （携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-8080） 受付 9:00～20:00 http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル	0570-010-110 （携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-7890） 受付 9:00～20:00 http://www.star-ch.co.jp/
セント・ギガ	0120-336-765 受付 10:00～21:00 http://www.stgiga.co.jp/

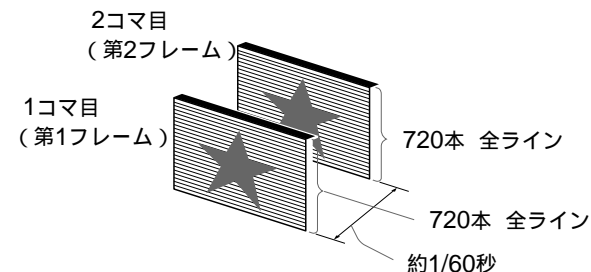
ご注意

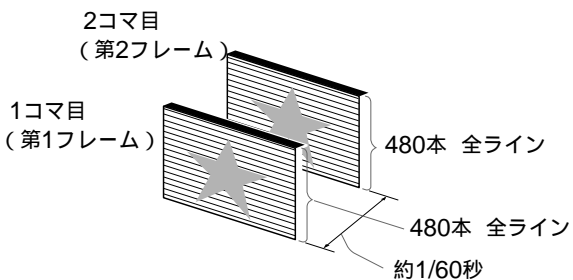
加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、ハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

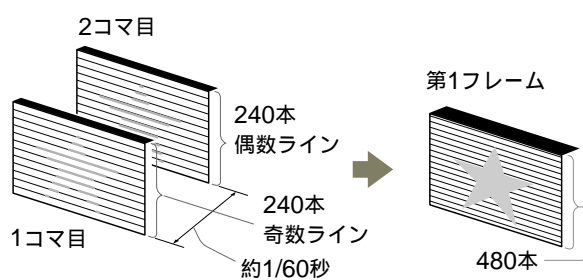
BSデジタルの画質について

BSデジタルには、高画質のデジタルハイビジョン放送HDと、現行テレビ（地上波）と同等の画質の標準テレビ放送SDの2種類があります。
それぞれの放送に2つずつ、以下のように**全部で4種類の画像方式があります。**

1125i（1080i）の デジタルハイビジョン放送 HD

1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）の画像方式。

750p（720p）の デジタルハイビジョン放送 HD

750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。

525p（480p）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

525i（480i）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）の画像方式。現行のテレビ放送やBSアナログ放送と同等の解像度です。

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
* の詳しい説明は、用語集（☞137～138ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

BSデジタルの音声について

BSデジタルには、次のような音声モードがあります。

モノラルモード
通常のニュース放送などに使われています。

ステレオモード
音楽番組などに使われています。
• ステレオ
• ステレオ（高音質モード）：番組説明画面（☞28ページ）で、圧縮Bモードが右上の番組タイトル欄に表示されます。

サラウンドステレオ
映画などに使われています。
• サラウンドステレオ
• 5.1chサラウンドステレオ

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や第二音声があります。
詳しくは、☞42ページをご覧ください。

本機のスピーカーで音声を聞くとき

5.1ch（チャンネル）サラウンドステレオなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

（L：左フロント、R：右フロント、RL：左リア、RR：右リア、C：センター）

画面表示（右上）	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
表示なし	モノラル	モノラル
ステレオ*1	ステレオ（L）	ステレオ（R）
ステレオ（高音質）*1	ステレオ（L）	ステレオ（R）
サラウンドステレオ*2	ステレオ（L+RL+C）	ステレオ（R+RR+C）

*1「(画質/音質)」メニューの「音質調整」で、「サラウンド」を「TruSurround」にしているとき（☞16ページ）は、映画館にいるような臨場感あふれる音声を再現します。
*2「(画質/音質)」メニューの「音質調整」で、「サラウンド」を「TruSurround」にしているとき（☞16ページ）は、5.1chサラウンドステレオなどの音声を、本機のスピーカーで仮想的に再現します。

本機後面の音声出力端子につないだオーディオ機器（☞120ページ）を通して音声を聞くとき（サラウンドステレオ）

「(各種切換)」メニューで、「5.1ch→2ch切換」を選び、本機後面の音声出力端子から出る音声を「5.1ch」と「2ch」（お買い上げ時の設定）に切り換えられます。

「5.1ch」を選んでいるときは

画面表示（右上）	本機後面の音声出力端子からの音声信号の有無					
	左フロント	センター	右フロント	左リア	右リア	ウーファー
表示なし	○	×	○	×	×	×
ステレオ	○	×	○	×	×	×
ステレオ（高音質）	○	×	○	×	×	×
サラウンドステレオ*1	○	○	○	└─○─┘*2		×
	○	○	○	○	○	×
	○	○	○	○	○	○

○：音声が出力されている
×：音声が出力されていない

*1：どのサラウンドステレオ信号を送信するかは、BS放送局側が決定します。そのため、本機で好みのサラウンドステレオ信号に切り換えたり、どのサラウンドステレオ信号かを本体画面表示から判断したりすることはできません。
*2：一つのサラウンド信号を左右に振り分けて、左右リアとも同じ音声が出力されます。

「2ch」（お買い上げ時の設定）を選んでいるときは

すべての音声を通常のステレオ音声（2ch）に変換し、本機後面の音声出力端子の左フロント端子と右フロント端子からのみ出力します。
音声出力端子のセンター/左リア/右リア/ウーファー端子からは、音声が出力されません。

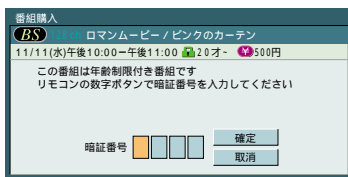
オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは
「(各種切換)」メニューの「スピーカー」を「切」にしてください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

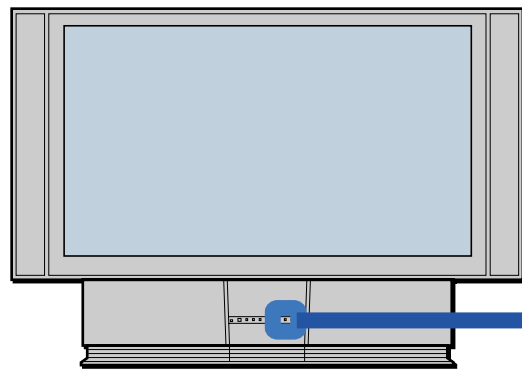
BSテレビを見る

ペイ・パー・ビューなどの有料番組を選んだときは

あらかじめ、「準備8:BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を入れて登録する」を行ってください（☞90ページ）。その後、「BSのペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」（☞37ページ）の手順に従って、操作してください。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

暗証番号入力画面が表示されます。[1]～[10/0]までのBS用数字ボタンで4桁の暗証番号（☞102ページ）を入力すると見ることができます。

ご注意

- BSデジタルのときは、放送終了後または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎても、テレビ（地上波）と異なり、自動的にスタンバイモードにはなりません（省電力のための「オートシャットオフ」機能が働きません）。
- BSデジタル信号には、多くの情報が含まれています。そのため、BSチャンネルを切り換えた直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチでテレビの主電源を切ると、次に電源スイッチを押して電源を入れたときに、最後に見ていたBSチャンネルに戻らないことがあります。

画面表示ボタン
番組タイトル/チャンネルが表示されます。
もう1度押すと、消えます。

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

d（連動データ）ボタン
BSテレビに連動しているBSデータを見るときに押します。（☞31ページ）

[BS]ボタン
BSになっていないときに、BSに切り換えます。

[テレビ]ボタン
BSテレビに切り換えます。
チャンネル＋/－ボタンで選べるチャンネルがBSテレビチャンネルになります。

[1]～[12/選局]のBS用数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

1 本機の電源を入れる。

リモコン　電源

本体のスタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは、リモコンの電源スイッチの代わりに、本体の電源スイッチを押してください。

自動的に電源が入るチャンネルポン

1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンを押してください。本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときに押せば、自動的に電源が入り、選んだBSテレビチャンネルが映ります。また、BS ボタンを押すと、最後に見ていたBSチャンネルが映ります。

2 1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンを押し、BSテレビ局の代表チャンネルを選ぶ。

代表チャンネル以外のチャンネルを選ぶときは、下にある方法で選んでください。

ちょっと一言

- 地上波を見ているときに押しても、選んだBSテレビ局の代表チャンネルに切り換わります。* の付いたBS放送局は有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。（☞22ページ）
- 11 、12/選局 ボタンに、お好きなBSチャンネルを登録できます（☞98ページ）。

数字ボタン	放送局（代表チャンネル）	数字ボタン	放送局（代表チャンネル）
1	NHK　BS1（101）*	6	BS-i（161）
2	NHK　BS2（102）*	7	BSジャパン（171）
3	NHK　ハイビジョン（103）*	8	BSフジ（181）
4	BS日テレ（141）	9	WOWOW（191）*
5	BS朝日（151）	10/0	スターチャンネル（200）*

（2001年2月1日現在）

次の方法でも、チャンネルを選べます。代表チャンネル以外のチャンネルを選ぶときは、次の方法で選んでください。

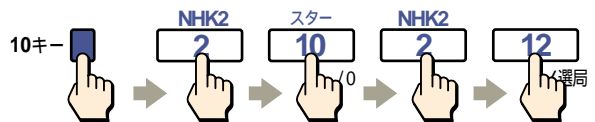
チャンネル+/−ボタンで選ぶには

① BSになっていないときは、BS ボタンを押す。
② テレビ ボタンを押す。
③ チャンネル+/−ボタンを押す。

押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、
離すとそのチャンネルが映ります。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー ボタンを押す。
② 1 ～ 10/0 までのBS用数字ボタンで、BSテレビの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ 12/選局 ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）202chを見るとき

番組表からBSテレビを選ぶには

「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞40ページ）をご覧ください。
BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

選局についてのちょっと一言

- BSテレビを見ているときに、画面上に、臨時ニュースなどの文字スーパーが表示されることがあります。文字スーパー放送は、終了するまで消せません。
- 1～12のBS用数字ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「11ボタン、12ボタンに好みのBSチャンネルを登録する」☞98ページ）
- チャンネル＋/－ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する」☞100ページ）
- BSテレビを見ている状態で、電源ボタンを押して電源を切ったときは、次に電源を入れたときに画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- テレビ（地上波）や本機につないだ機器の映像を見ているときは、リモコンの テレビ、ラジオ、独立データ ボタンを押してもBSには切り換わりません。まず、リモコンの BS ボタン（または本体の入力切換ボタン）を押して、BSに切り換えてから、押してください。

「降雨対応放送に切り替わりました」と表示されたときは

降雨対応放送を受信しています。
お買い上げ時は、降雨時に受信状態が悪くなると、降雨対応放送に自動的に切り替わるように設定されています（対応していない番組もあります）。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

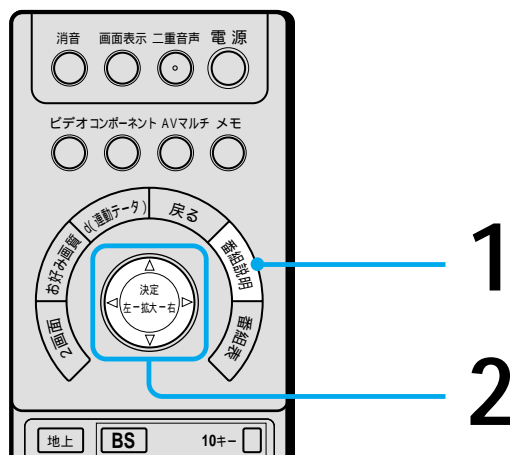
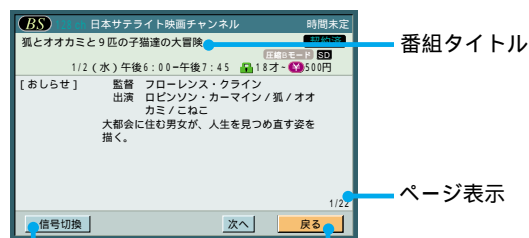
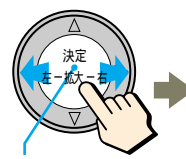
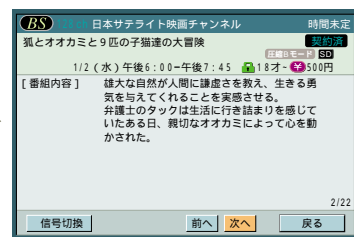
ご注意

- 降雨対応放送のときは、番組表や番組説明は表示されません。
- 降雨時「受信できません　大雨・大雪やアンテナの調整ズレ等の場合もあります」と表示されて、映像や音声が出なくなる場合は、受信中の放送が降雨対応でないためか、降雨対応放送で対応できない気象状況となっているためです。

降雨対応放送についてのちょっと一言

- お買い上げ時は、天候回復後、自動的に通常の放送に戻るように設定されています。
- 「（BSデジタル）」メニューで「（初期設定）」を選び、「BS設定」で「降雨対応放送受信」を「切」にすると、降雨対応放送に自動的には切り替わりません。リモコンの 映像 ボタンを押して、手動で切り替えてください。天候回復後も、映像 ボタンをもう1度押して、通常の放送に戻してください。

番組説明を見る［番組説明ボタン］

番組の出演者やあらすじなどを見ることができます。また、番組表（☞40ページ）で放送中/今後放送予定の見たい番組の説明を見ることができます。

1 **番組を見ているときに、番組説明ボタンを押す。**

2 **番組説明が2ページ以上あるときは、◁/▷で「次へ」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

番組説明を消すときは

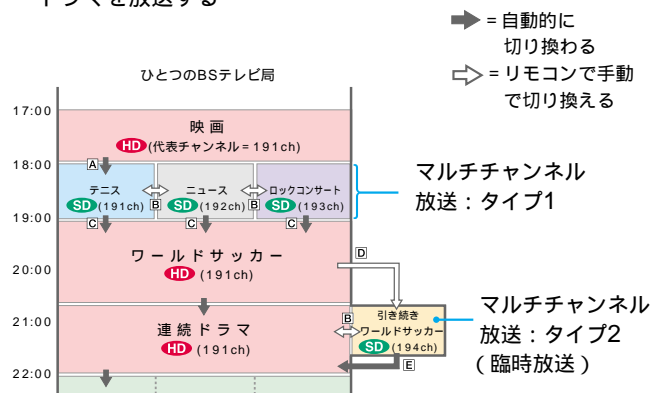
もう1度、番組説明ボタンを押す。

ご注意

降雨対応放送のときは、番組説明は表示されません。

画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは[マルチチャンネル放送]

標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した、マルチチャンネル放送が行われています。
マルチチャンネル放送には2タイプあります。

- **マルチチャンネル放送：タイプ1**
  同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。
  例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する。
- **マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）**
  同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。
  例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する

Ⓐ マルチチャンネル放送（タイプ1）開始
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

Ⓑ マルチチャンネル放送中の選局
… 10キー ボタンと 1 ～ 10 までのBS用数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力して切り換えます。

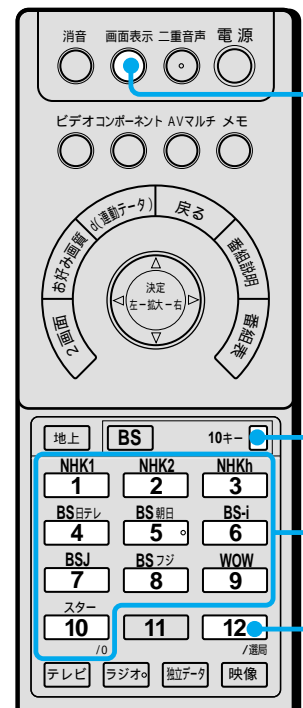
Ⓒ マルチチャンネル放送（タイプ1）終了
…18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組（ワールドサッカーや連続ドラマ）をご覧いただけることもあります。

Ⓓ 臨時放送開始
…中継延長になりHDからSDに変わり、引き続き放送します。ご覧になるときは、10キー ボタンと 1 ～ 10 までのBS用数字ボタンで3ケタの新しいチャンネル番号（上の例では194ch）を入力し、切り換えます。

Ⓔ 臨時放送終了
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

現在視聴中の放送局でマルチチャンネル放送が始まると

画面右端にマルチチャンネル放送のチャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞100ページ）は表示されません。

マルチチャンネル放送を見るときは

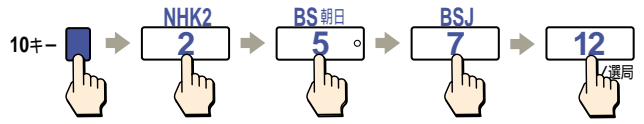
1 **10キー ボタンを押す。**

2 **1 ～ 10 までのBS用数字ボタンで、マルチチャンネル放送を行っている3ケタのチャンネル番号を、百の位から順に押す。**

3 **12 ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐ切り換わります）**

マルチチャンネル放送を見ることができます。

例）257chで行われているマルチチャンネルを見るとき

次のページにつづく

マルチチャンネル放送を行っているか確認するときは

画面表示ボタンを押す。

マルチチャンネル放送を行っているときは、チャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞100ページ）は表示されません。

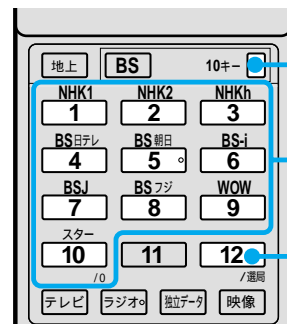
緊急放送のお知らせが出たときは

標準テレビ放送 SD の多チャンネル放送を利用した緊急放送が行われています。
緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

緊急放送が始まると

放送局から緊急放送のお知らせが表示され、緊急放送を行っているチャンネル番号が表示されます。

ご注意

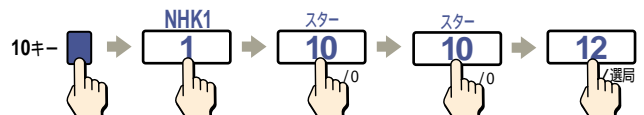
緊急放送のお知らせは、約30秒間表示されます。

緊急放送を見るときは

1 **10キー ボタンを押す。**

2 **1 ～ 10/0 までのBS用数字ボタンで、緊急放送を行っている3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。**

3 **12/選局 ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）**

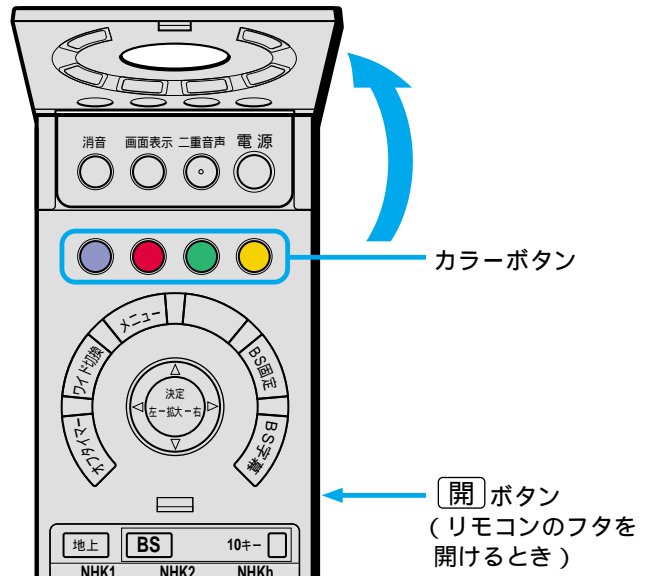
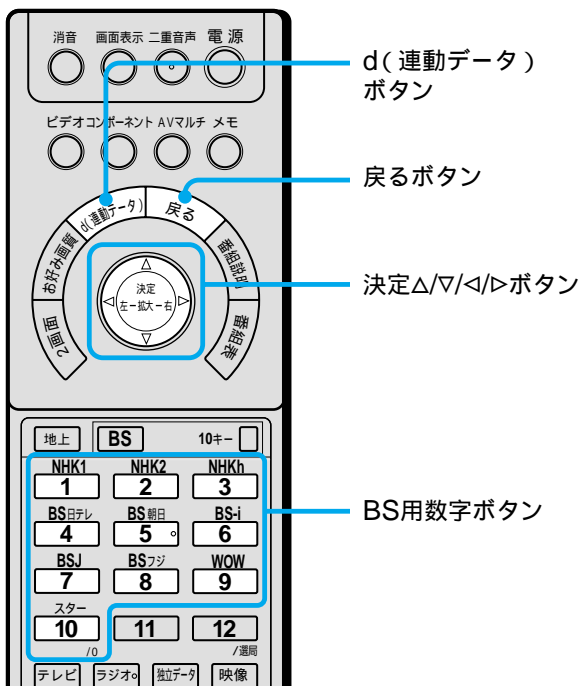
緊急放送を見ることができます。

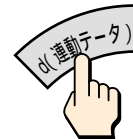
例）100chで行なわれている緊急放送を見るとき

BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見る [d(連動データ)ボタン]

BSテレビ（☞26ページ）やBSラジオ（☞32ページ）を視聴しているときに、番組に連動しているBSデータを見ることができます。
視聴するだけではなく、視聴者がリモコンのボタンを使って番組に参加できる番組もあります。
番組と連動してBSデータを行っているかどうかの案内は、各BS局によって異なります。

ご注意

- あらかじめ電話回線の接続（☞75ページ）と設定（☞92ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べない場合があります。
- BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータでは、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。
- 番組によっては、BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータが自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本体前面の通信ランプが点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

ちょっと一言
BSには、BSデータだけを専門に放送するBS独立データがあります。（☞34ページ）

1 BSテレビやBSラジオを視聴中、d(連動データ)ボタンを押して、番組と連動しているBSデータが行われているか確認する。

番組と連動しているBSデータの放送が行われているときは、そのBSデータの画面が表示されます。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

2 BS番組と連動しているBSデータがあるときは、画面の指示に従って、リモコンを操作する。

BSデータ番組の指示にしたがって、次のボタンを使ってください。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- 決定△/▽/◁/▷ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- 1 〜 10/0 までのBS用数字ボタン*（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

* ①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンは使わないでください。地上波に切り換わってしまいます。

ちょっと一言
終了する場合も、画面の指示に従って操作してください。指示が無い場合は、d(連動データ)ボタンや戻るボタンで終了できる場合もあります。

BSラジオを聞く

BSラジオでは、静止画映像や連動したデータ（☞31ページ）を楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組よっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

次の放送局が放送しています。
（2001年2月1日現在）

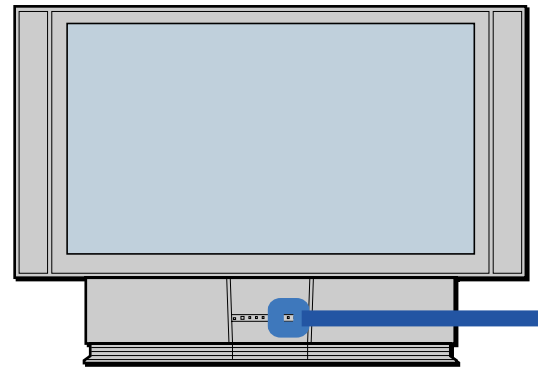
放送局	チャンネル
BSC	300, 301
ミュージックバード	310～319
JFNサテライト	320～329
セント・ギガ*	330～339
BS日テレ	440～449
BS朝日	450～459
BS-i	460～469
BSジャパン	470～479
BSフジ	488, 489
WOWOW*	491, 492

＊ 有料放送のため、視聴するには加入申し込みをして契約する必要があります。（☞22ページ）

BSテレビを見たいときは

テレビボタンを押す。

ご注意

- BSデジタルのときは、放送終了後または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎても、テレビ（地上波）と異なり、自動的にスタンバイモードにはなりません（省電力のための「オートシャットオフ」機能が働きません）。
- BSデジタル信号には、多くの情報が含まれています。そのため、BSチャンネルを切り換えた直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチでテレビの主電源を切ると、次に電源スイッチを押して電源を入れたときに、最後に見ていたBSチャンネルに戻らないことがあります。

画面表示ボタン
番組タイトル/チャンネルが表示されます。もう1度押すと、消えます。

d（連動データ）ボタン
BSラジオに連動しているBSデータを見るときに押します。（☞31ページ）

テレビ ボタン
BSテレビに戻ります。

本機の電源を入れる。

本体のスタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは、リモコンの電源スイッチの代わりに、本体の電源スイッチを押してください。

2 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

最後に見ていたBSチャンネルになります。

3 ラジオボタンを押して、BSラジオに切り換える。

ラジオに切り換わると、画面に「この番組はデジタルラジオ放送です」と、約30秒間表示されます。

4 チャンネル+/−ボタンを押して、BSラジオチャンネルを選ぶ。

ご注意

画面が黒くなり何も映らなくなったときは、音声だけのBSラジオのチャンネルが選ばれたためです。故障ではありません。

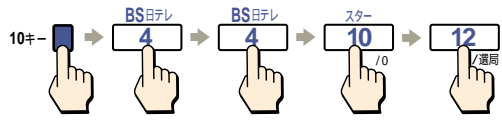
押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー ボタンを押す。

② 1 〜 10/0 までのBS用数字ボタンで、BSラジオの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。

③ 12/選局 ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）440chを選ぶとき

番組表からBSラジオを選ぶには

「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞40ページ）をご覧ください。
BSラジオを聞いているときは、BSラジオのチャンネルのみの番組表が表示されます。

5 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

BS独立データを見る

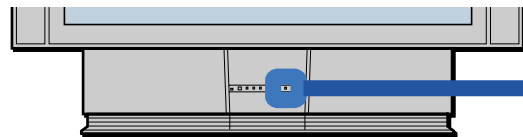
BSテレビやBSラジオの番組に連動して見ることができるBSデータ（☞31ページ）とは別に、BSデータのみを専門に放送するBS独立データがあります。
画面に表示される目次の中から欲しい情報を選んだり、お住まいの地域を設定し（☞87ページ）、地域ごとに特有のニュースなどを受信できます。また、クイズやゲームなど視聴者が参加して楽しめる番組などもあります。

次の放送局が放送しています。
（2001年2月1日現在）

放送局	チャンネル
MEGA（メガポート放送）	900〜909
WNI（ウェザーニュース）	910〜919
デジキャス（デジタル・キャスト・インターナショナル）	930〜939
NDB（日本データ放送）	940〜949
BS955（メディアサーブ）	950〜959
ARK（日本メディアーク）	960〜969
BSS（日本BS放送）	990〜999

双方向サービスを受けるためには、登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

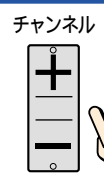
ご注意

- あらかじめ電話回線の接続（☞75ページ）と設定（☞92ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BS独立データ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。
- BSデジタルのときは、放送終了後または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎても、テレビ（地上波）と異なり、自動的にスタンバイモードにはなりません（省電力のための「オートシャットオフ」機能が働きません）。
- BSデジタル信号には、多くの情報が含まれています。そのため、BSチャンネルを切り換えた直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチでテレビの主電源を切ると、次に電源スイッチを押して電源を入れたときに、最後に見ていたBSチャンネルに戻らないことがあります。

本機の電源を入れる。

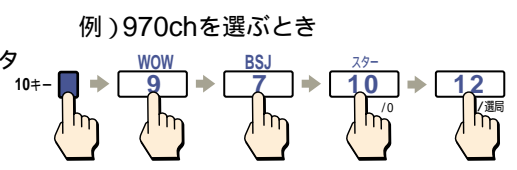
本体のスタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは、
リモコンの電源スイッチの代わりに、
本体の電源スイッチを押してください。

2 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

3 独立データボタンを押して、BS独立データに切り換える。

4 チャンネル+/−ボタンを押して、BS独立データチャンネルを選ぶ。

押し続けるとチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー-ボタンを押す。
② 1 〜 10/0 までのBS用数字ボタンで、BS独立データの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ 12/選局 ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

番組表からBS独立データを選ぶには

「BSの番組表から見たい番組を選ぶ［番組表ボタン］」（☞40ページ）をご覧ください。
BS独立データを見ているときは、BS独立データのチャンネルのみ番組表が表示されます。

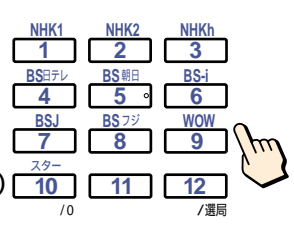
5 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言
音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

6 画面の指示に従ってリモコンを操作する。

BSデータ番組の指示にしたがって、次のボタンを使ってください。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- 決定△/▽/◁/▷ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- 1 〜 10/0 までのBS用数字ボタン*（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

NHK1 1　NHK2 2　NHKh 3
BS日テレ 4　BS朝日 5　BS-i 6
BSJ 7　BSフジ 8　WOW 9
スター 10/0　11　12/選局

* ①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンは使わないでください。地上波に切り換わってしまいます。

ご注意

- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本体前面の通信ランプが点灯）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

BSをワイド画面で楽しむ

BSのデジタルハイビジョン放送HDをオリジナル画像を生かした高画質のまま楽しめます。また、標準テレビ放送SDでは、オートワイド機能により、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。下の例では、「[画面モード]（画面モード）」メニューの「オートワイド設定」で、「オートワイド」が「2」、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されているとき（☞58～59ページ）を示しています。

オリジナルの映像（映像の種類）		画面モード	オートワイドの映像	
• デジタルハイビジョン放送HD の16:9映像*				オリジナルの映像を16:9で画面いっぱいに表示します。
• 標準テレビ放送SDの16:9映像				オリジナルの映像を16:9で画面いっぱいに表示します。
• 標準テレビ放送SDのレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）で、識別制御信号（☞56ページ）のあるとき				オリジナルの映像を画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。
• デジタルハイビジョン放送HD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）*				オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
• 標準テレビ放送SDの4:3映像				オリジナルの映像を違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
• 標準テレビ放送SDのサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）				オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
• 「[画面モード]（画面モード）」メニューの「オートワイド設定」で、「オートワイド」が「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき（☞58～59ページ）（標準テレビ放送SDの4:3映像）				オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

* デジタルハイビジョン放送HDのときは、オートワイド設定はフルに固定されます。手動で画面モードを切り換えることはできません。

ご注意

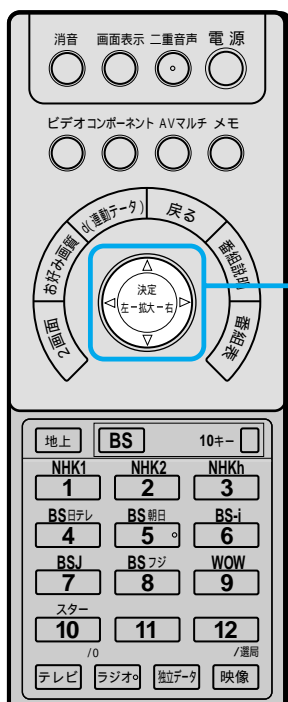
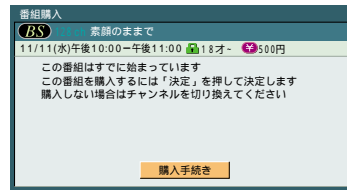
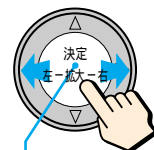
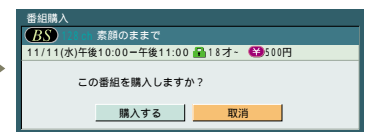
BSデジタルのときは、放送局から送られる信号によって、画面モードを切り換えられないことがあります。

BSのペイ・パー・ビュー（PPV）を見る

ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。また、一日ずつ契約できるペイ・パー・デイ（PPD）もあります。
ペイ・パー・ビュー（PPV）には、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

プレビューについて
- PPV番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。

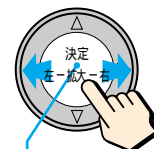
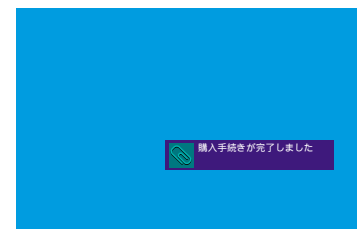
ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る前に

- 必ず電話回線をつないでください（☞75ページ）。
- BSデジタル用ICカード（B-CASカード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞90ページ）。
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります（☞94ページ）。

1 **ペイ・パー・ビューなどの有料番組を選ぶ。**

2 **◁/▷で「購入手続き」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

3 **◁/▷で「購入する」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

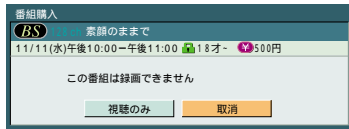
購入したPPV番組が映ります。

購入をやめるときは

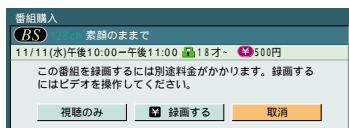
◁/▷で「取消」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

次のページにつづく

BSのペイ・パー・ビュー（PPV）を見る（つづき）

こんなメッセージが表示されたら

「この番組は録画できません」

購入するときは
◁/▷で「視聴のみ」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

購入をやめるときは
◁/▷で「取消」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

「この番組を録画するには別途料金がかかります」
録画有料番組となります。「録画する」の前に「¥」マークが付きます。

見るだけのときは
◁/▷で「視聴のみ」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

録画するときは
◁/▷で「録画する」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
録画防止信号が解除され、接続したビデオで録画できるようになります。

購入をやめるときは
◁/▷で「取消」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

「ICカードのデータが一杯になったので購入できません 電話線をつなぐと自動的にデータが送られて購入できるようになります」
購入額がカードの上限金額を超えています。
電話回線をつないでください。

「購入時間が過ぎているため購入できません」
番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。また、番組の購入可能件数を超えたときにもこの表示が出ます。

「光デジタル音声では録音できません」
本機で受信したデジタル音声に、デジタルコピープロテクトがかかっています。本機の光デジタル音声出力端子とつないだMDデッキなどでデジタル録音できません。

録画防止機能について
本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

追加信号について
PPV番組によっては、最大4種類の映像、最大8種類の音声から切り換えられます。映像/音声を選ぶ画面で、追加したい情報を選んで番組を楽しめます。
なお、「¥」マークの付いた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

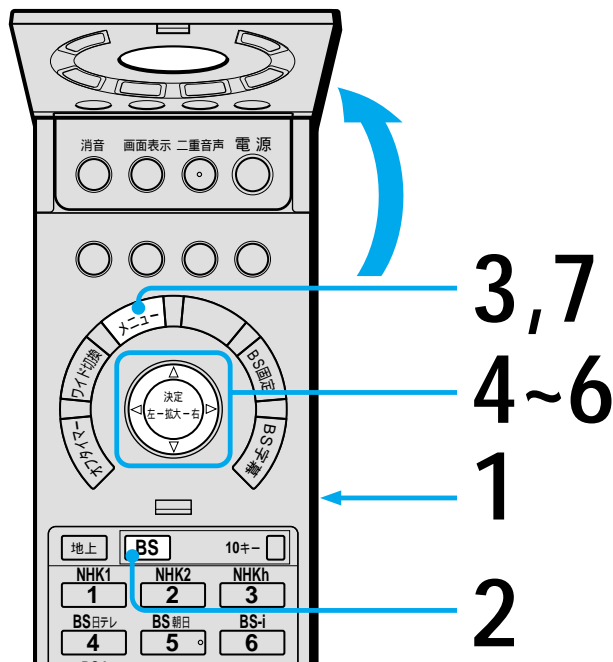
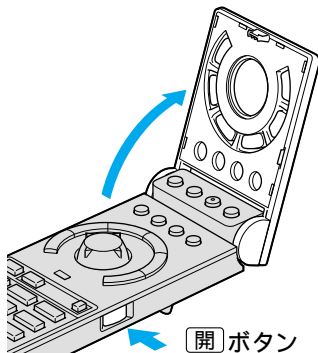
これらの情報は、番組説明画面から「信号切換」でも切り換えられます。（☞42ページ）

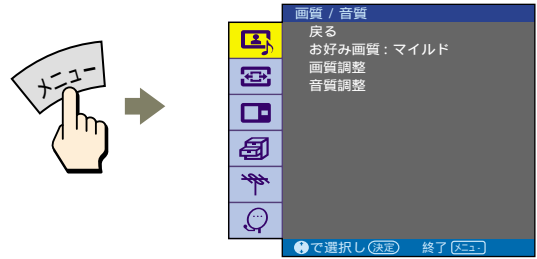
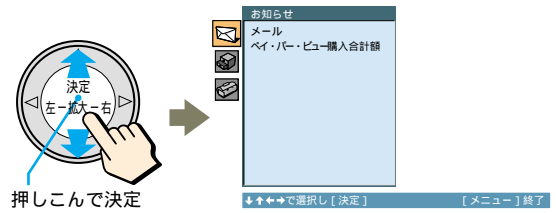
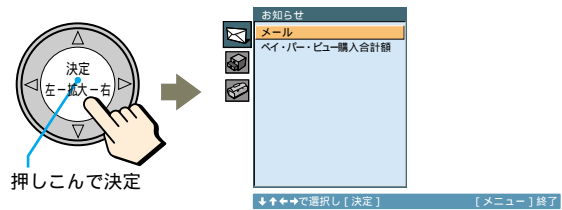
ご注意
購入操作の途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、番組を選び直してからもう一度、「BSのペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」（☞37ページ）の操作を行ってください。

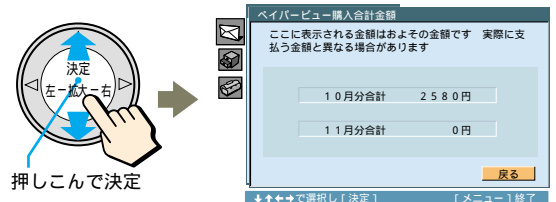
ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入概算額を見る

先月分と今月分の購入概算額を確認できます。正確な購入合計額については、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。（☞22ページ）

ご注意

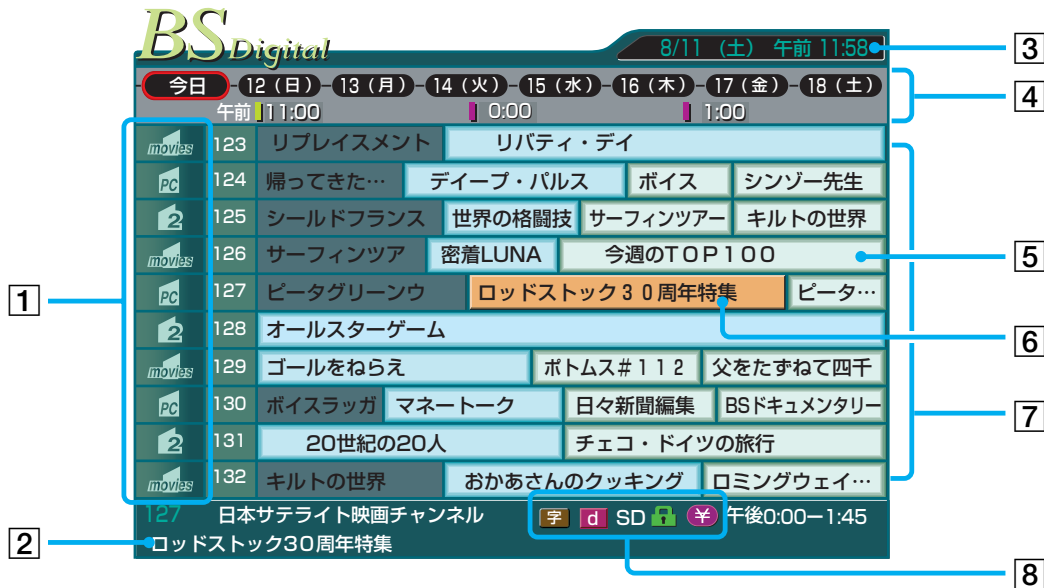
- 「ペイ・パー・ビュー購入合計額」にはペイ・パー・シリーズなどの購入金額は含まれません。
- ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「（BSデジタル）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 「（お知らせ）」が選ばれていることを確認して、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で「ペイ・パー・ビュー購入合計額」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

購入したペイ・パー・ビュー番組の前月分と今月分の概算金額が表示されます。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSの番組表から見たい番組を選ぶ
[番組表ボタン]

約1週間先までの番組表(EPG)を見ることができます。
視聴しているBSの番組表が表示されます。例えば、BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

ちょっと一言
番組表の情報はBS局から送信する信号に含まれています。なお、本機では、一部のテレビ(地上波)局が行っている地上波の番組表(EPG)信号には対応していません。そのため、地上波の番組表はありません。

1 **チャンネルロゴ欄**
各BS局のチャンネルのロゴ(マーク)が表示されます。

2 **番組情報欄**
カーソルで選んでいる番組の情報です。

3 **現在時刻**
現在時刻は、放送局からの信号を受けて自動表示されるため、時計合わせは不要です。万一、正しく時刻が表示されていないときは、「リセットボタンについて」(☞130ページ)をご覧ください。

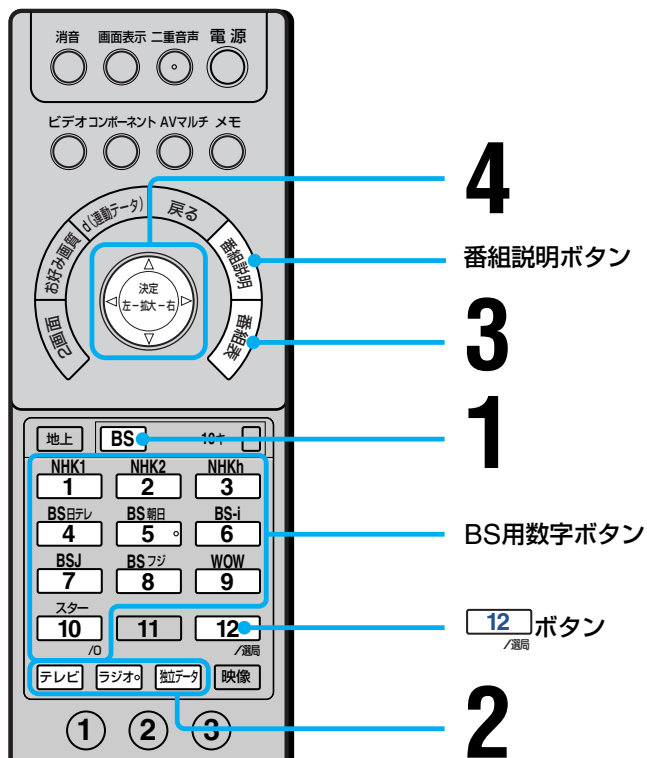
4 **日付・時刻欄**

5 **番組の表示のしかた**
1ページ内に、3時間分の番組が表示されます。
- :現在放送中の番組
- :すでに終了した番組
- :まだ始まっていない番組

6 **カーソル**
黄色で表示されている部分がカーソルです。リモコンの△/▽/◁/▷で移動します。

7 **番組タイトル欄**
各番組のチャンネルロゴ、チャンネル番号、タイトルを表示します。また、放送局から、二カ国語放送やニュースなど番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。
以下は、その一例です。
- 二 :二か国語放送(☞42ページ)
- S :ステレオ放送(☞24ページ)
- 字 :字幕放送(☞45ページ)
- B :圧縮Bモードステレオ放送(☞24ページ)
- N :ニュース番組

8 **マーク表示欄**
- :マルチチャンネル放送(同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送☞29ページ)です。
- 字 :字幕のある放送(☞45ページ)です。
- d :BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータ放送(☞31ページ)です。
- MV :マルチビュー放送(☞44ページ)です。
- SD :標準テレビ放送SD(☞23ページ)です。
- :視聴が制限されている番組です。(☞26ページ
- ¥ :ペイ・パー・ビュー(PPV)など有料番組です。

ちょっと一言
、MV、SDが重なる場合は、、MV、SDの順に表示が優先されます。

1 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

2 見たい番組表のBSを、テレビボタンまたはラジオボタン、独立データボタンから選ぶ。

選んだ放送に切り換わります。

または
または
3 番組表ボタンを押す。

選んだBSの番組表のみが表示されます。
例えば、BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

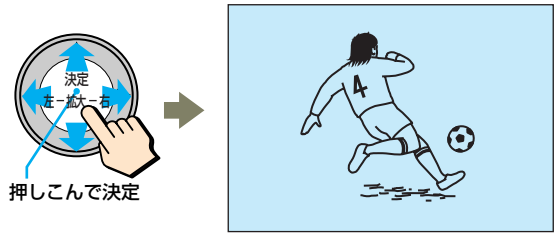
4 △/▽/◁/▷で見たい番組を選び、真ん中を押しこんで決定する。

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、番組説明画面*が表示されます。

◁/▷を押し続けると

時刻欄が高速で切り換わり、時間帯を素早く探せます（高速スクロール）。ボタンを離すと、選んだ時間帯の番組表が表示されます。
高速スクロール中は、番組タイトル一覧の表示が消えます。

選んだ番組	決定ボタンを押して表示される画面
放送中の番組	選んだ番組
終了した番組	「すでに終了しました」のメッセージ*
まだ始まっていない番組	番組説明画面*

* 受信中の番組の映像と音声が消えるため、本機のBS/ビデオ出力端子（ビデオへ）からは、映像信号は出力されなくなります。

押しこんで決定
特定のチャンネルを選んで番組表に表示したいときは

1 番組表に表示したいチャンネルの3ケタの番号を、1〜10までのBS用数字ボタンで百の位から順に押す。
番組表左下の番組情報欄のチャンネル表示部に、選んだ数字が表示されます。

2 12ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

番組表を消すには

もう一度、番組表ボタンを押す。

ご注意

降雨対応放送のときは、番組表は表示されません。

BSの音声や映像、データを切り換える

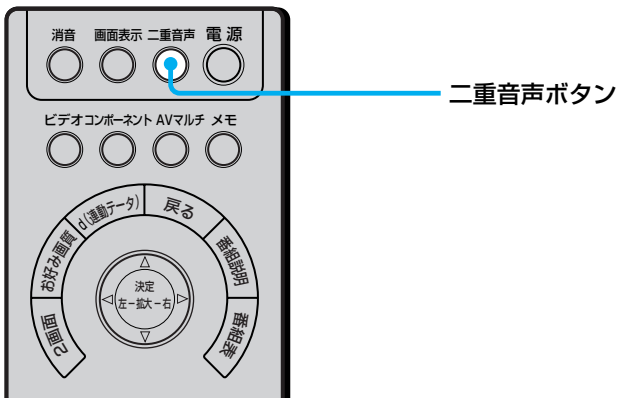
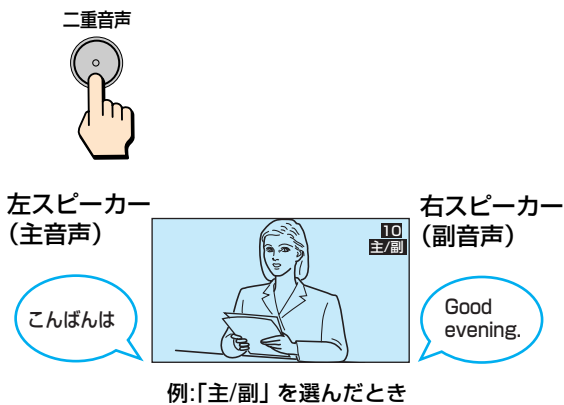
二重音声を選ぶ［二重音声ボタン］

二か国語番組など二重音声番組のときに、聞きたい音声を選べます。

ご注意

- 二重音声放送がないときは切り換わりません。
- BS固定中（☞46ページ）は、切り換えられません。

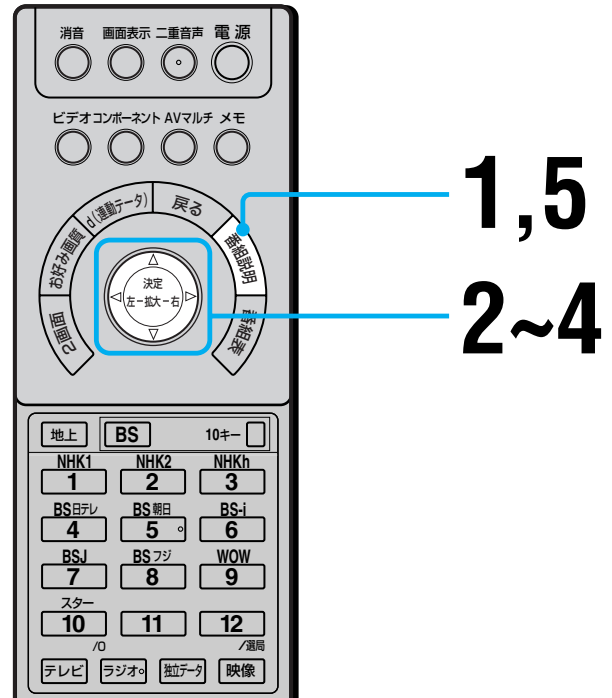
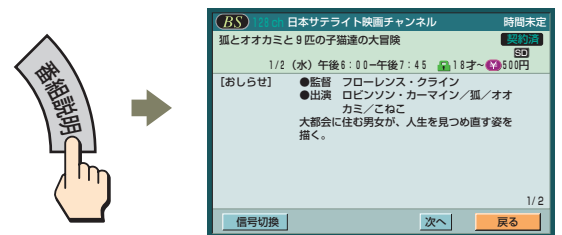
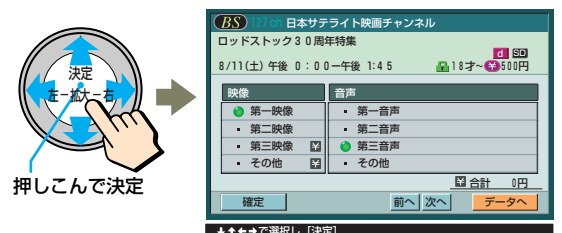
二重音声ボタンを繰り返し押して選ぶ。

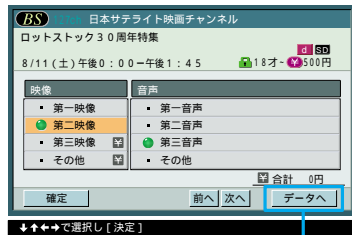
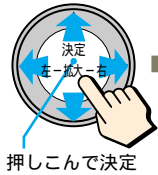
例:「主/副」を選んだとき

画面表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主／副	主音声	副音声

第二音声や第二映像、第二データなどを選ぶ［信号切換］

第二音声がある番組など、番組によっては、映像・音声・データなどの信号を切り換えられます。

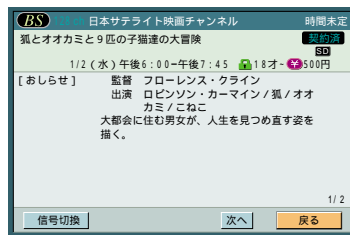
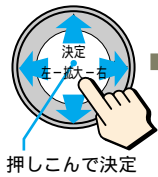
ご注意

- 切り換えられる信号（第二映像や第二音声、第二データなど）がないときは切り換わりません。
- BS固定中（146ページ）は、切り換えられません。

1 BSの番組を視聴中に番組説明ボタンを押す。

2 △/▽/◁/▷で「信号切換」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

3 △/▽/◁/▷で切り換えたい信号を選び、真ん中を押し込んで決定する。

選んだ信号（第二映像や第二音声、第二データなど）に切り換わります。

「データへ」

データの信号切換の画面を表示する。（選んで決定したときは、下の画面が出る）

4 △/▽/◁/▷で「確定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

番組説明画面に戻ります。

5 番組説明ボタンを押す。

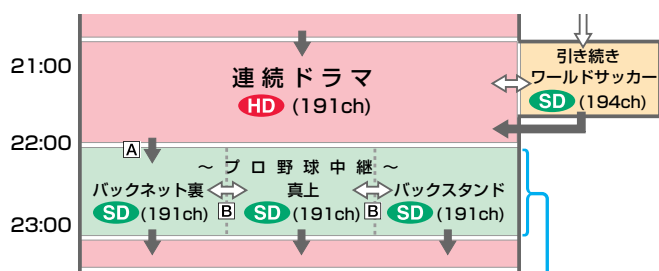
視聴中のBS番組に戻ります。

ご注意

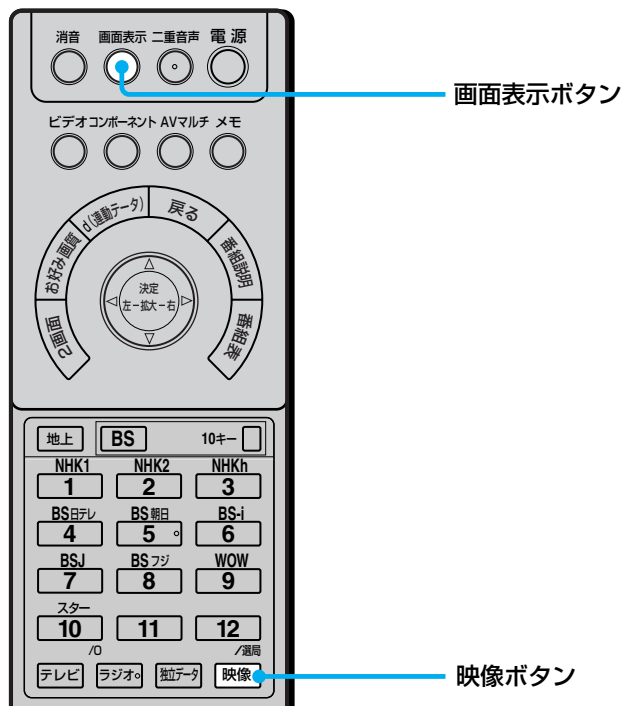
- チャンネルを切り換えたとき（例：第二音声に設定中）は、お買い上げ時の設定（第一音声）に切り換わります。
- 切り換えた信号（例：第二音声に設定したとき）の番組が終了し、次の番組にも同じ信号（この例では第二音声）があるときは引き続き、その信号を受信します。次の番組では第二音声が購入対象（¥マークが表示される）になる場合があります。このときは、42ページの手順に沿って、他の購入対象でない信号（例えば第一音声）を選んでください（もちろん、第二音声を購入して引き続き視聴することもできます）。
  ただし、次の番組に切り換えた信号がないときには、お買い上げ時の設定（第一音声）に切り換ります。
- 信号を切り換えることにより、購入（¥マークが表示されます）が必要になることがあります（☞37ページ）。

BSのマルチビュー放送を見る

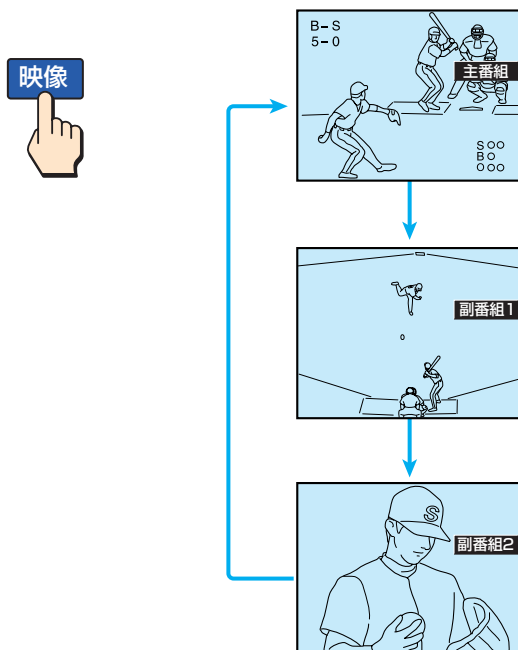
[映像ボタン]

マルチビュー放送とは、生中継の番組などで、最多で3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。
それぞれのカメラからの映像を、映像ボタンで切り換えて見ることができます。
例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

A マルチビュー放送開始
…主画面へ自動的に移行します。
B マルチビュー放送中の選局
…映像ボタンで切り換えます。

現在視聴中の放送局でマルチビュー放送が始まると

画面右端に「マルチビュー放送中」が数秒間表示されます。

マルチビュー放送を見るときは

1 マルチビュー放送を行っているチャンネルを選ぶ。

2 映像ボタンを押す。
押すたびに、映像や音声が切り換わります。

マルチビュー放送を行っているか確認するときは

画面表示ボタンを押す。

マルチビュー放送を行っているときは、「主番組（または、副番組1/副番組2）」と表示されます。

また、以下のときもマルチビュー放送が行われています。

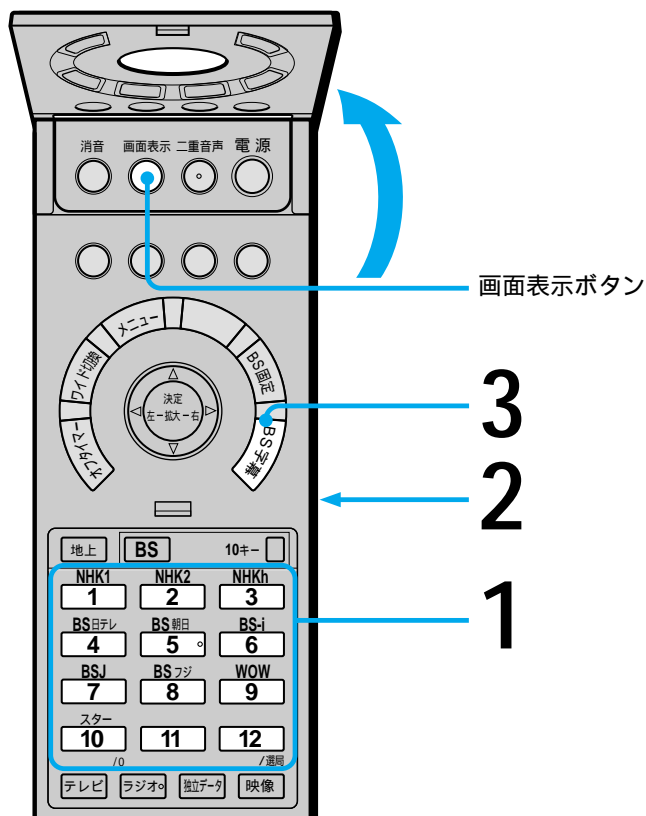
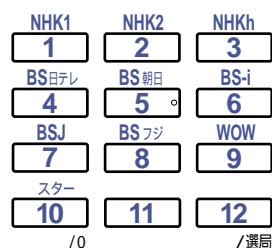
- 「マルチビュー放送中」などと画面に表示されるとき
- 番組表(☞40ページ)で、MVが表示されるとき

ご注意

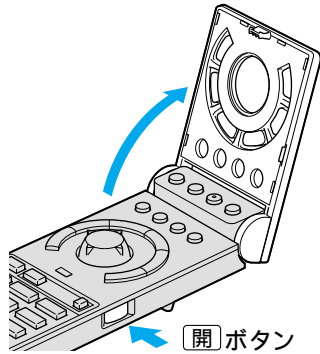
映像ボタンを押して映像が切り換わるときに、降雨対応放送（☞28ページ）に切り換わる場合があります。

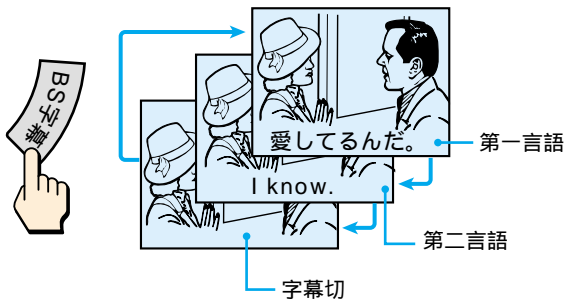
BS字幕放送を見る

[BS字幕ボタン]

字幕放送は最大2言語の放送が行われます。
字幕放送が行われているときに、お買い上げ時は「第1言語」の字幕が自動的に表示されるように設定されています。
字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

1 **字幕放送を行っているBSテレビのチャンネルを選ぶ。**

次のページにつづく

BS字幕放送を見る［BS字幕ボタン］（つづき）

2 **開 ボタンを押して、フタを開ける。**

3 **BS字幕ボタンを押す。**

押すたびに、字幕が切り換わります。

字幕放送を行っているか確認するときは

画面表示ボタンを押す。
字幕放送を行っているときは、画面右上に「字幕有」と表示されます。

ご注意

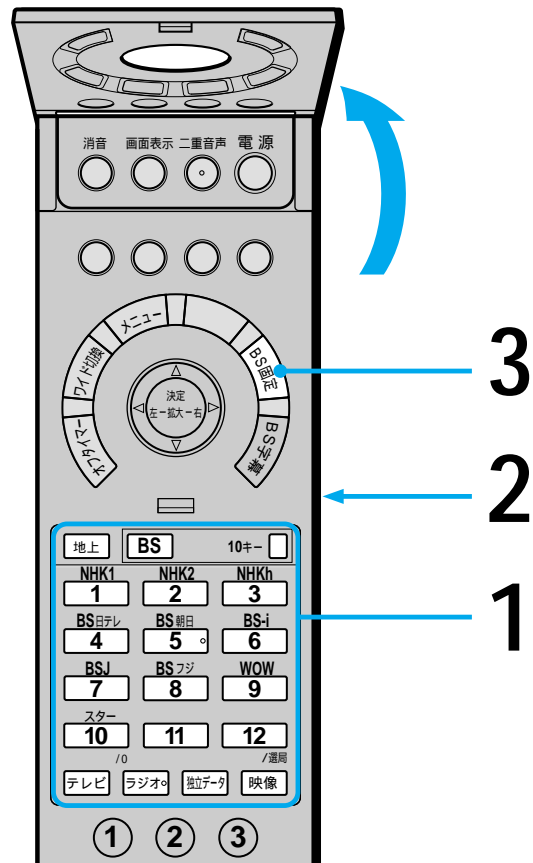
- 本機のBS/ビデオ出力端子からは、字幕放送の字幕は出力されないため、ビデオへは録画できません。
- BS字幕ボタンを押して消そうとしても、放送局側で字幕を消せない設定にしている番組もあります。

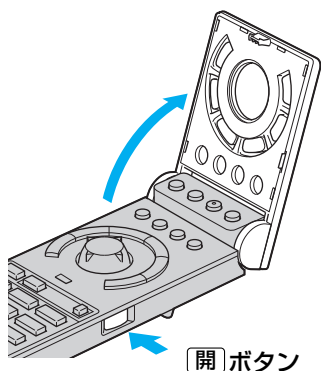
ちょっと一言

- 字幕言語が1種類のみ用意されている場合は、BS字幕ボタンを押すたびに、字幕が入/切されます。
- 「(BSデジタル)」メニューで「各種切換」を選び、「BS字幕入切」にしても設定できます。

BSテレビを録画/予約録画する

［BS固定ボタン］

BSテレビのチャンネルを固定させて本機につないでいるビデオに録画できます。また、BSテレビのチャンネルを固定して、48時間以内の予約録画もできます。
あらかじめ、「ビデオをつなぐ」（☞109～112ページ）をしておいてください。

1 **録画したいBSテレビのチャンネルを選ぶ。**

2 **開ボタンを押して、フタを開ける。**

3 **BS固定ボタンを押す。**

「BS固定：入」と表示され、BSテレビのチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。

4 **ビデオを「外部入力（ライン入力）」に切り換えて、録画を始める。**

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

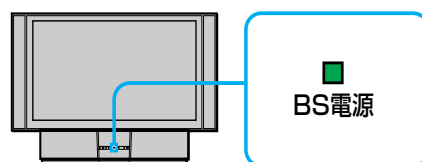
見ながら録画するときは

BS固定したBSテレビのチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときは

BSテレビを録画しながら、テレビ（地上波）やビデオを見ることができます。
見たい地上波のチャンネルやビデオ入力を選んでください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

予約録画するときは

BS固定してから48時間以内の予約録画ができます。
ビデオで「外部入力（ライン入力）」を48時間以内の録画予約し、本機のリモコンでテレビの電源を切る。
本機の電源はスタンバイ状態のまま、BS固定したBSテレビのチャンネルの信号が本機後面のBS/ビデオ出力端子から48時間出力され続けます（BS電源ランプが点灯）。

録画が終わったら/BS固定をやめるには

BS固定したチャンネルを選んでから、BS固定ボタンをもう1度押す。
BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意

BS固定中は、d(連動データ)ボタンを押しても、BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータは表示されません。
また、番組表ボタン、番組説明ボタン、画面表示ボタンなどを押しても、BSデジタル関係の画面表示（番組表や番組説明、チャンネル表示）などは表示されません。

BSラジオを録音する

BSラジオもBS固定できます。あらかじめ、「オーディオ機器をつなぐ」（☞120ページ）をしておいてください。
その後、46ページの手順1でBSラジオチャンネルを選んでください。
ただし、画像は正しく録画できません。

二重音声番組をBS固定するときのご注意

- **BS固定後は、二重音声は切り換えられません（☞42ページ）。**
  そのため、放送開始直後またはプレビュー中に、二重音声を切り換え、その後、BS固定してください。切り換えたBSチャンネルの音声が、本機のスピーカーから聞こえます。
- **BS固定中、本機後面の端子からは、本機のスピーカーから聞こえる音声に関係なく、つねに以下の音声が出力されます。**
  – BS/ビデオ出力端子の音声端子：音声（左）から主音声、音声（右）から副音声
  – 光デジタル出力端子：主音声と副音声の両方

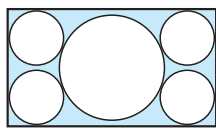
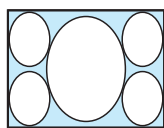
なお、音声出力端子（5kΩ）（固定）からは、BS固定に関係なく、スピーカーから聞こえる音声が出力されます。

ご注意

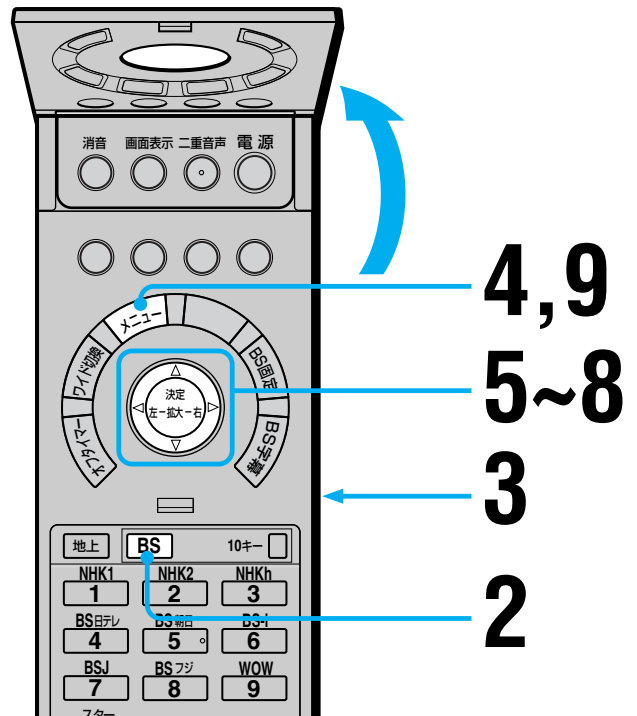
- 本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- BS固定をしているときに、BS用ボタン（青いボタンまたは青い文字のボタン）を押すと「BS102固定中」（102chに固定したとき）などと表示され、操作できません。
- ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入や、信号切換（☞42ページ）は、放送開始直後またはプレビュー中に行い、その後、BS固定してください。BS固定してからは、ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入や信号切換はできません。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
  また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
- BS独立データは、BS固定できますが、画像は正しく記録されません。
- 字幕放送の字幕は録画できません。

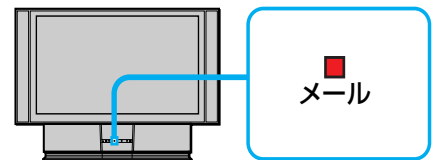
標準テレビ放送 SD の16:9映像の録画について

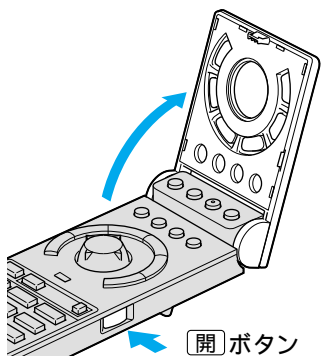
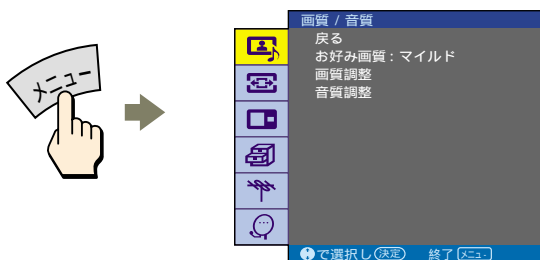
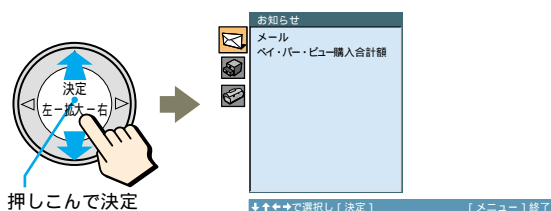
16:9映像には、あらかじめ縦長に圧縮して記録されているもの（スクィーズ映像）があります。ビデオで録画して本機以外のテレビで見るときは、以下にご注意ください。

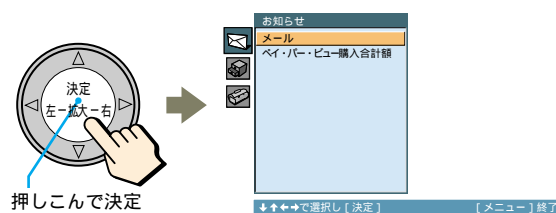
- ワイドテレビで見るときは、「フル」モードにすると、録画時のワイド画面で見ることができます。
- 「ワイドモード」機能のない、画面の横縦比4:3のテレビで見るときは、下の図のように、16:9のワイド画面が4:3に圧縮された縦長の画像になります。

録画時の画像

再生時に、横縦比4:3のテレビに映る画像

BS放送局からのお知らせを見る

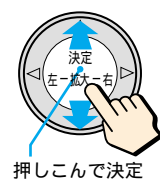
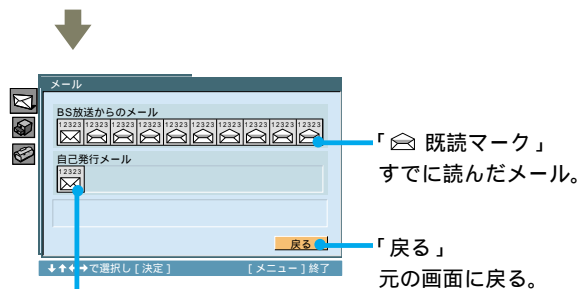
お客様に宛てた、放送局や本機からのお知らせ（メール）を見られます。

1 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

新しいメールや未読のメールがあるときは、本体の「メール」ランプが点灯します。

2 BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。

3 開ボタンを押して、フタを開ける。

4 メニューボタンを押す。

5 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 「(お知らせ)」が選ばれていることを確認し、真ん中を押し込んで決定する。

選ばれていないときは、△/▽で選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽で「メール」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

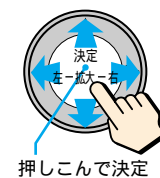
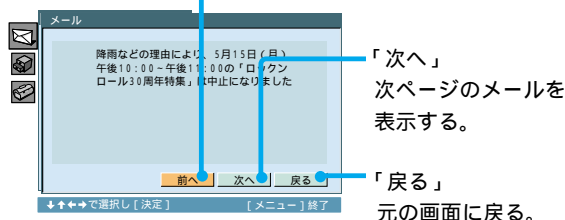
「BS放送からのメール」と「自己発行メール」（本機からのメール）がそれぞれ10通まで一覧表示されます。

メール
BS放送からのメール
自己発行メール
戻る
で選択し［決定］　［メニュー］終了

「既読マーク」
すでに読んだメール。

「戻る」
元の画面に戻る。

「未読マーク」
まだ読んでいないメール。

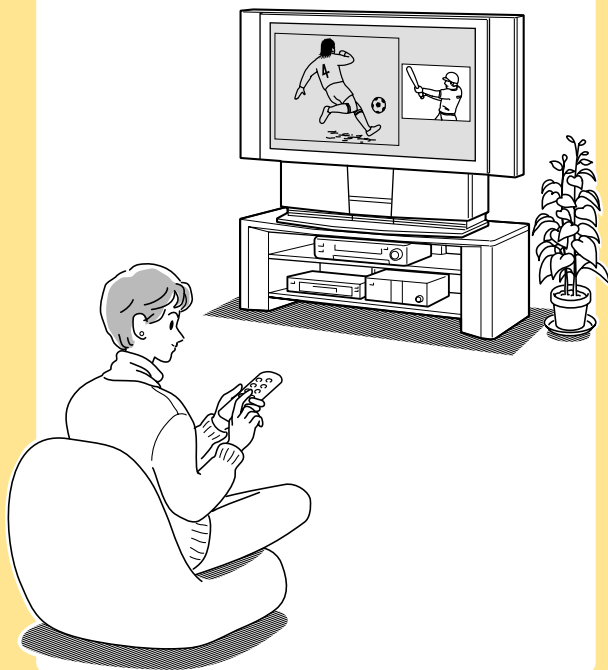
- 10通を超えると、未読・既読に関係なく、古いメールから順に削除され、新しいメールが追加されます。
- メールはお客様自身で削除できません。

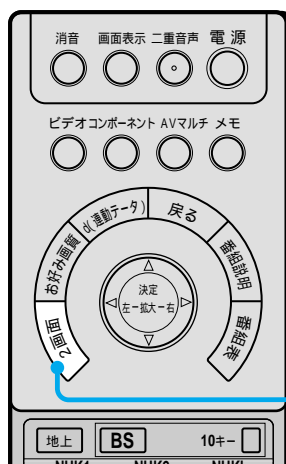
8 △/▽/◁/▷で見たいメールを選び、真ん中を押し込んで決定する。

「前へ」
前ページのメールを表示する。

「次へ」
次ページのメールを表示する。

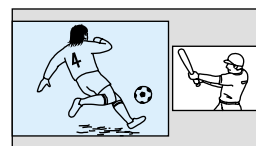
「戻る」
元の画面に戻る。

9 読み終えたら、メニューボタンを押して、メニューを消す。

2画面

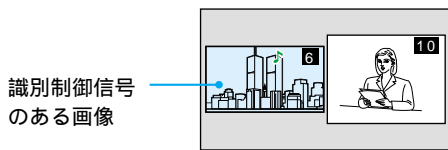
ここでは、テレビ（地上波）やBSテレビをはじめ、ビデオやテレビゲームなど本機につないだ機器の映像を、2画面で見るときの操作を説明しています。

2画面で見る
[2画面ボタン]

左右の画面サイズを変えて、2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、テレビ（地上波）やBSテレビと、本機につないだビデオなどの画像も同時に見ることができます。

2画面ボタン

2画面ボタンを押す。
もう1度押すと、1画面に戻ります。

ご注意

- 次の画像は、2画面で同時に見ることができません。
  - 同じテレビ（地上波）チャンネル
  - 同じまたは別々のBSテレビチャンネル
  - 同じ入力の画像（ビデオ1とビデオ1など）
  - コンポーネント入力同士の画像の組み合わせ
  - コンポーネント入力とAVマルチ入力の画像の組み合わせ
- コンポーネント入力端子とAVマルチ入力端子からの映像は左画面にのみ表示されます。
- 2画面のまま電源を切り、再び電源を入れると1画面に戻ります。

画質やワイド画面についてのご注意

- 2画面では、オートワイド機能は働きません。ただし識別制御信号のある画像は判別してワイド画像のまま表示されます。

- 2画面は、左右それぞれ別々の回路で信号処理しています。そのため、映像や音質など左右画面の間に多少の差があります。

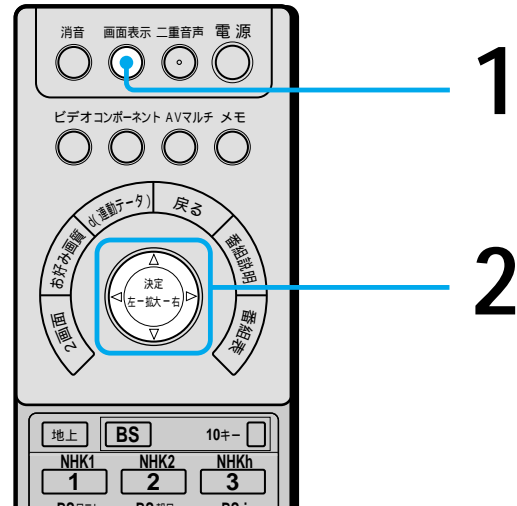
BSについてのご注意

- BSラジオとBS独立データのチャンネルを見ているときは、2画面ボタンを押しても、2画面にはなりません。
  また、2画面のときに、ラジオボタンや独立データデータボタンを押しても、選んだチャンネルには切り換わりません。
  ただし、10キーボタンと1～12のBS用数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を直接選ぶと、選べますが画面は黒くなり何も映らなくなります。
- BS字幕放送は、2画面では見ることができません。2画面で字幕を表示しようとしても、表示されません。

録画についてのご注意

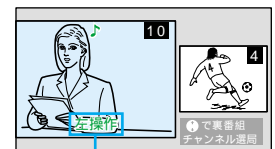
- 2画面の映像は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは、通常は左画面の映像/音声を出力します。BS固定時（☞46ページ）は、固定したBSチャンネルの映像/音声を出力します。ただし、コンポーネント入力端子につないだ機器の画像は、常に出力しません。また、お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の画像は、出力しない設定になっています（☞110ページ）。

操作する画面を選ぶ［左操作/右操作］

チャンネルや入力を選んだり、音量を調節できる画面（操作画面）を選びます。
操作画面の音声がスピーカーから出ます（ヘッドホンの音声は☞53ページ）。

1 画面表示ボタンを押して、操作画面がどちらになっているか確認する。

2画面を表示した直後は、左画面が操作画面になっています。

次のページにつづく

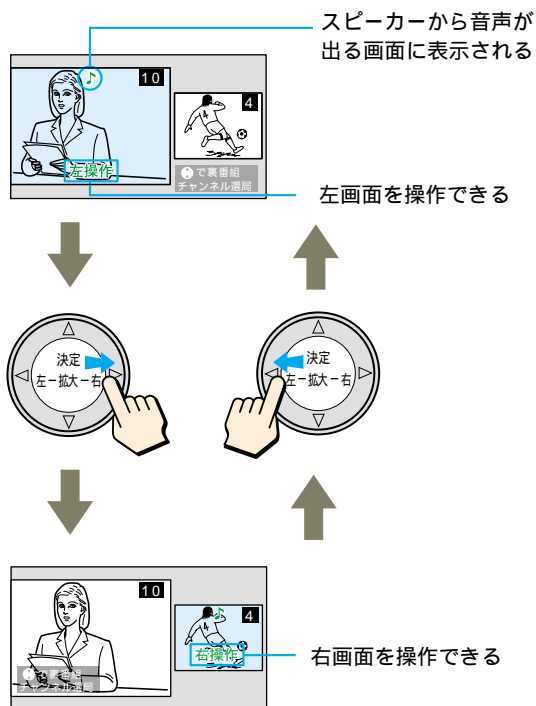
2 画面

2 操作したい画面が「操作画面」になっているときは

そのまま、チャンネルや入力を選んだり、音量を調節したりしてください。

ご注意

誤って、操作画面になっている方の◁/▷を押すと、画面サイズが変ってしまいます。

操作したい画面を変更したいときは

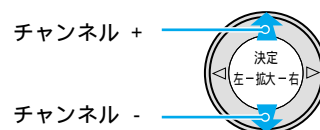
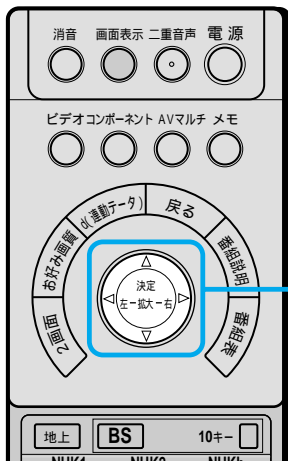
操作画面と逆の◁/▷を押す。
操作画面が入れ替わります。

ちょっと一言

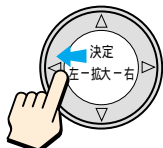
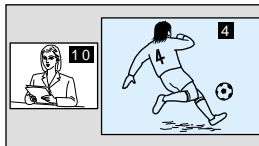
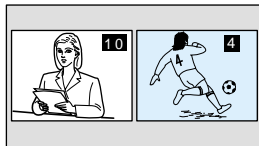
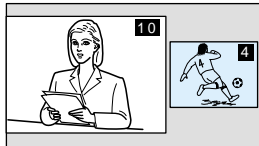
- メニュー画面でも操作できます。「(2画面)」メニューで「操作入替」を選び、「左操作」か「右操作」にしてください。
- 操作画面（ヘッドホンモード「1」のとき☞53ページ）またはスピーカーから音声が出ている画面（ヘッドホンモード「2」のとき☞53ページ）でテレビ（地上波）の放送が終了すると、自動的に消音します。1画面に戻してから、終了していないチャンネルを選ぶと音が出ます。また、省電力のため、操作画面で地上波の放送が終了して（または放送のない地上波のチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。ただし、操作画面にBSデジタルのチャンネルを表示しているときは、そのまま画面が表示され、スタンバイモードにはなりません。

2画面でチャンネルを選ぶには

どちらの画面もそれぞれ別々にチャンネルを選べます。

画面表示ボタンを押して、操作画面を確認し、チャンネルを切り換える。

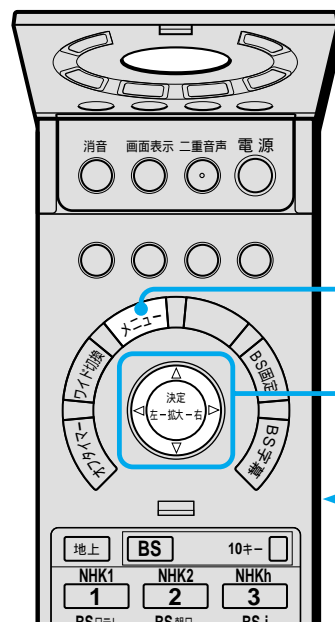
チャンネルを切り換えたい画面	押すボタン
操作画面のとき（「左操作」または「右操作」と表示されるのが操作画面です）	1画面でのチャンネルの選びかたと同じです。（☞8～9ページ）
操作画面でない画面	

画面サイズを変える［左拡大/右拡大］

大きくしたい側の◁/▷を押し続け、希望のサイズになったら指を離す。

ちょっと一言
左右の画面サイズを変えたときは、その大きさを本体が記憶するため、再び2画面にしたときに、その大きさで表示します。

2画面でヘッドホンの音声を選ぶには

スピーカーから音声を出さずにヘッドホンで聞いたり、ヘッドホンとスピーカーで左右画面の音声を別々に出したりできます。ヘッドホンモードを設定してください。

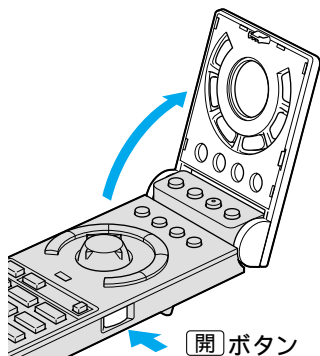
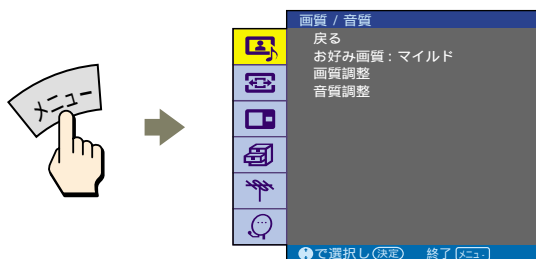
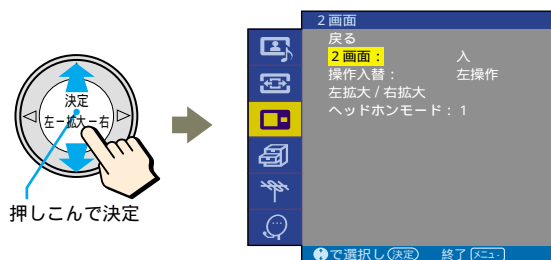
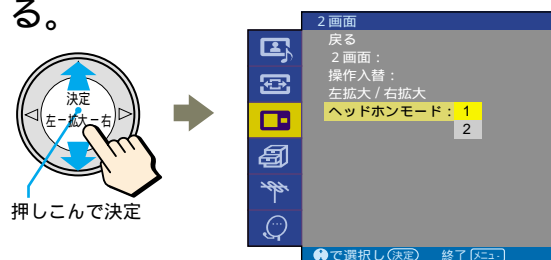
ヘッドホンモード「1」にすると
操作画面の音声がヘッドホンから聞こえます。スピーカーからは音声は出ません。
操作画面を切り換えると、ヘッドホンの音声も切り換わります。

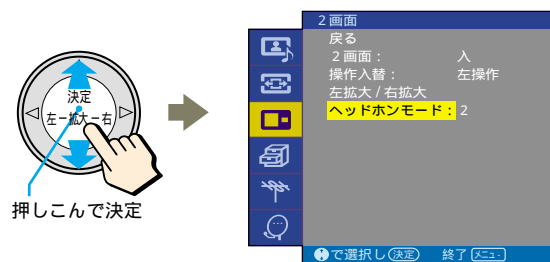
ヘッドホンモード「2」にすると
ヘッドホンとスピーカーから左右それぞれの画面の音声が別々に出ます。
設定後は、操作画面を切り換えても、ヘッドホンの音声は切り換わりません。

1 ヘッドホンモードを「2」に設定するときは、左・右操作を押して、スピーカーで音声を聞く画面を選ぶ。

ヘッドホンをつないでいるときは、ヘッドホンで音声を聞く画面を選んでください。
（「1」に設定するときは、この操作は不要です。）

次のページにつづく

2画面で見る［2画面ボタン］（つづき）

2 **リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。**

3 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

4 **△/▽で「□(2画面)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **△/▽で「ヘッドホンモード」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

6 **△/▽で「1」または「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

「2」を選んだときは、ヘッドホンからはスピーカーとは逆の画面の音声が出ます。

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

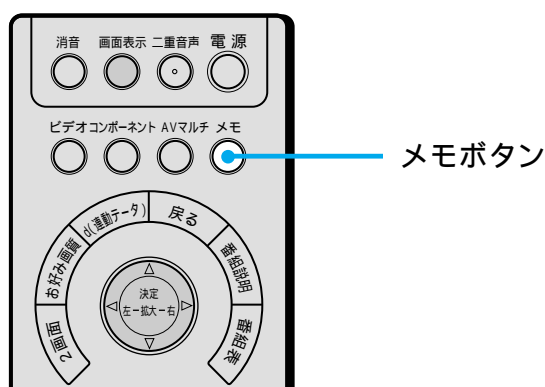
- ヘッドホンモード「2」に設定して一度2画面モードを終了して、再度2画面モードにすると、ヘッドホンモードは「1」に戻ります。
- 本機前面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、本体裏面の音声出力端子（5kΩ）（固定）からの音声信号が出力されなくなります。音声出力端子（5kΩ）（固定）にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。

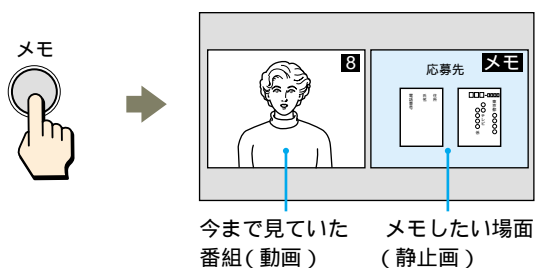
ちょっと一言

ヘッドホンを抜くと、「ヘッドホンモード」の設定によって、次の音声がスピーカーから出ます。

–「1」のとき:ヘッドホンで聞いていた音声
–「2」のとき:そのままのスピーカーの音声

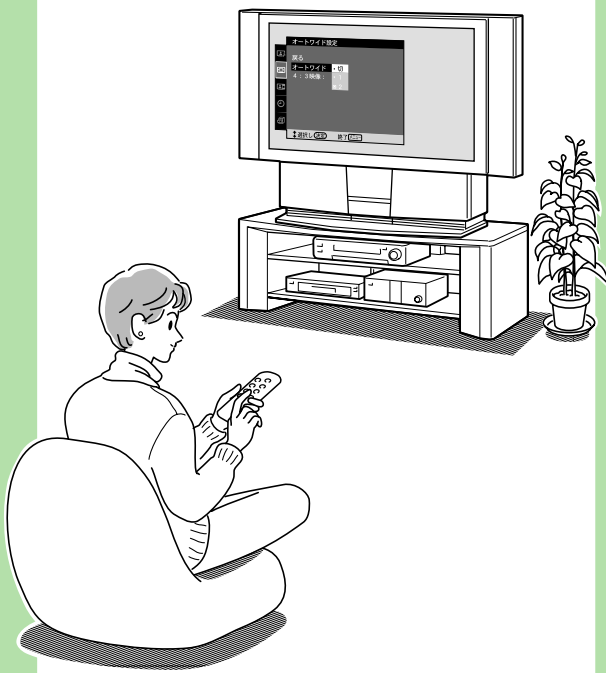
メモするために画面を静止させる［メモボタン］

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。同時に今まで見ていた番組もお楽しみいただけます。

メモしたい場面で、メモボタンを押す。

2画面になり、メモしたい場面が右に出ます。もう1度押すと、1画面に戻ります。

ご注意

- 2画面やBSラジオ、BS独立データの画面を見ているときは、メモはできません。
- メモ中に、チャンネルや入力を切り換えると、1画面に戻ります。
- 省電力のため、左の通常画面でテレビ（地上波）の放送が終了して（または放送のない地上波のチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。ただし、操作画面にBSデジタルのチャンネルを表示しているときは、そのまま画面が表示され、スタンバイモードにはなりません。

調整/設定

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。
また、本機に内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」
テレビ（地上波）では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4:3映像）に、映像を判別するための識別制御信号*1が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
このような識別制御信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」
次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

*1 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－BSデジタルの標準テレビ放送 SD
－ワイドクリアビジョン放送
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
－横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
－D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

テレビ（地上波）や本機につないだ機器の映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビ放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
ワイドクリアビジョン放送*3	「ズーム」	
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS2方式）*3	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS2方式）*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

BSデジタルの映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
デジタルハイビジョン放送HDの16:9映像	「フル」	
標準テレビ放送SDの16:9映像	「フル」	
標準テレビ放送SDのレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）	「ズーム」*4	
デジタルハイビジョン放送HDのサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）	「フル」	
標準テレビ放送SDの4:3映像	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
標準テレビ放送SDのサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）	「フル」	

*2 メニューで設定します（☞58ページ）。
*3 識別制御信号（☞56ページ）の入った映像です。
*4 識別制御信号（☞56ページ）があるとき。識別制御信号の無い場合は、「標準テレビ放送SDの4:3映像」と同じ画面モードになります。

調整／設定

オートワイドの設定を変える（つづき）

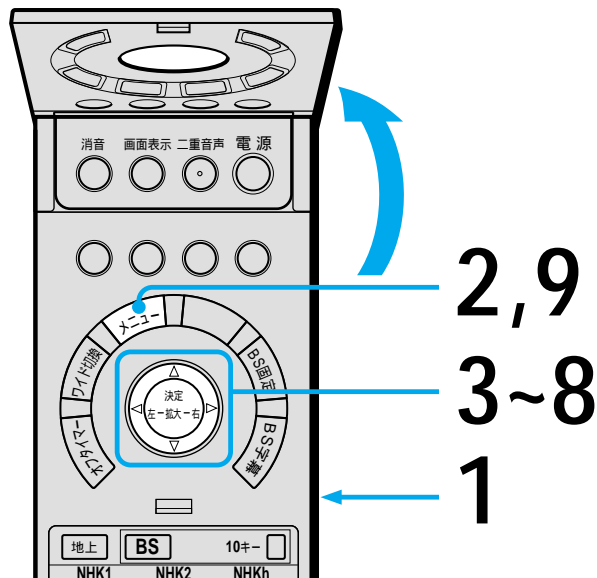
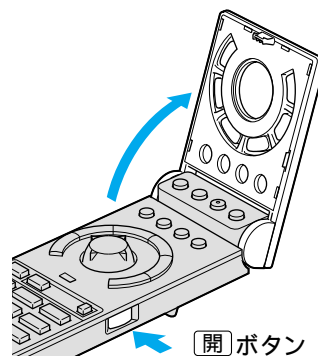
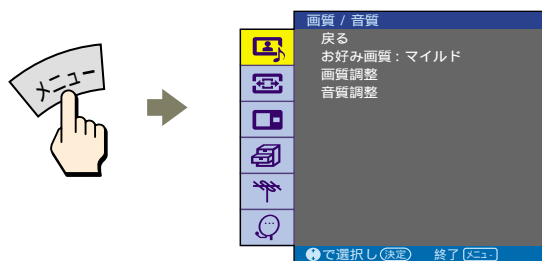
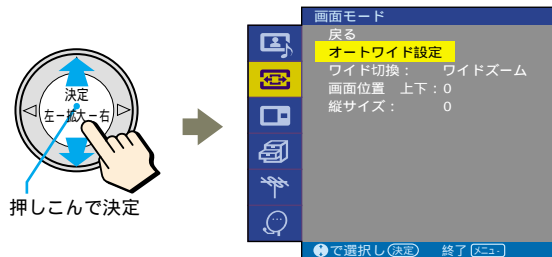
ちょっと一言
- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞13ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと（☞13ページ）、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
  — 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  — 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

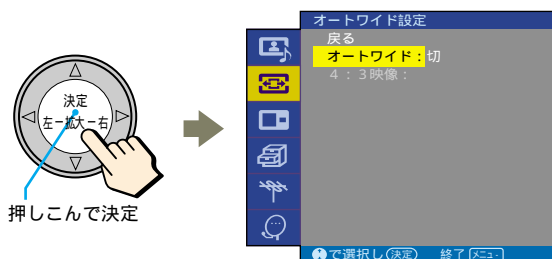
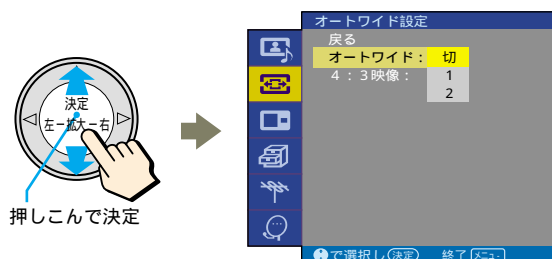
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わるときは

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる（☞12、36ページ）ためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断している（☞12、36ページ）ためです。

ワイド画面についてのご注意
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください（☞60ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

オートワイドについての詳しい説明は、☞12、36ページにもあります。

1 **開ボタンを押して、フタを開ける。**

2 **メニューボタンを押す。**

3 △/▽で「(画面モード)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 「オートワイド設定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

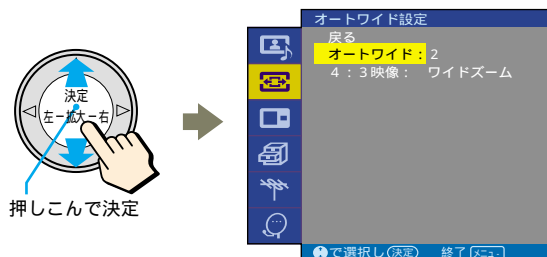
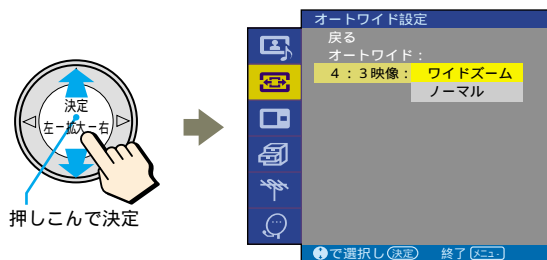
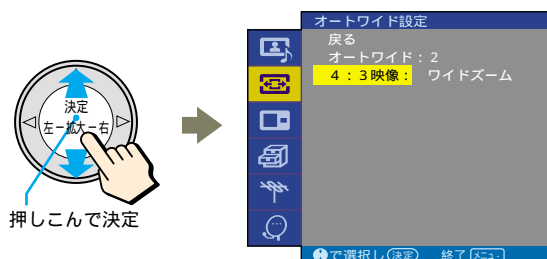
選ばれていないときは、△/▽で選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 △/▽で「オートワイド」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 オートワイドを切るときは

△/▽で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する（手順9へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは

△/▽で「1」を選び、真ん中を押しこんで決定する（手順9へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは

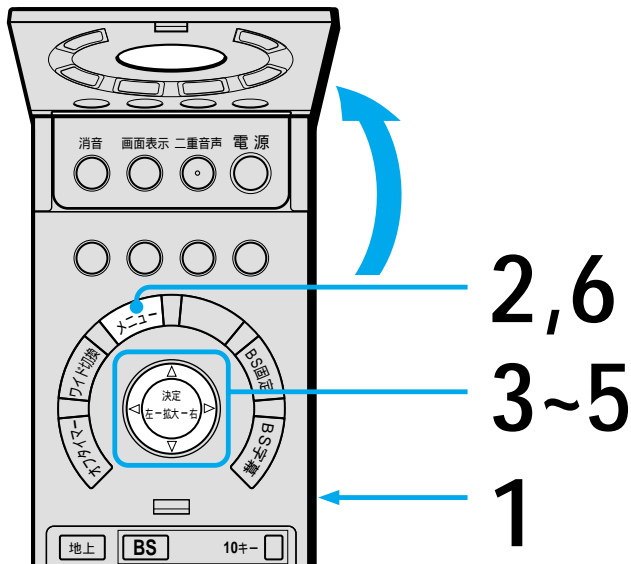
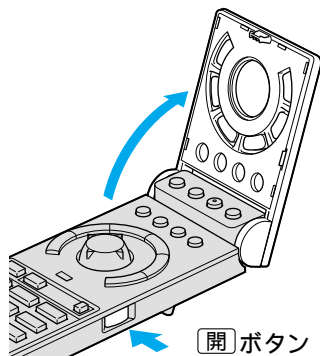
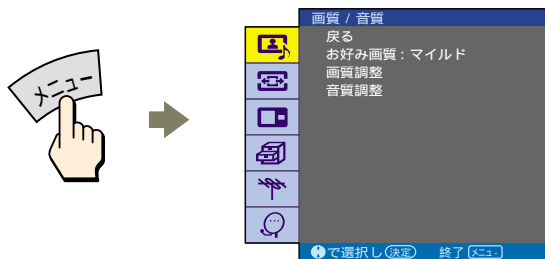
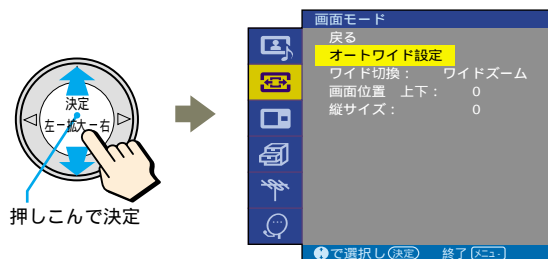
△/▽で「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 オートワイド「2」のときは、△/▽で「4:3映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

8 △/▽で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- デジタルハイビジョン放送HDのときは、オートワイド設定はフルに固定されているため、メニュー画面やワイド切換ボタンで画面モードを切り換えられません。
- BSラジオやBS独立データのときは、放送内容によってメニュー画面やワイド切換ボタンで画面モードを切り換えられない場合もあります。

画面の上下位置/縦サイズを調整する

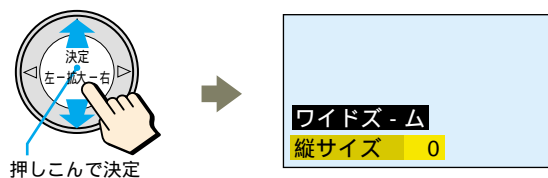
ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード（☞12、36ページ）ごとに調整できます。
• 「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
• 「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

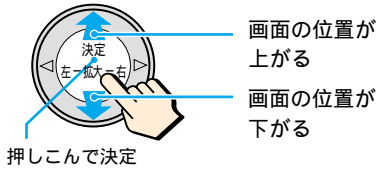
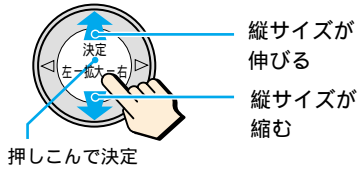
「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。また、BSのときは調整できません。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。

3 △/▽で「(画面モード)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 △/▽で調整したい項目を選ぶ。

画面の上下位置を調整するときは

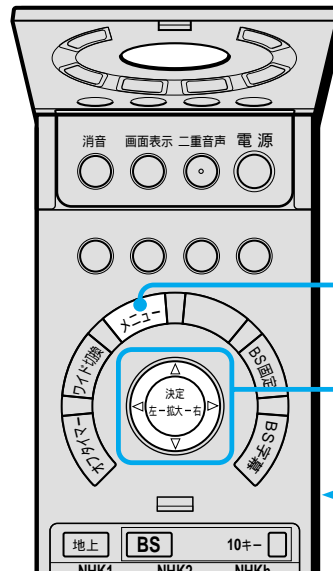
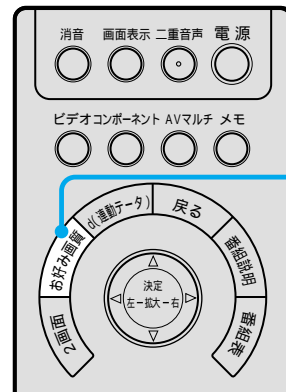
△/▽で「画面位置 上下」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

サイズを調整するときは

△/▽で「縦サイズ」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 △/▽で調整して、真ん中を押しこんで決定する。

画面の上下位置を調整するときは

縦サイズを調整するときは

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画質を調整する

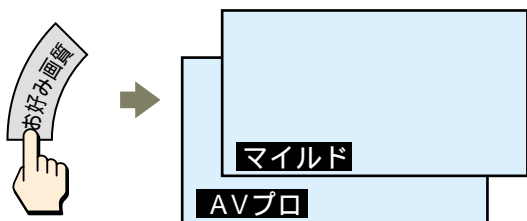
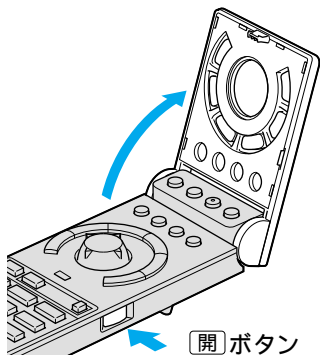
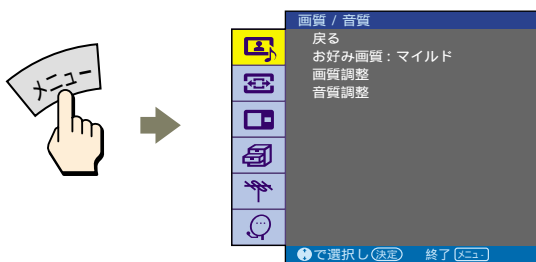
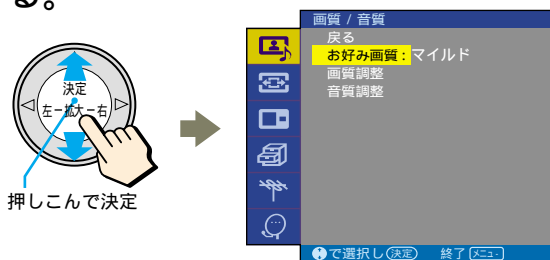
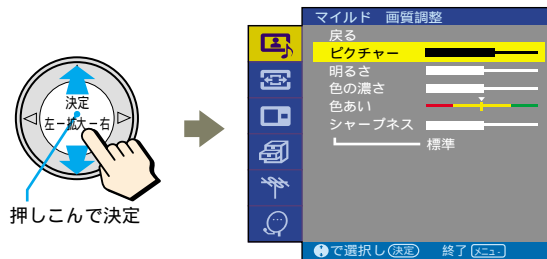
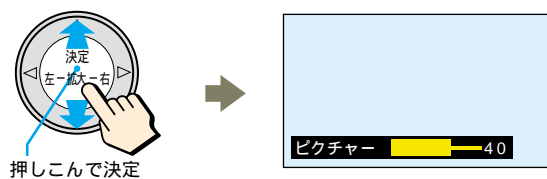
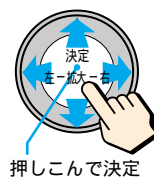
お好み画質ボタンで「マイルド」や「AVプロ」を選ぶ（☞14ページ）と、画質をより細かく調整できます。
画質は、テレビ（地上波）、BSデジタル、入力切換用のボタンで選べる各入力、別々に設定できます。

調整／設定

次のページにつづく

画質を調整する（つづき）

1 お好み画質ボタンをくり返し押して、「マイルド」または「AVプロ」を選ぶ。

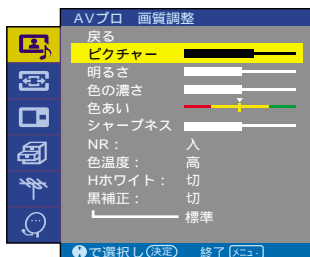
ご注意

「ダイナミック」と「スタンダード」（☞14ページ）では、画質調整できません。

2 開ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(画質/音質)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 △/▽で「画質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 △/▽/◁/▷で調整し、真ん中を押しこんで決定する。

「マイルド」と「AVプロ」両方で調整できる項目

項目	▽/◁を押すと	△/▷を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

「AVプロ」でのみ調整できる項目

項目	説明	選べる設定
NR(ノイズリダクション)*1	「入」:映像のざらつきや色ノイズを軽減する（ゴーストなど電波障害は軽減されない）。 「切」:元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがある。	入/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
Hホワイト(ハイパー)	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/弱/切

*1 「NR(ノイズリダクション)」は、525i（480i）の標準テレビ放送SDを除くすべてのBSデジタル、およびコンポーネント1、2（D4映像）入力端子、AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。

BSデジタルの525i（480i）の標準テレビ放送SDは「切」で、十分な画質でお楽しみいただけますが、オリジナル映像の種類によっては、「入」のほうが、きれいに見えることがあります。ただし、BS固定して録画中（☞46〜47ページ）は、「入」と「切」を切り換える際、BSビデオ出力端子からの信号にノイズが出る可能性があるため、切り換えないでください。

8 他の項目を調整するときは、手順6と7をくり返す。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

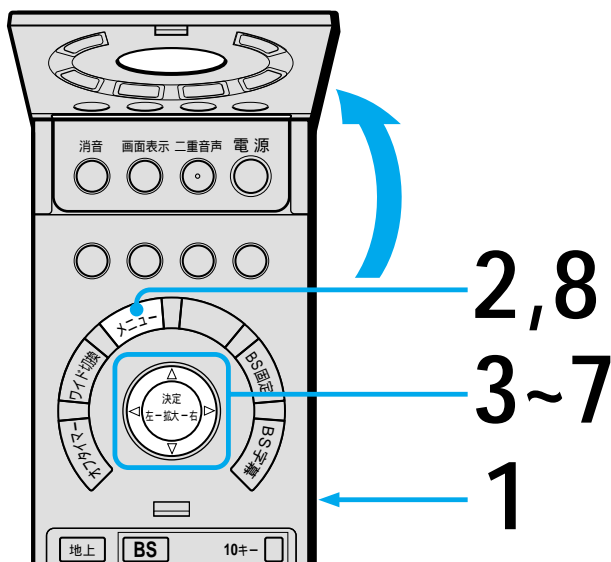
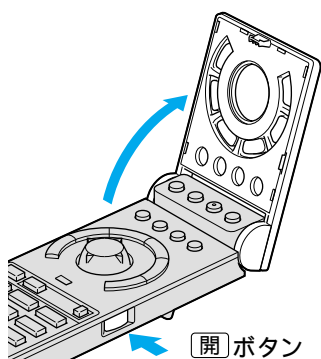
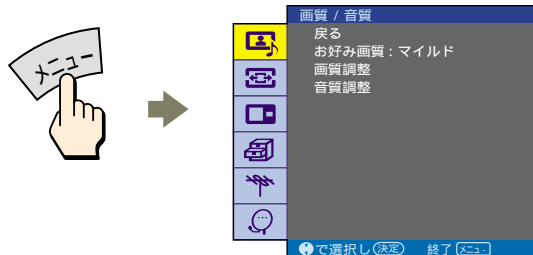
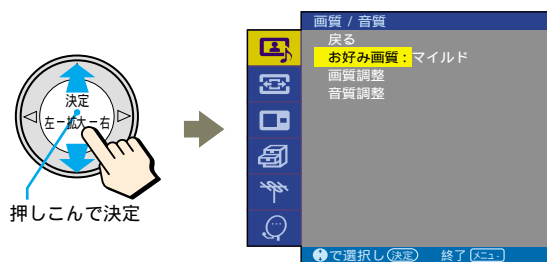
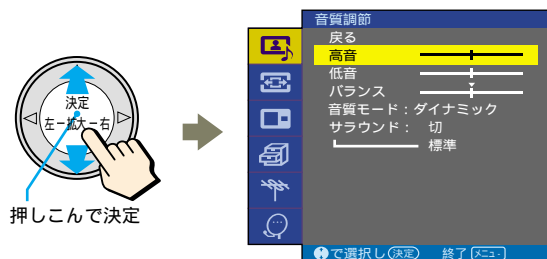
お買い上げ時の状態に戻すには

手順6で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

音質を調整する

音質は、テレビ（地上波）、BSデジタル、入力切換用のボタンで選べる各入力、別々に設定できます。

ちょっと一言

「高音」「低音」「バランス」以外の音質調整も同時にできます。詳しくは、「音質を選ぶ［音質モード］」（☞15ページ）や「立体感のある音声にする［サラウンド］」（☞16ページ）をご覧ください。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 メニューボタンを押す。

3 △/▽で「(画質/音質)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 △/▽で「音質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 △/▽で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。

「音質モード」（☞15ページ）や「サラウンド」（☞16ページ）も同様に調整できます。

6 △/▽/◁/▷で調整し、真ん中を押しこんで決定する。

項目	▽/◁を押すと	△/▷を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

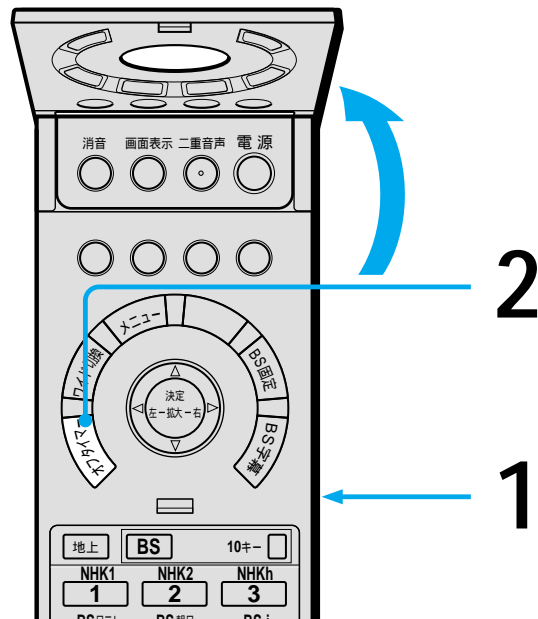
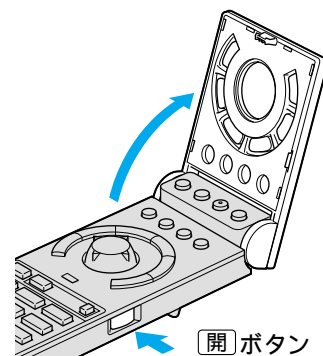
ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンで聞いているときに音質調整をすると、ヘッドホンを抜いたときに出るスピーカーからの音が調整されます。

自動で電源を切る［オフタイマーボタン］

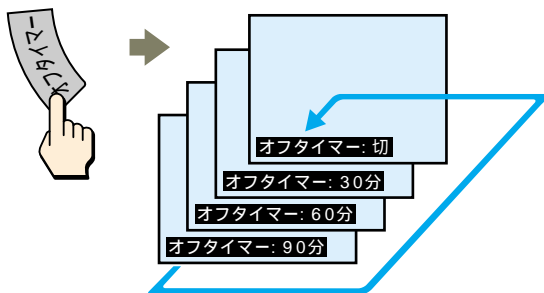
本機をつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

調整／設定

次のページにつづく

自動で電源を切る
[オフタイマーボタン]（つづき）

2 オフタイマーボタンをくり返し押す。

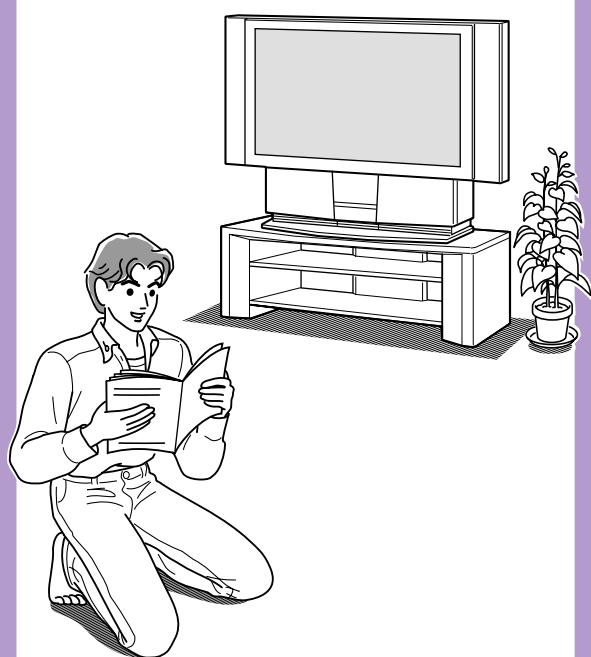
押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

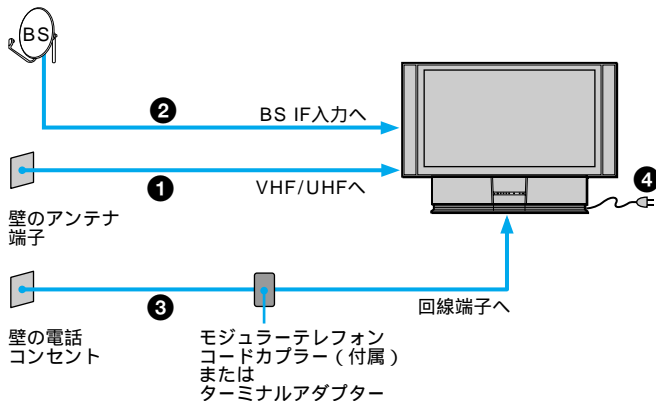
オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例:「オフタイマー:あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。「(各種切換)」メニューで「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

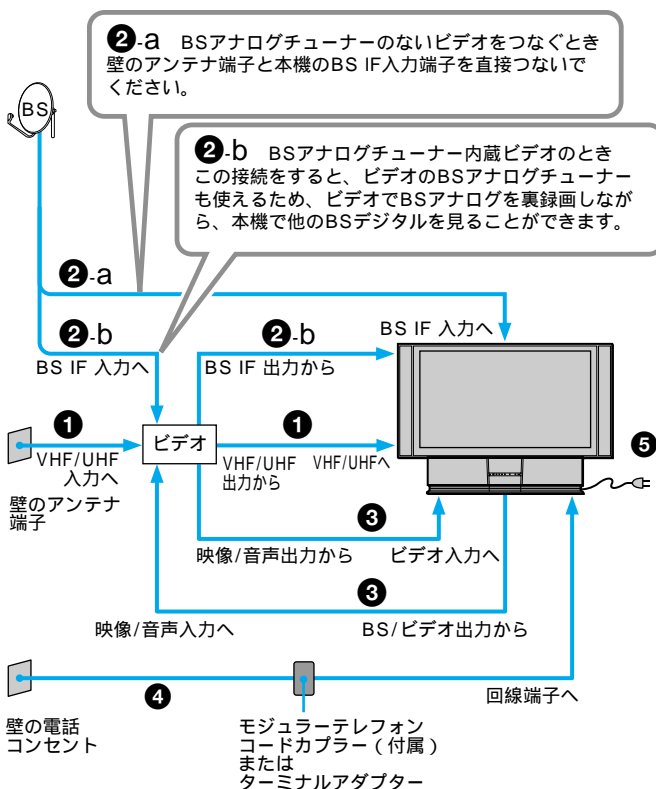
接続

ここでは、テレビ（地上波）アンテナとBSアンテナのつなぎかた、電話回線へのつなぎかたを説明しています。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞106〜121ページ）をご覧ください。

接続と準備の早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。
ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは（　）内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

次のページにつづく

テレビ

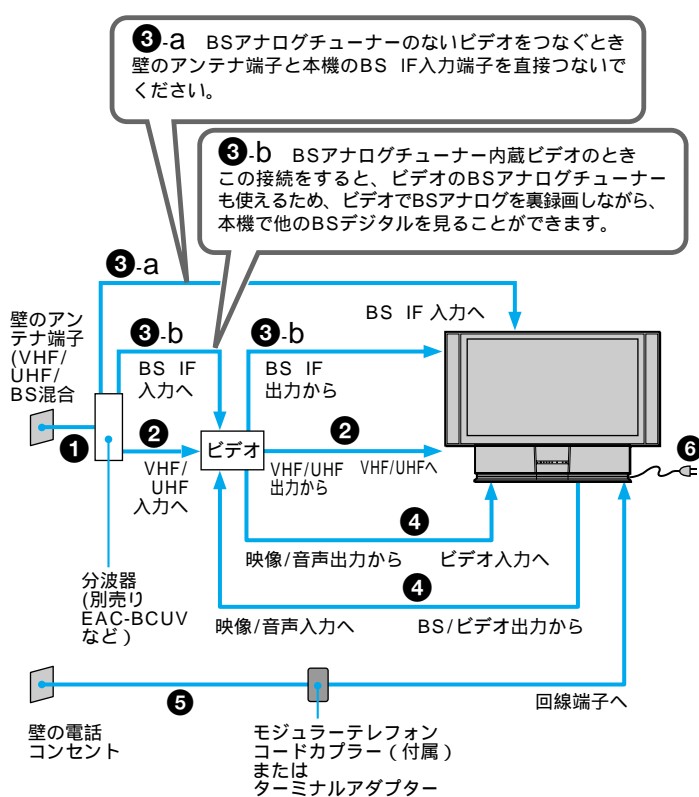
❶ テレビ（地上波）アンテナをつなぐ（☞71ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞73ページ）
❸ 電話回線をつなぐ（☞75ページ）
❹ 電源コードをつなぐ
❺ テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（☞78ページ）
❻ BSアンテナの設定をする（☞83ページ）

テレビ＋ビデオ

❶ テレビ（地上波）アンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞111～112ページ、およびビデオの取扱説明書）
❷ BSアンテナをつなぐ
 ❷-a BSアナログチューナーのないビデオのとき: BSアンテナをテレビにつなぐ（☞73ページ）
 ❷-b BSアナログチューナー内蔵ビデオのとき: BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞112ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ ビデオをつなぐ（☞111～112ページ）
❹ 電話回線をつなぐ（☞75ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（☞78ページ）
❼ BSアンテナの設定をする（☞83ページ）

マンションなどの共同受信システム*1

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSに分波する（☞72ページ）
❷ 分波したVHF/UHFとBSの信号をテレビにつなぐ（☞72ページ）
❸ 電話回線をつなぐ（☞75ページ）
❹ 電源コードをつなぐ
❺ テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（☞78ページ）
❻「BSアンテナ設定」を「切」にする（☞83ページ）

マンションなどの共同受信システム*1＋ビデオ

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSに分波する（☞72ページ）
❷ テレビ（地上波）アンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞111～112ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ BSアンテナをつなぐ
　❸-a　BSアナログチューナーのないビデオのとき: BSアンテナをテレビにつなぐ（☞73ページ）
　❸-b　BSアナログチューナー内蔵ビデオのとき: BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞112ページ、およびビデオの取扱説明書）
❹ ビデオをつなぐ（☞111～112ページ）
❺ 電話回線をつなぐ（☞75ページ）
❻ 電源コードをつなぐ
❼ テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（☞78ページ）
❽「BSアンテナ設定」を「切」にする（☞83ページ）

ケーブルテレビ

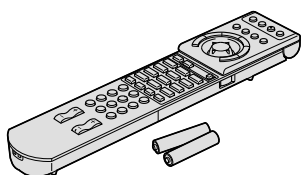
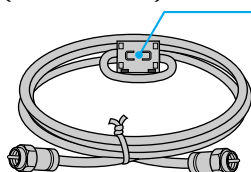
ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

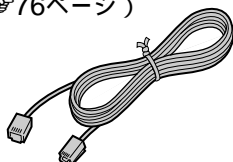
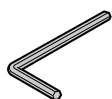
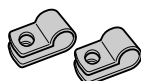
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

準備1:
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と
単4形乾電池（2個）

VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル
（フェライトコア付き）（1本）
（☞71ページ）

フェライトコアを取りはずさないでください。

モジュラーテレホンコードカプラー（1個）
（☞76ページ）

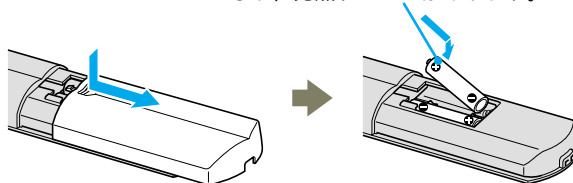
テレホンコード（10m）（1本）
（☞76ページ）

ランプ取付用レンチ（1）
（☞7ページ）

転倒防止用クリップ（2）
（☞5ページ）

クリップ取付用ネジ（2）
（☞5ページ）

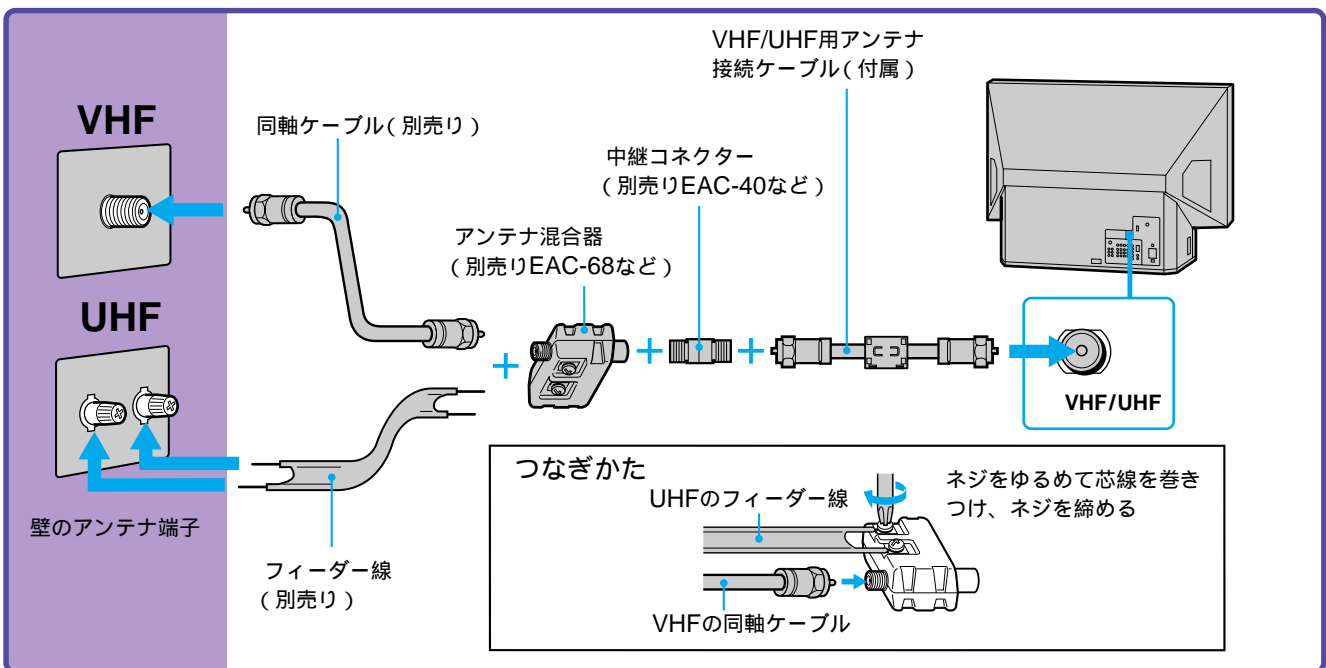
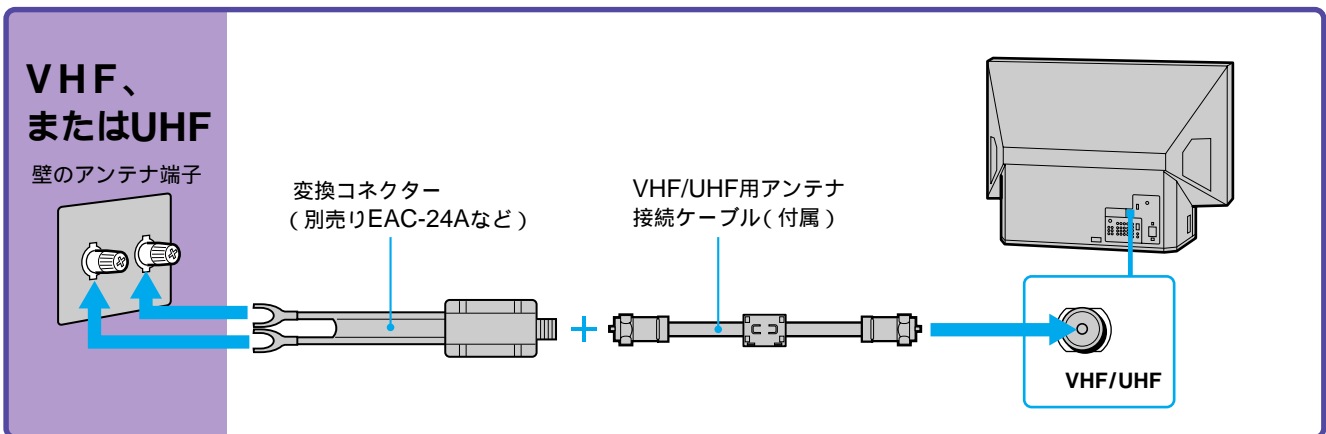
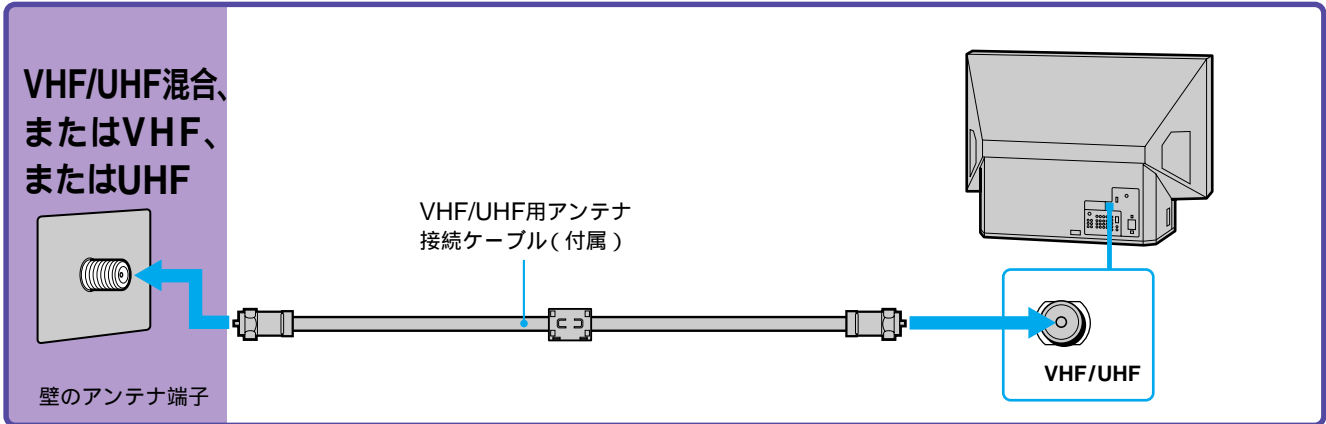
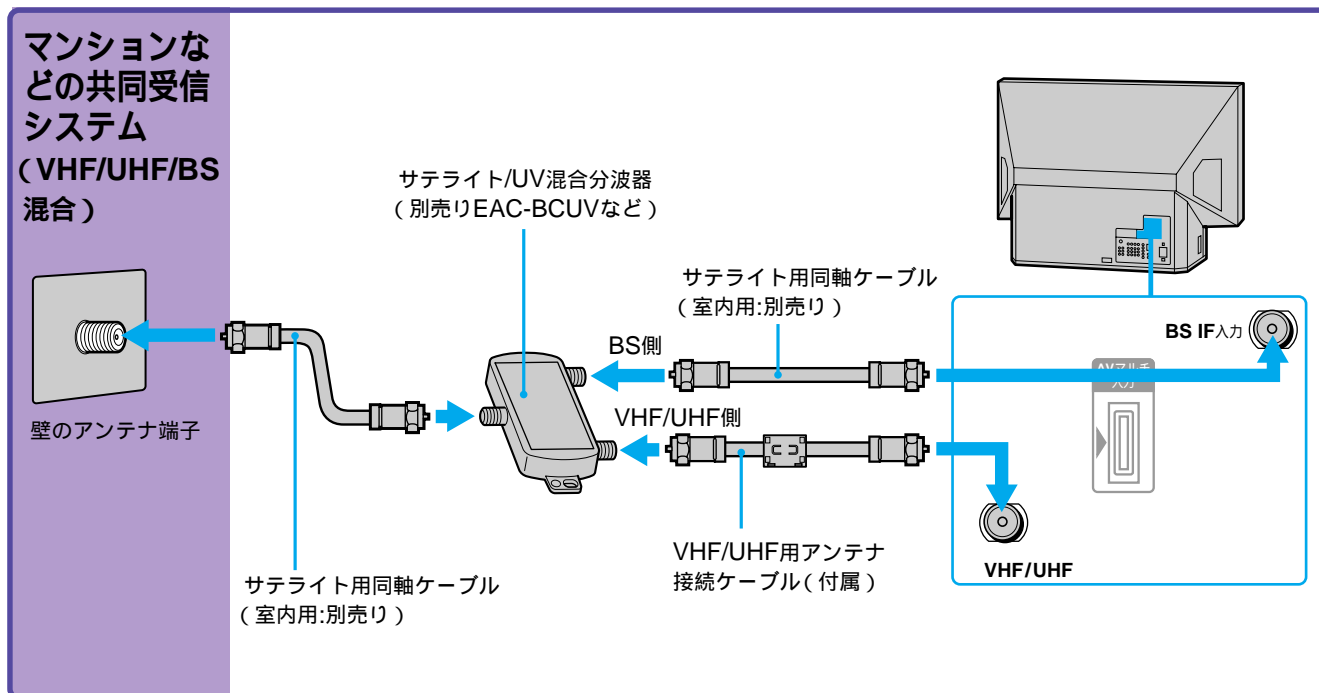
クリーニングクロス（1）
（☞134ページ）

BSデジタル用ICカード
（B-CAS（ビーキャス）カード）（1）とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
ソニー用お客様ご登録カード
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

準備2:
テレビ（地上波）アンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

準備2: テレビ（地上波）アンテナをつなぐ（つづき）

きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、**必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

CSデジタル放送を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞83ページ）を行ってください。

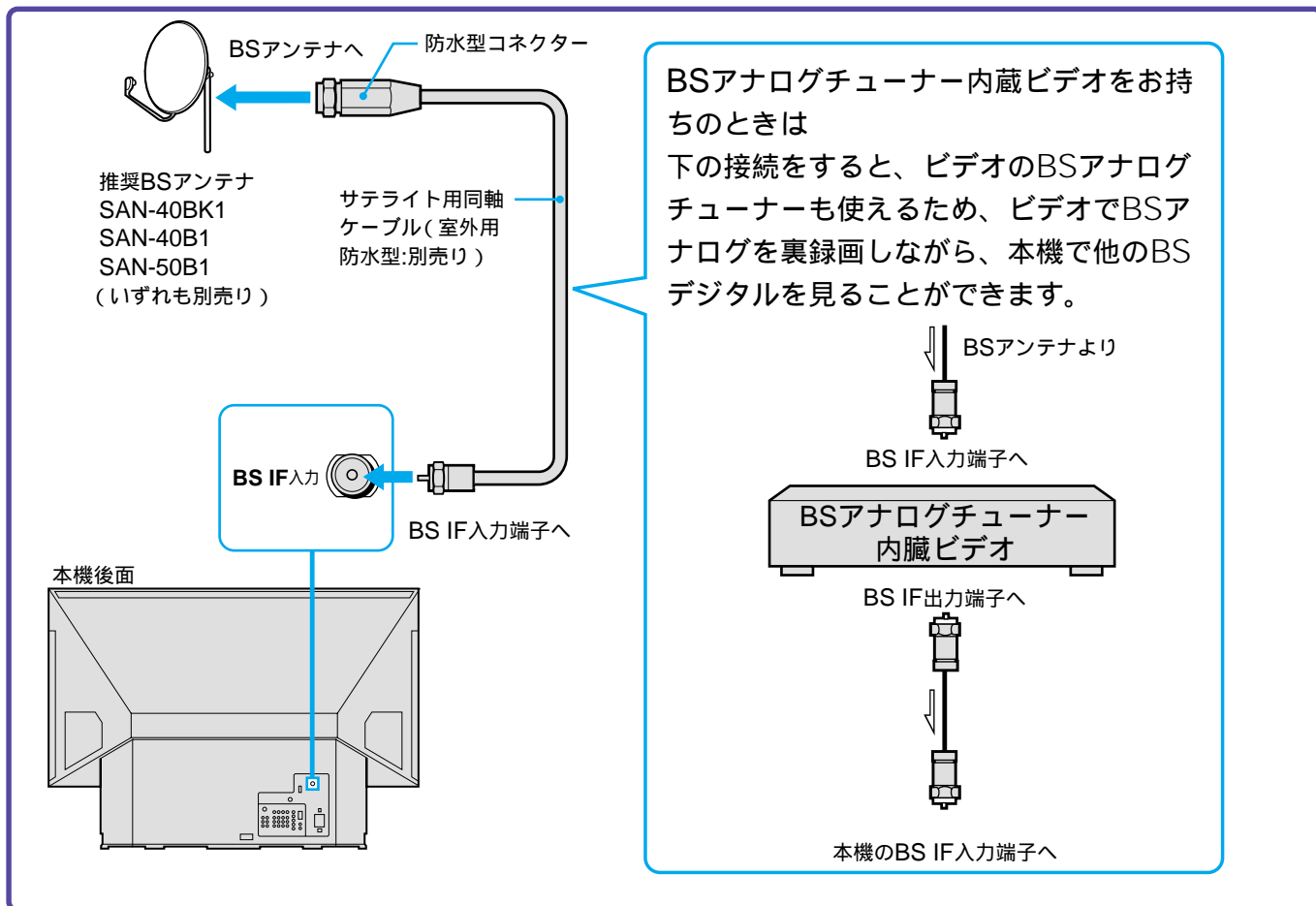
ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF**入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用:別売り）をつないでください。**BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、 BSアナログチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

準備3:BSアンテナをつなぐ

BSアンテナを本機に直接つなぎます。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞72ページをご覧ください。
本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

ご注意

- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。** BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源(DC 15V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型:SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社(☞20ページ)の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。☞85ページ)
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など)を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSアナログチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

次のページにつづく

準備3:
BSアンテナをつなぐ（つづき）

マンションなどの共同受信システムのときは

壁のアンテナ端子ひとつでBS放送とテレビ放送を受信できる共同受信システムのときは、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。
接続のしかたについてくわしくは「準備2：テレビ（地上波）アンテナをつなぐ」の72ページをご覧ください。
また、「(BSデジタル)」メニューで「(初期設定)」を選び、「BS設定」で「BSアンテナ設定」を「切」にしてください。（☞83ページ）

ケーブルテレビに加入されているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、BSデジタル放送に対応しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社が対応していれば、BSデジタルはご覧いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

CSデジタル放送を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞83ページ）を行ってください。

「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

「(BSデジタル)」メニューの、「(初期設定)」の中にある「BS設定」で、「BSアンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 いったん本機の電源を切る。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

芯線がBS-IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS IF端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 再び電源を入れた後、「(BSデジタル)」メニューで「(初期設定)」を選び、「BS設定」で「BSアンテナ設定」を設定する（☞83〜84ページ）。

- BSアンテナを本機につないでいるときは、「オート」または「入」にする。
- マンションなどの共同受信システムのときは、「切」にする。

準備4：電話回線につなぐ

次のときのために、**必ず本機を電話回線につなぐ必要があります。**

- BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）に記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するため
- ペイ・パー・ビュー（PPV）契約をして、番組単位で購入するとき（☞37ページ）
- BSデータを見ているときに、放送局と通信を行うとき（☞31、34ページ）（本体前面の通信ランプが点灯します。）

ご注意

次の電話回線には、つなげません。

- 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
- 携帯電話および、PHS、自動車電話
- 船舶電話
- 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき

ちょっと一言

番組購入・契約状況などの情報の送受信について

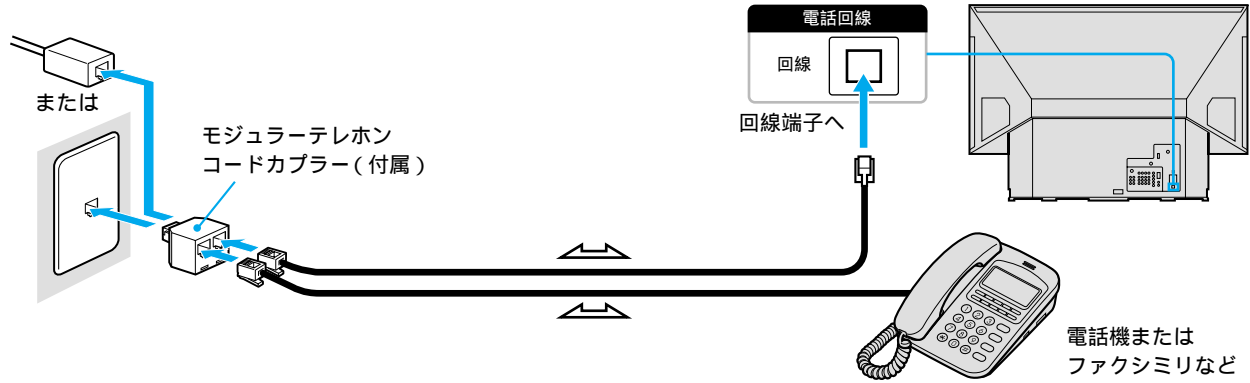
- 購入情報などの送受信中には、本機の通信ランプが点灯します。
- 本機が電源スタンバイ（スタンバイ／オフタイマーランプが赤く点灯のとき）のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときは、本機の通信ランプが点灯し、電話がかかってきたときは話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの自動転換機TL-P20を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP20（2口用）をご使用ください。
  また、このときに緊急に電話をかけたいときなどは、本体の電源スイッチを押して電源を切ってください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

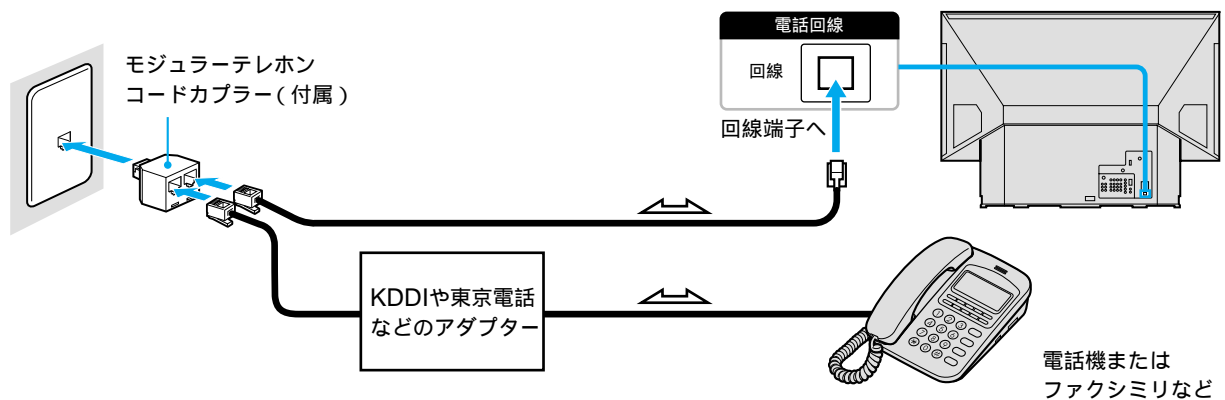
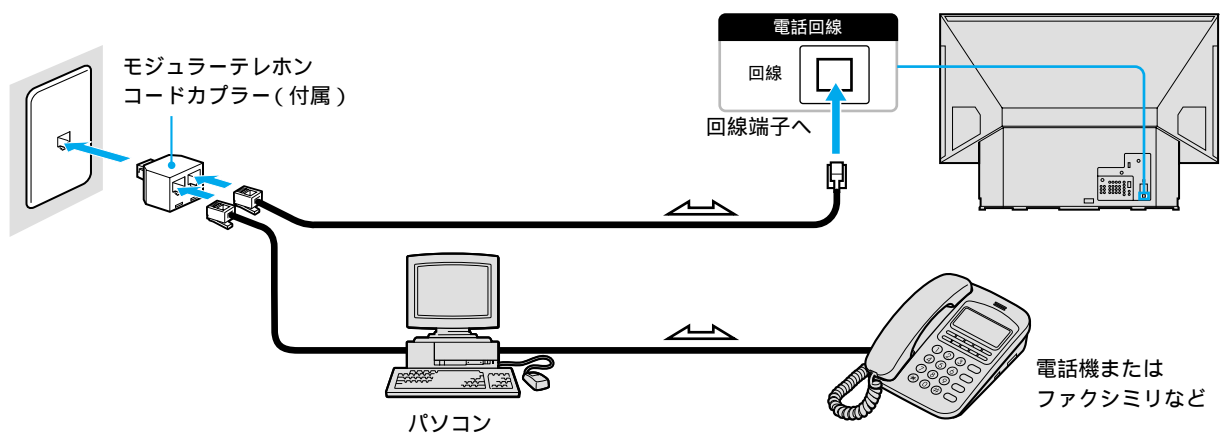
電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

お住まいの電話回線の状況を次ページから選んで、つないでください。
また、**壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは「その他のとき」（☞77ページ）をご覧ください。**

モジュラージャック

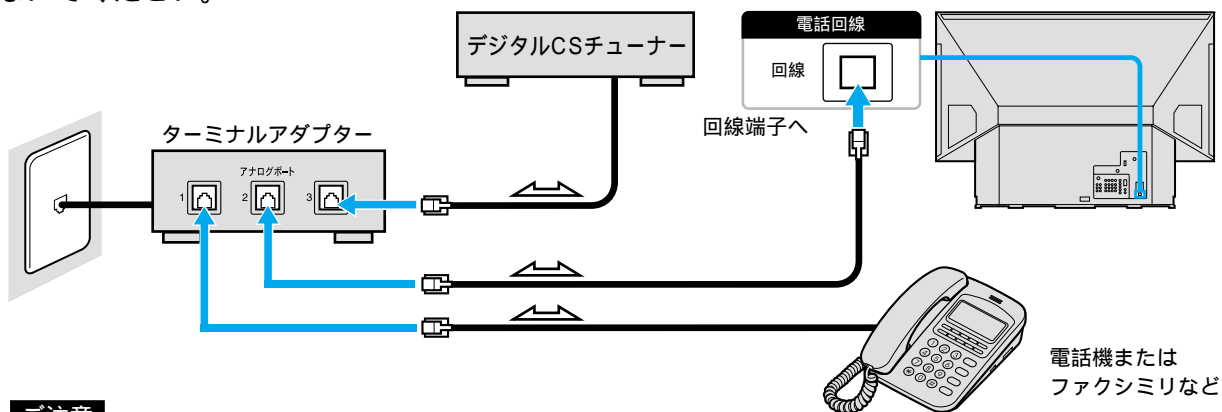
ご注意

ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

接続

次のページにつづく

準備4:
電話回線につなぐ（つづき）

ちょっと一言

パソコンなどの通信や、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの高速データ通信用自動転換器SMD-AP20（2口用）やSMD-AP30（3口用）を使ってください。

ISDN回線を使っているとき

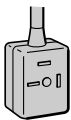
お手持ちのターミナルアダプターやダイヤルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。

ご注意

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください。（☞92ページ）
- 別売りのコードレス通信ユニットCTU-50とは併用できません。また、別売りのコードレス通信ユニットSPP-TU1と併用するときは、うまく通信できないことがあります。

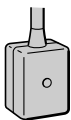
その他のとき

壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき

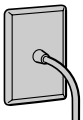
3ピンプラグ式

電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターTL-30をつないでください。

壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき

ローゼット式

別売りのモジュラーアダプター（TL-36など）でつなげます。この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

壁の電話コンセントが直付けタイプのとき

直付けタイプ

「工事担任者」資格者（NTT116番）に、モジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

壁の電話コンセントと本機を使う場所が離れているとき

別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1などが使えます。ただし、 KDDIや東京電話などのアダプターとは併用できません。

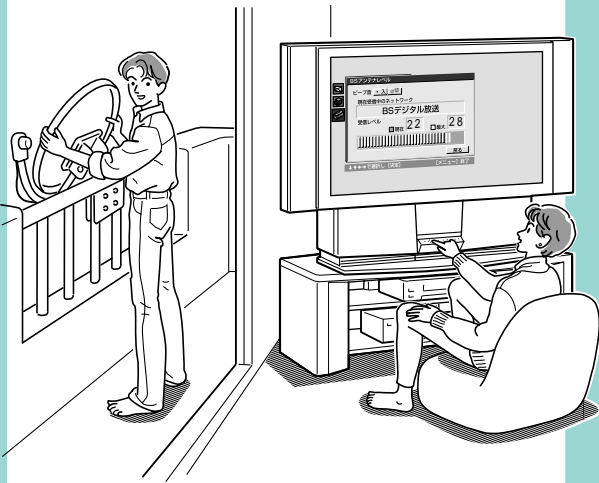
壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP30（3口用）を使ってください。

壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）のとき

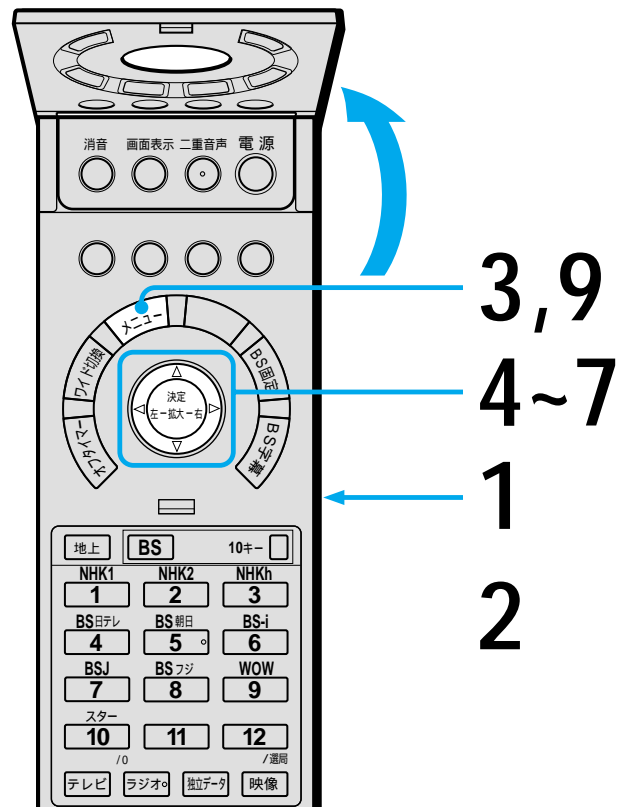
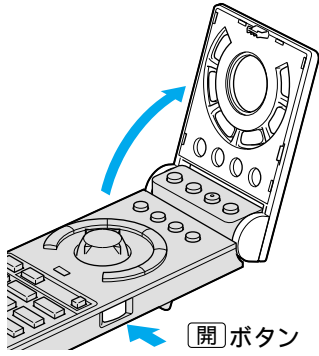
専門業者による工事が必要です。

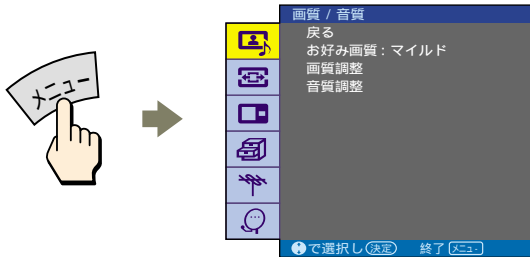
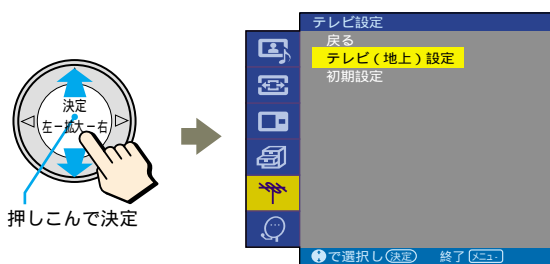
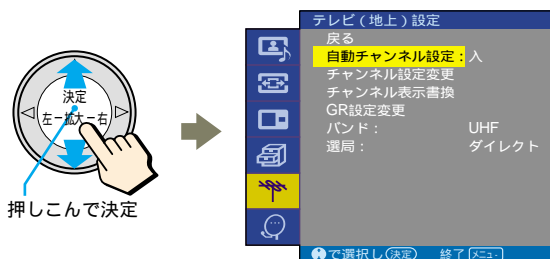
受信設定

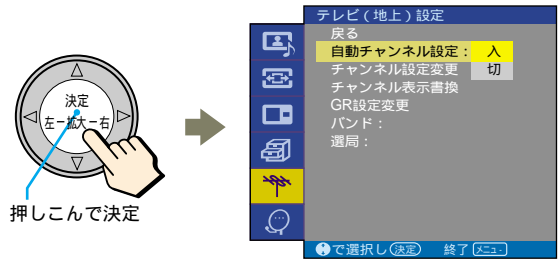
ここでは、テレビ（地上波）のチャンネル設定や、BSデジタルを視聴するための設定を説明しています。
準備5（☞78～82ページ）まで行えば、地上波を見ることができます。
準備6～10（☞83～94ページ）まで行えば、BSを視聴することができます。

準備5: テレビ（地上波）のチャンネルを設定する

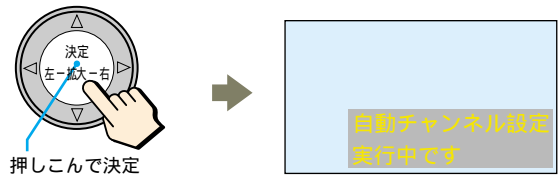
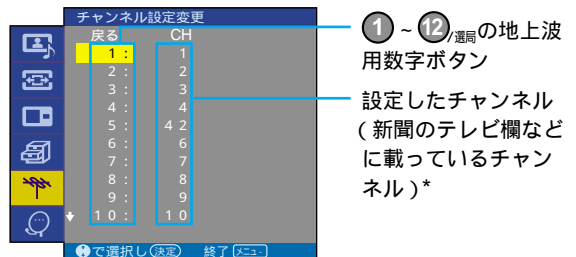
テレビ（地上波）は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できる地上波を、1～12/選局の地上波用数字ボタンに自動的に設定します。地上波のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞81～82ページをご覧ください。

1 **開ボタンを押して、フタを開ける。**

2 **地上波になっていないときは、地上ボタンを押して、地上波に切り換える。**

3 **メニューボタンを押す。**

4 **△/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

5 **△/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

6 **「自動チャンネル設定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押し込んで決定する。**

選ばれていないときは、△/▽で選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 **「自動チャンネル設定」が「入」になっていることを確認して、真ん中を押し込んで決定する。**

「切」になっているときは、△/▽で「入」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

＊ 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

8 **設定されたチャンネルを確認する。**

手動で設定し直したいときは

☞81ページをご覧ください。

ゴーストの少ない画像にしたいときは

☞96ページをご覧ください。

9 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

準備5: テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（つづき）

チャンネル設定を途中でやめるには

手順7で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのメニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。
詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞94ページ）。**

2 **リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。**

3 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

4 **△/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

5 **△/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

6 **△/▽で「バンド」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

7 **△/▽で「CATV」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

8 **△/▽で「チャンネル設定変更」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

9 **△/▽でケーブルテレビを映したい地上波用数字ボタンの数字をメニューから選び、真ん中を押し込んで決定する。**

10 **△/▽で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、真ん中を押し込んで決定する。**
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例:C24

11 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞94ページ）をするときは、自動設定で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンのすべてを、手動で設定できます。

①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

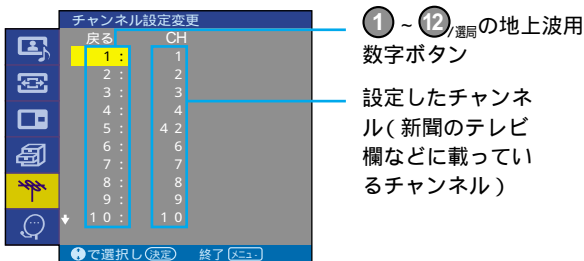
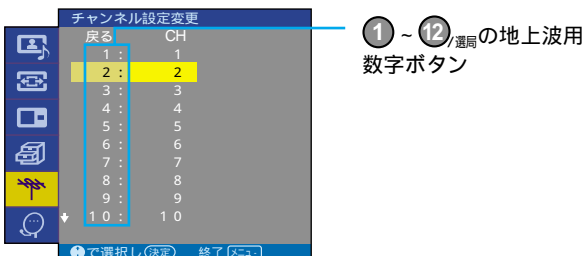
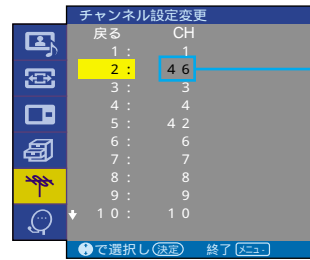
①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 リモコン右横の開ボタンを押してフタを開ける。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「チャンネル設定変更」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で変更したい地上波用数字ボタンの数字をメニューから選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽で設定したチャンネルを変更し、真ん中を押し込んで決定する。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「(テレビ設定)」メニューで「テレビ（地上）設定」を選び、「バンド」を「UHF」から「CATV」にしてください。詳しくは、（☞80ページ）をご覧ください。

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

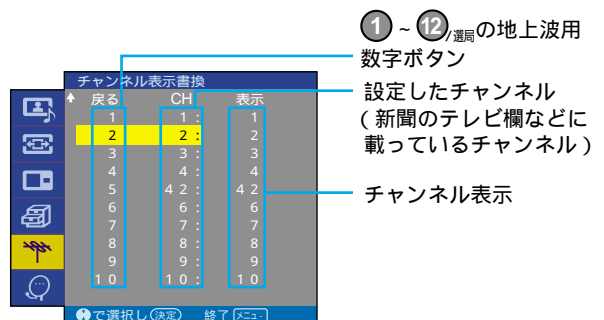
1 リモコン右横の開ボタンを押してフタを開ける。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

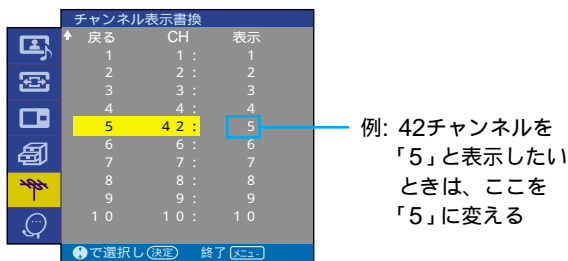
3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「チャンネル表示書換」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

次のページにつづく

準備5: テレビ（地上波）のチャンネルを設定する（つづき）

6 △/▽で書き換えたいチャンネルを選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽でチャンネル表示を書き換え、真ん中を押し込んで決定する。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

放送のないチャンネルをとばすには

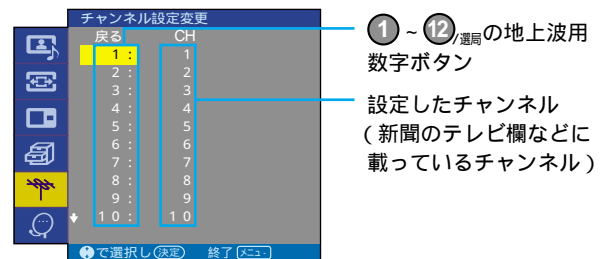
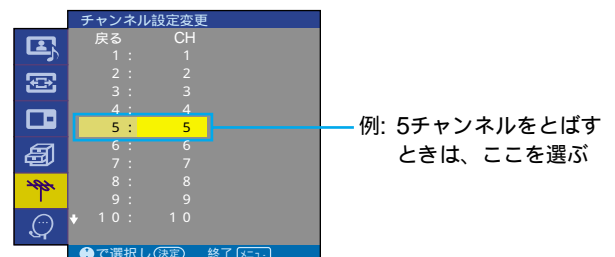
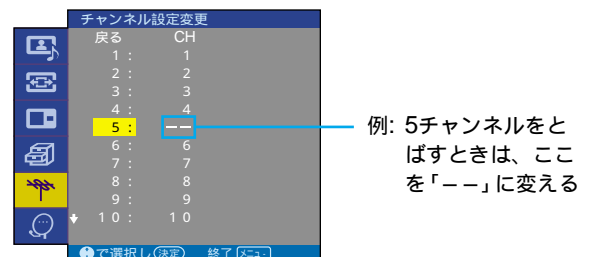
チャンネル＋/－ボタンで地上波のチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 リモコン右横の開ボタンを押してフタを開ける。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

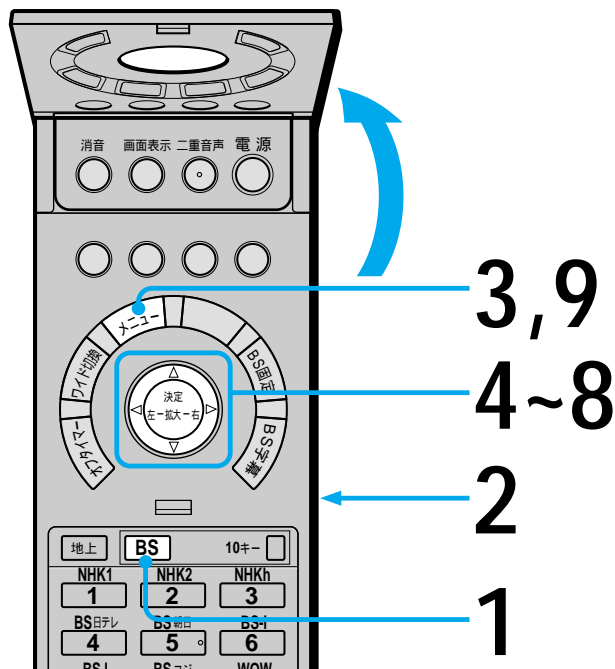
4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「チャンネル設定変更」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽でとばしたいチャンネルを選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽で「CH」を「– –」に変えて、真ん中を押し込んで決定する。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

準備6:
BSアンテナの設定をする

BSデジタルを見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きの調整を行ってください。
また、お住まいの地域に特有の放送を受信するために、地域設定を行ってください。

BSアンテナ電源を設定する

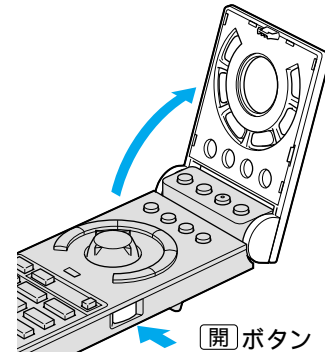
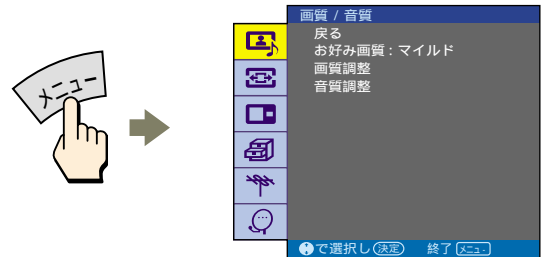
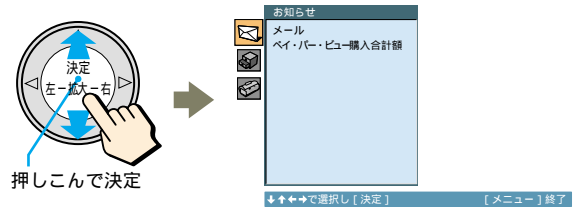
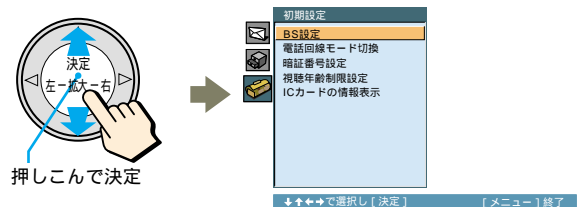
BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

1 BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。

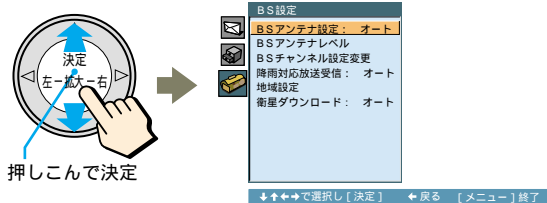
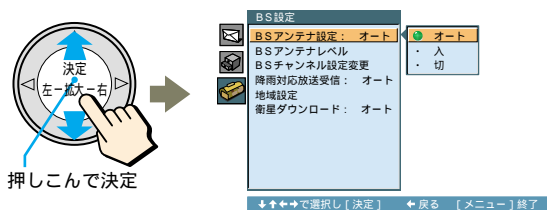
2 開 ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

次のページにつづく

準備6: BSアンテナの設定をする（つづき）

6 △/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する

7 △/▽で「BSアンテナ設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

8 マンションなどの共同受信システムのときは

△/▽で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

BSアンテナをつないでいるときは

△/▽で「オート」または「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。BSが映ったり消えたりするときは「入」を選んでください。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
●オート	本機の電源が入っているときに、本機がBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。本機の電源が切れているときは供給しない。
入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。
切	電源を供給しない。

●：お買い上げ時の設定

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

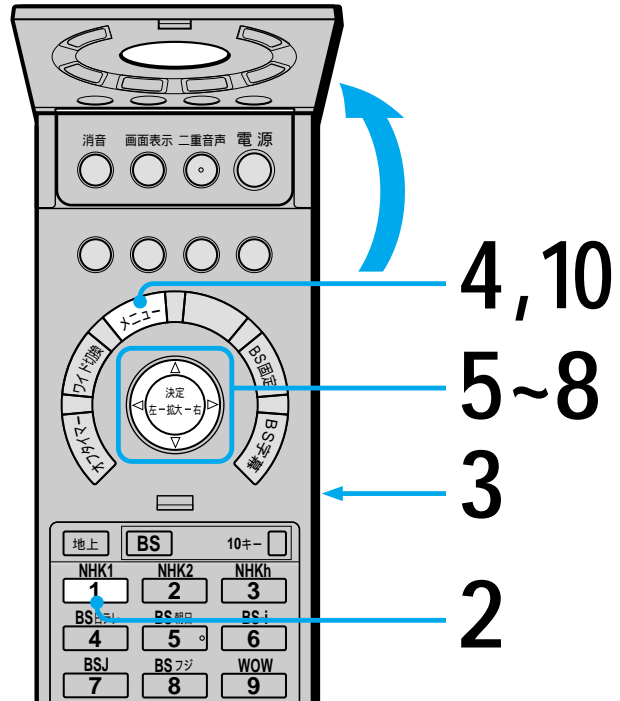
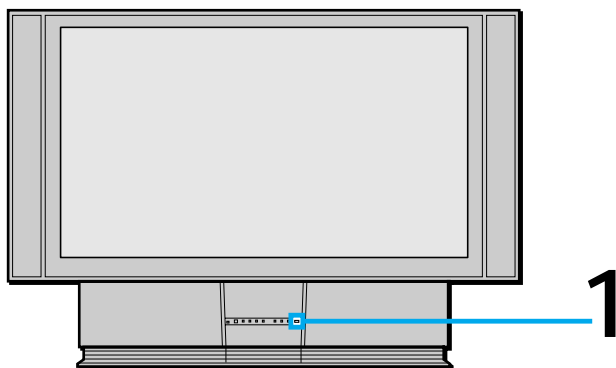
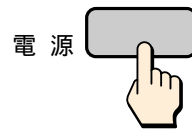
- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「入」（または「連動」）にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

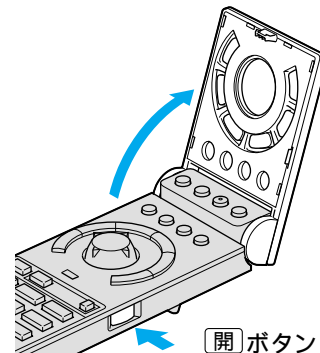
BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナを本機に直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面のレベル表示を見て、もう1人がBSアンテナを動かしながら、レベル表示が最大になるように調整します。
向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

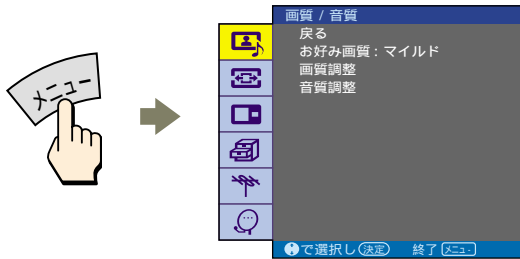
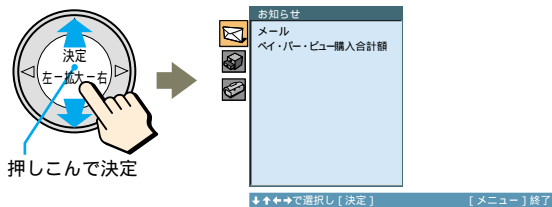
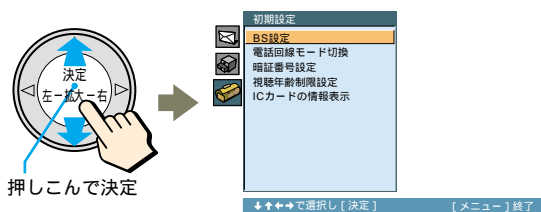
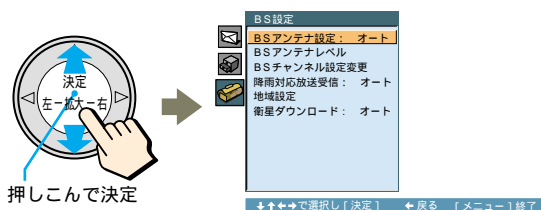
一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないことがあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

ご注意

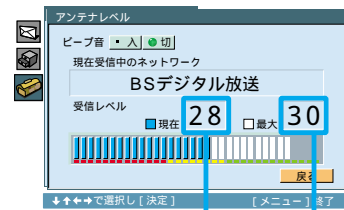
「BSアンテナ設定」が「切」になっているときは、「オート」または「入」にした後、電源を入れ直してください（☞83ページ）。

1 本体の電源スイッチを押して電源を入れる。

2 BS用数字ボタンの 1 を押して、NHK BS1を選局する。

3 開 ボタンを押して、フタを開ける。

次のページにつづく

準備6: BSアンテナの設定をする（つづき）

4 **メニューボタンを押す。**

5 **△/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

6 **△/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

7 **△/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

8 **△/▽で「BSアンテナレベル」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

9 **BSアンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。**

アンテナレベルが、できるかぎり最大の数値になるように、アンテナの向きを調整し固定します。

10 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

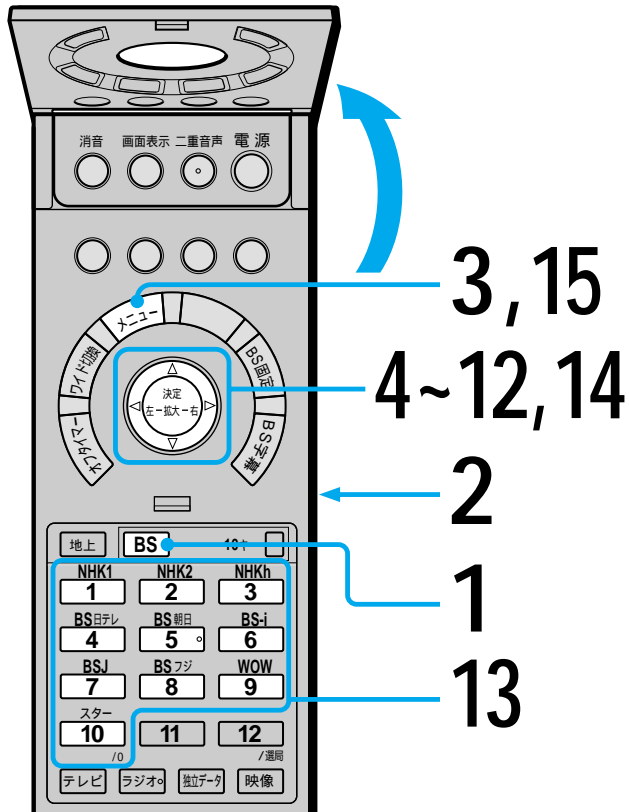
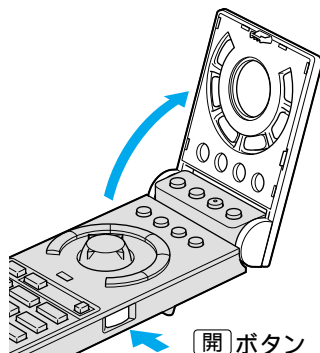
BSテレビ（NHK BS1）の画面が映ります。画面がきれいに映らない場合はお買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。

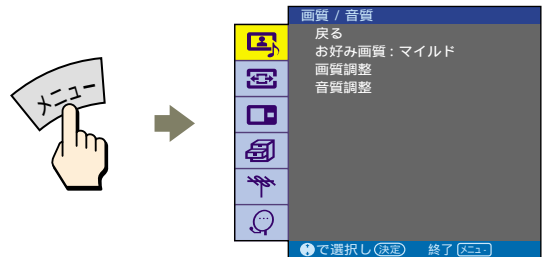
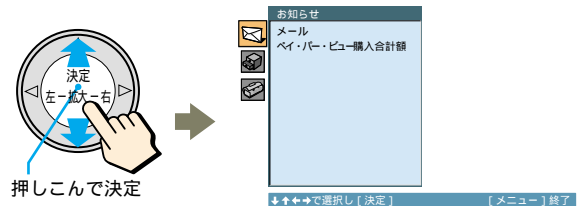
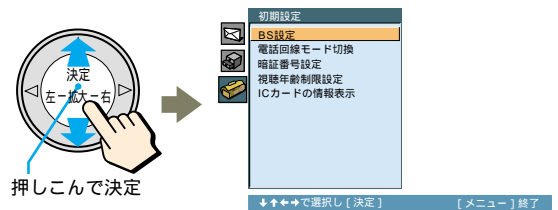
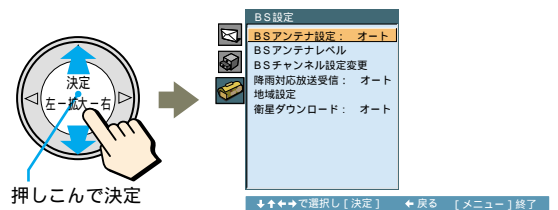
音を聞いて調整するには

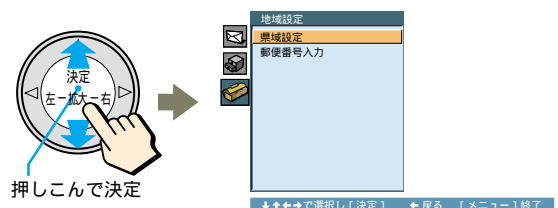
画面で確認できないときに便利です。

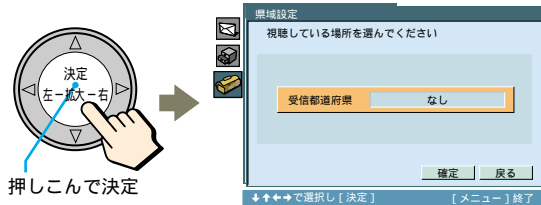
1. **手順8のあと、△/▽で「ビープ音」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
2. **◁/▷で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
3. **手順9で最も高い音階の音になるよう、BSアンテナを調整する。**

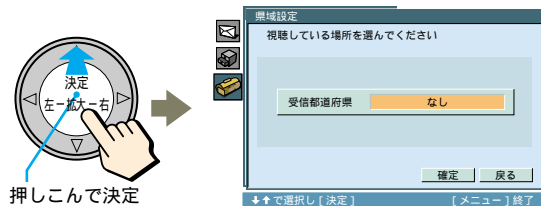
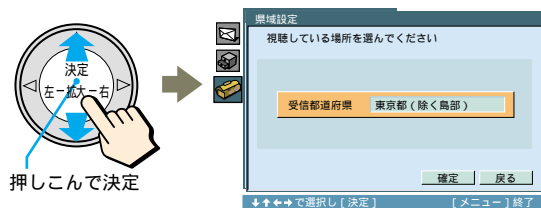
お住まいの地域に設定する

BSデジタルでは、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。

1 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

2 開ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 △/▽で「地域設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

次のページにつづく

準備6: BSアンテナの設定をする（つづき）

8 「県域設定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

9 △で「受信都道府県」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

都道府県名の表示欄がオレンジ色になります。

10 △/▽で、お住まいの都道府県名を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ちょっと一言

「東北海道」と「西北海道」は下記の地域です。

「東北海道」：宗谷、上川、留萌、網走、根室、釧路、十勝の各支庁

「西北海道」：石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、桧山の各支庁

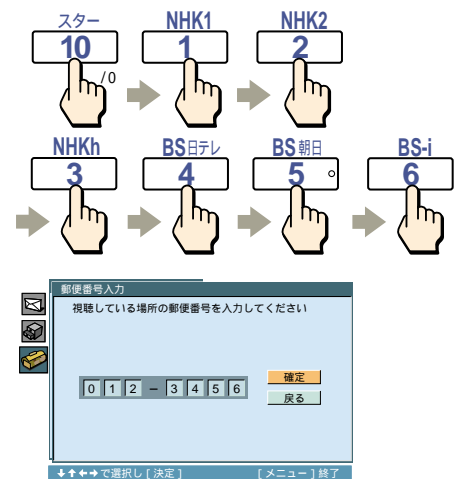
11 △/▽で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

12 ▽で「郵便番号入力」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

13 1 ～ 10 までのBS用数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号7ケタを入力する。

「0」を入力するときは、10 ボタンを押す。

郵便番号を間違えたときは◁で戻り、入力しなおしてください。

例）郵便番号が 012-3456

ご注意

お住まいの地域の郵便番号７ケタを正しく入力してください。まちがった郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信したりするためです。

14 「確定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押し込んで決定する。

15 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

郵便番号を入力するときは、リモコンと本体の△/▽/◁/▷/決定ボタンでも行えます。◁/▷で入力するケタを選び、△/▽で0〜9の数字が選べます。▷ボタンを押すと、数字が決定して次のケタに移動します。7ケタすべての数字を入力したら、最後に真ん中を押し込んで決定します。

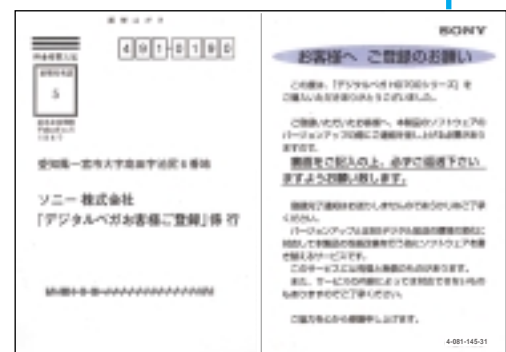
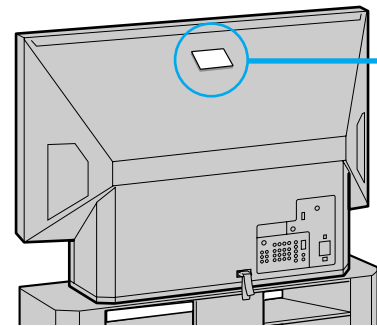
準備7: ソニー用お客様ご登録カードを登録する

ソニーでは、BSデジタル放送の環境の変化に対応して、本機内部のソフトウェアの機能改善（バージョンアップ）を行うサービスを行う予定です。ソニー用お客様ご登録カードは、その際のご連絡を差し上げる際に必要となるため、必要事項を記入し、必ずご返送ください。

ご注意

- 返送していただかないと、バージョンアップのサービスが受けられなくなります。
- 転居されたときは、お手数ですが、☞90ページの「デジタルベガお客様ご登録窓口」まで、忘れずにご連絡ください。

1 テレビ本体上面に貼付けの「ソニー用お客様ご登録カード」を取り出す。

次のページにつづく

準備7: ソニー用お客様ご登録カードを登録する（つづき）

2 「ソニー用お客様ご登録カード」の必要事項を記入し、投函する。

ソニー用お客様ご登録カードに関するお問い合わせは、「デジタルベガお客様ご登録窓口」へ

ナビダイヤル 0570-00-6470
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
携帯電話、PHSでのご利用は 0586-25-6470
受付時間：月～金 9:00～18:00（年末年始祝日を除く）

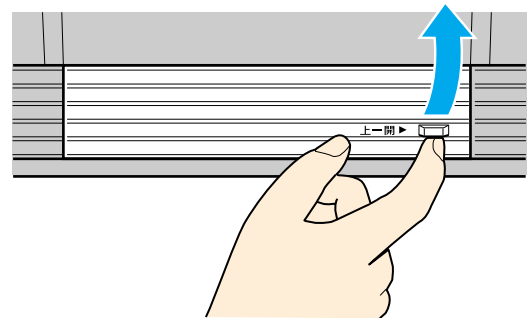
準備8：BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を入れて登録する

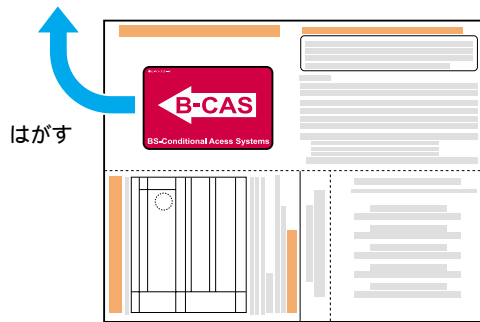
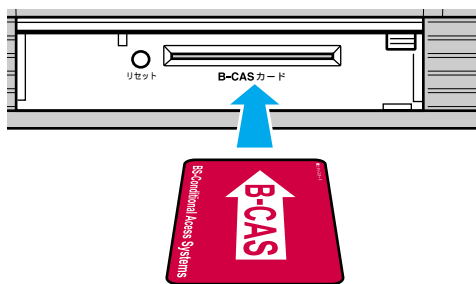
BSデジタル用ICカード（B-CAS*カード）はお客様とBS放送局をつなぐカードで、個々のお客様独自の番号などが記録されています。
BSデジタルでは、このカードを利用してCAS（限定受信システム）が採用されています。
ご登録いただくと双方向サービスが利用できるようになり、放送局からのメッセージを受信できます。
B-CASカードを本機に入れた後、必ずユーザー登録はがきを記入し、投函してください。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

ご注意

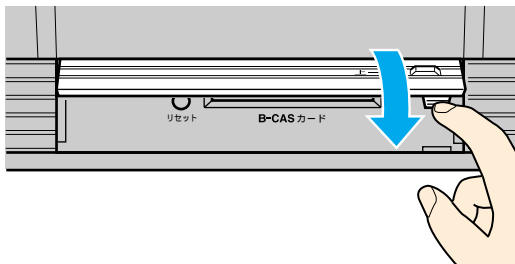
ユーザー登録をしないと、ペイ・パー・ビュー（ＰＰＶ）（☞37ページ）が視聴できなかったり、BSデータ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 本機前面のICカード挿入口のふたを開ける。

つまみを上に押し上げ、ふたを開けます。

2 B-CAS用ユーザー登録はがき台紙からB-CASカードをはがす。

3 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと描かれた面を上にして、
印刷された矢印の方向に挿入する。

4 ICカード挿入口のふたを閉める。

ご注意

ふたを閉めないと、B-CASカードが正しく挿入されていると本機が判断ないため、「ICカードの挿入口のふたを閉めてください」とメッセージが表示されます。

つまみを指に引っ掛けて、ゆっくりと下ろし、ふたを閉めます。

5 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

ご注意

- B-CASユーザー用登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込む（☞94ページ）ときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されていたりするためです。
- 転居などの際には、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

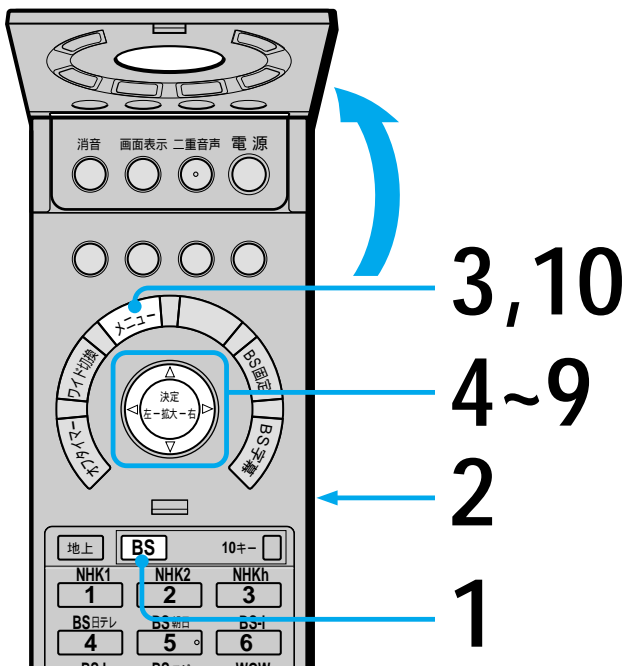
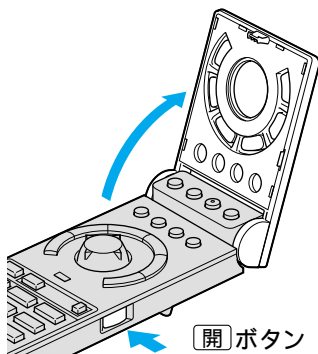
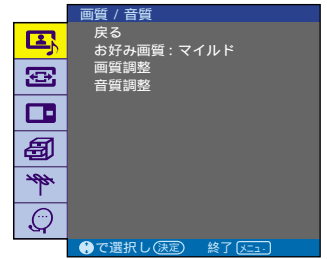
ちょっと一言

こんなメッセージが表示されたら...

（ICカードはB-CASカードのことです。）

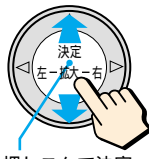
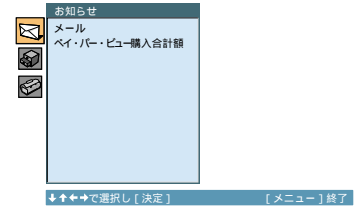
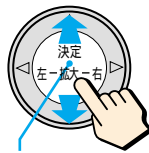
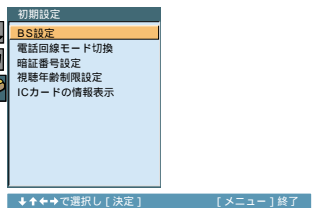
- 「ICカードとのアクセスが成立しません
  ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが表裏逆向きに入っている。
  → B-CASカードが破損している。
  → B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  → ご覧になっている各放送局のカスタマーセンター（☞22ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号 0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードの挿入口のふたを閉めてください」
  → B-CASカードの挿入口のふたが開いている。
- 「ICカードを入れてください」
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
- 「このICカードは使用できません」
  「ICカードを交換してください」
  → ご覧になりたい放送局のカスタマーセンター（☞22ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号 0570-000-250）へお問い合わせください。

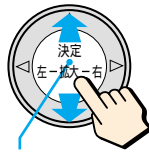
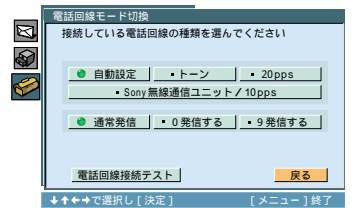
準備9:
電話回線を設定する

電話回線の設定と、接続テストを行います。
お買い上げ時は、「自動設定」で「通常発信」の電話回線に設定されています。

1 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

2 開ボタンを押して、フタを開ける。

開ボタン

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で「電話回線モード切換」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 △/◁/▷で、電話回線を選び、真ん中を押しこんで決定する。

お買い上げ時は「自動設定」に設定されています。

- **「自動設定」でうまく通信できないときは**
  NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、**「トーン」**を選んでください。
  請求されていないときは、**「20pps」**を選んでください。
- **ISDN回線などによるターミナルアダプターやダイアルアップルーターを使っているときは（☞77ページ）**
  「トーン」を選んでください。
- **別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1を使っているときは（☞77ページ）**
  「Sony無線通信ユニット／10pps」を選んでください。

8 ◁/▷で、0（ゼロ）発信の設定を選び、真ん中を押しこんで決定する。

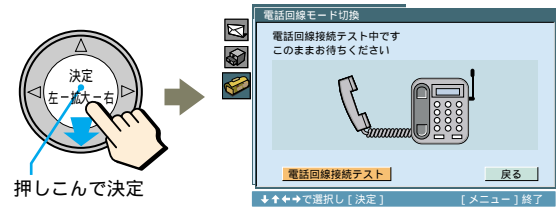
お買い上げ時は「通常発信」（電話番号の頭に、さらに「0」や「9」を付けない通常の発信）に設定されています。

寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信する）、または「9」を付ける（9発信する）場合のみ、次のように設定します。
0発信するとき →「0発信する」を選ぶ。
9発信するとき →「9発信する」を選ぶ。

ご注意

会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話を管理している担当の方に「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。

9 ▽で「電話回線接続テスト」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

正しい接続であれば、「電話回線は正しく接続されています」と表示されます。

「電話回線を他の機器で使用中か、正しく接続されていません　接続を確認してください」と表示されたときは

接続を確認し、また電話回線を他の機器で使っていないか確認してください（☞75～77ページ）。

ご注意

「電話回線接続テスト」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。
そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながらないことがあります。
このときは、再び、手順7で電話回線の種類（「トーン」や「20pps」、「Sony無線通信ユニット／10pps」）を正しく設定し直してください。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

準備10：各局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法は放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞90ページ）。

2001年2月1日現在の電話番号とホームページアドレスです。

放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK ハイビジョン	03-3465-1111 受付 9:00～23:00（平日） 9:00～22:00（土日） http://www.nhk.or.jp/
WOWOW	0570-008080 （携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-8080） 受付 9:00～20:00 http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル	0570-010-110 （携帯電話・LCRをお使いの方は、045-683-7890） 受付 9:00～20:00 http://www.star-ch.co.jp/
セント・ギガ	0120-336-765 受付 10:00～21:00 http://www.stgiga.co.jp/

ご注意

加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、ハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

1～12/選局の地上波用数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

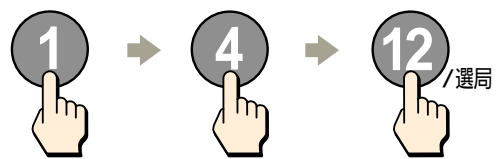
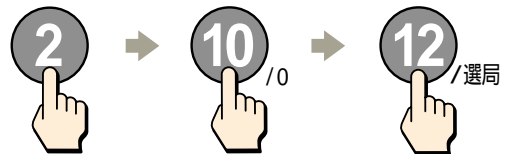
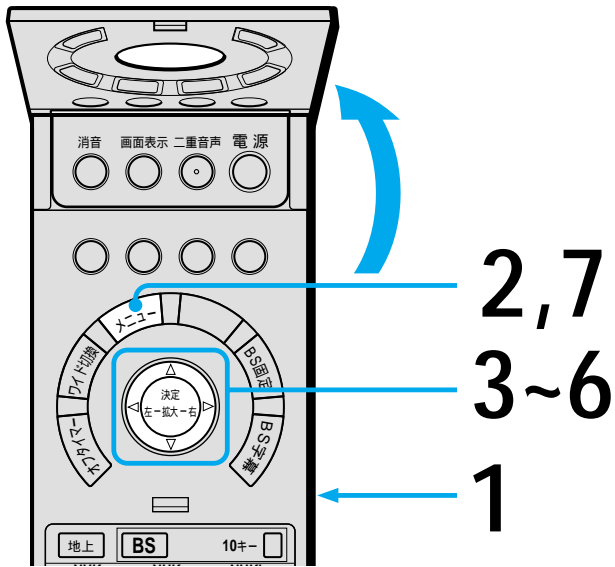
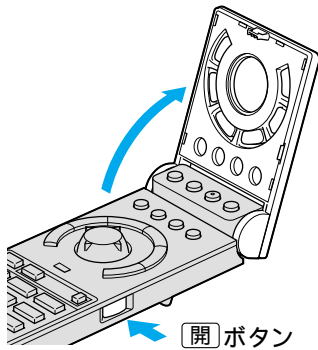
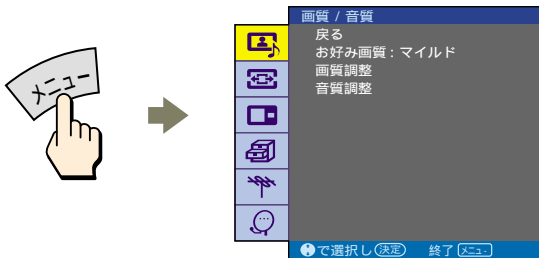
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。

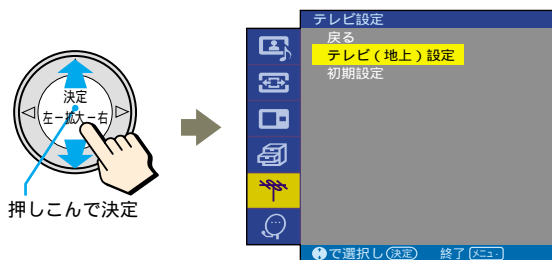
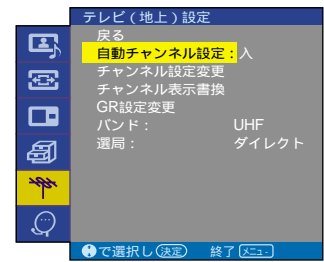
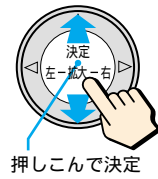
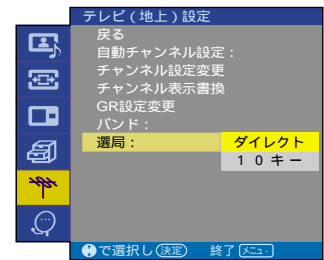
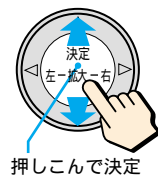
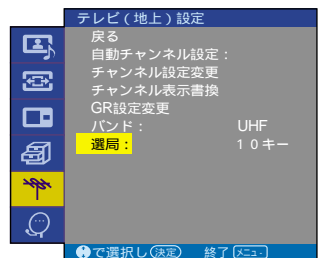
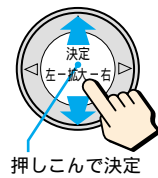
「ダイレクト選局」は、リモコンの 1～12/選局 の地上波用数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大12局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいテレビ（地上波）チャンネルの数が12局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。

「10キー選局」では、1～10/0 の地上波用数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、12/選局（＝選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は 10/0 ボタンを使います。

ちょっと一言

1～10/0 までの地上波用数字ボタンを押した後、12/選局（＝選局）ボタンを押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例）14チャンネル

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 メニューボタンを押す。

3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「選局」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で「10キー」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順6で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞78ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順4の後に下記の操作をした後、手順5以降を行ってください。
  1. △/▽で「バンド：UHF」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
  2. △/▽で「CATV」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
  3. 手順5以降を行う。

①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

チャンネル＋/－ボタンで選べる地上波チャンネルを設定するには

お買い上げ時は1〜12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどで、これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 リモコン右横の開ボタンを押してフタを開ける。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「チャンネル設定変更」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「– –」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

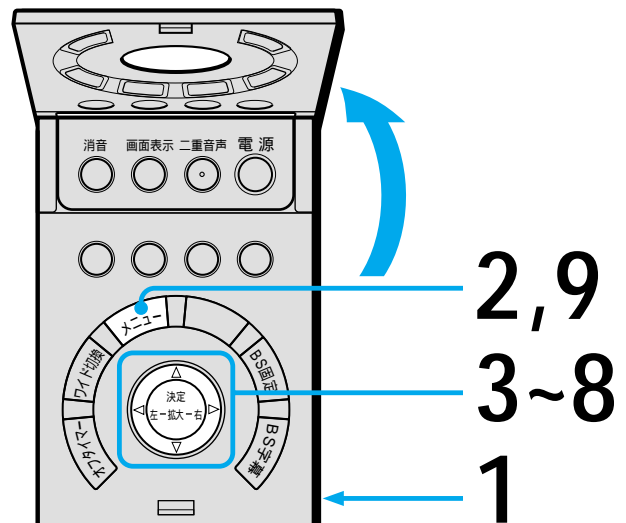
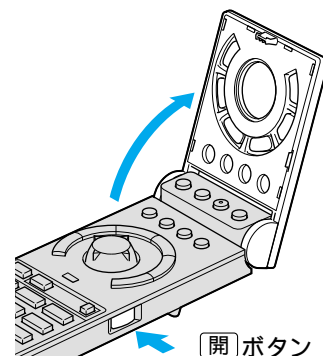
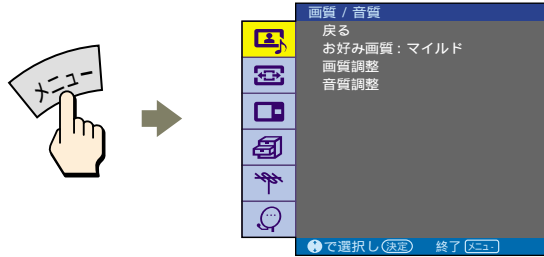
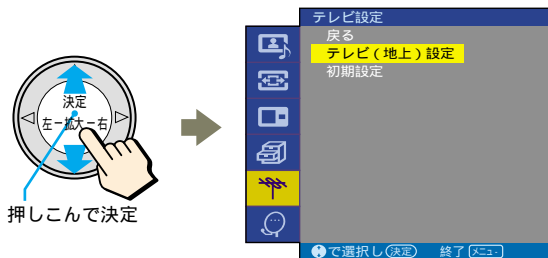
8 複数のチャンネルを設定するときは、手順5と7をくり返す。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

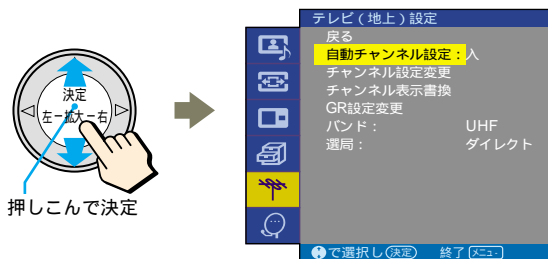
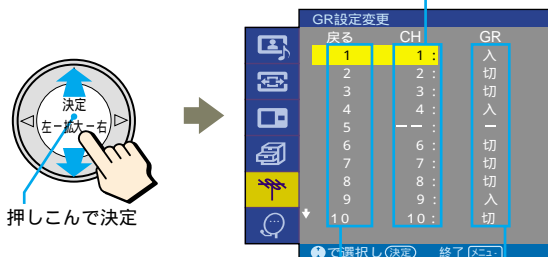
テレビ（地上波）をゴーストの少ない画像にする［ゴースト・リダクション］

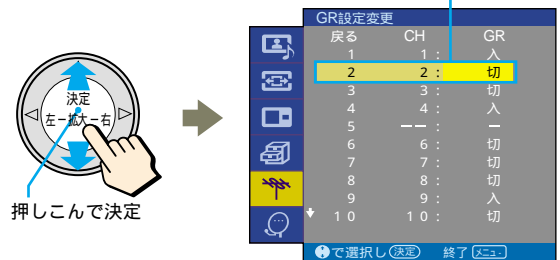
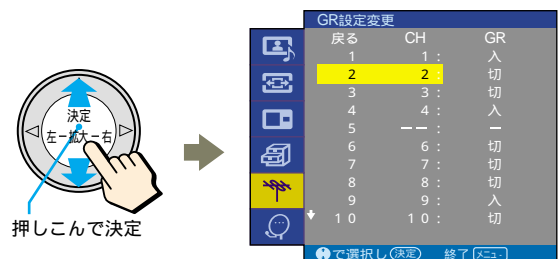
本機では、建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする（リダクション）ように、チャンネルごとに設定できます。
「GR」はゴースト・リダクションの略です。

ご注意

- BSデジタル放送や外部入力の映像、メニューの画面など全ての映像が二重に映っていたり、色がずれていたりするときは、「二重画補正」（☞123ページ）を行ってください。
- BSデジタルにはゴーストがないので、設定の必要はありません。
- ビデオ機器の再生画像などテレビにつないだ機器の映像に対しても設定できません。

1 開ボタンを押して、フタを開ける。

2 メニューボタンを押す。

3 △/▽で「(テレビ設定)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「テレビ（地上）設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「GR設定変更」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

6 △/▽で設定を変えたいチャンネルを選び、真ん中を押し込んで決定する。

例:2チャンネルのGR設定を変えたいときは、ここを選ぶ

7 △/▽で「入」または「切」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

8 複数のチャンネルを設定するときは、手順6と7をくり返す。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に少なくしていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「GR」を「切」にしてください。
  - ゴーストが大きすぎるとき
  - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき
- 2画面（☞50ページ）のときは左画面のみ、ゴースト・リダクションが働きます。

BSチャンネルを手動で設定する

[11]ボタン、[12/選局]ボタンに好みのBSチャンネルを登録する

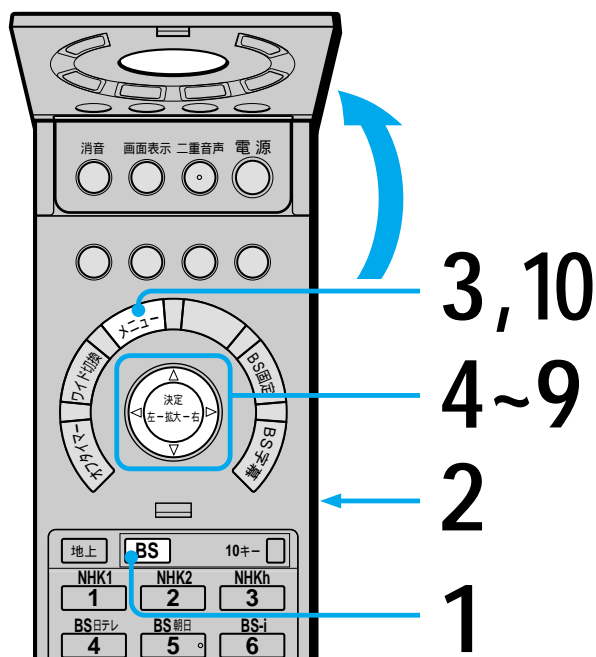
お買い上げ時は、[1]～[10/0]のBS用数字ボタンを押せば、あらかじめ登録されているBSテレビの代表チャンネル（☞27ページ）を選局できます。

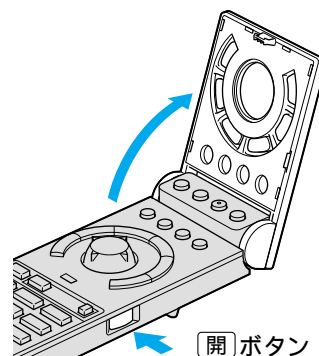
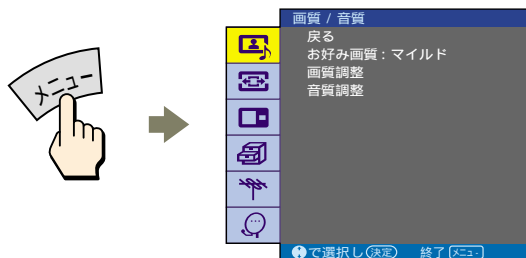
本機は、これに加えて、**[11]ボタンと[12/選局]ボタンにお好きなBSチャンネルを登録して、選局できます。**

また、次のようなときに、[1]～[10/0]ボタンに登録されているチャンネルを変更もできます。

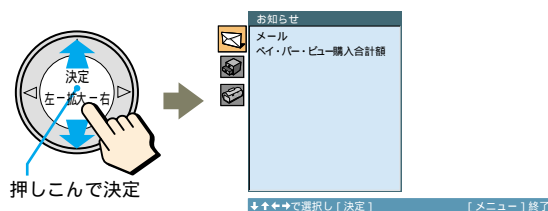
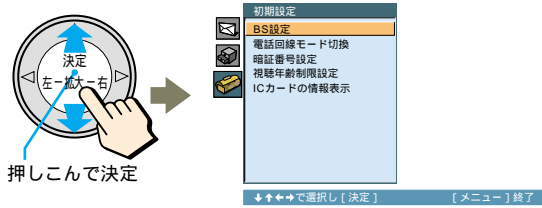
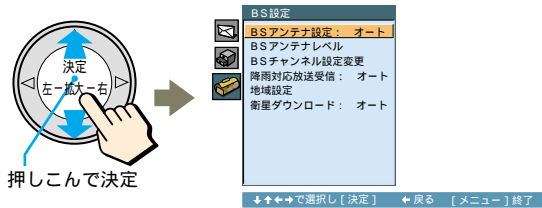
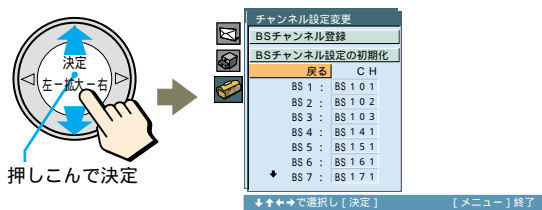
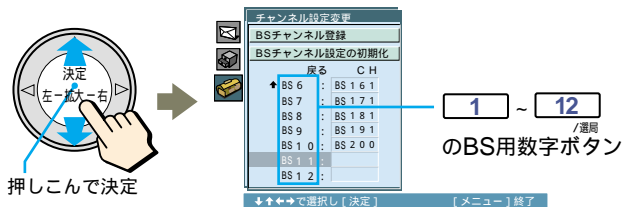
- BSラジオやBS独立データのチャンネルを、[1]～[12/選局]のBS用数字ボタンで選びたいとき
- [1]～[10/0]ボタンに、好みの別のBSチャンネルを登録したいとき

ちょっと一言

10キー ボタンを使って、3桁のBSチャンネル番号で選局する方法もあります。（☞9ページ）

ここでは、例として[11]ボタンに新しくBSチャンネルを登録する手順を説明します。

1 BSになっていないときは、[BS]ボタンを押して、BSに切り換える。

2 [開]ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 △/▽で「BSチャンネル設定変更」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

8 △/▽で「BS11」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

9 △/▽で、登録したいBSチャンネル番号を選び、真ん中を押しこんで決定する。

放送のあるチャンネルから選べます。
1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンを押したとき、この操作で選んだチャンネルが選局されます。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

登録されているBSチャンネルを変更したいときは

1. **手順8で、変更したい 1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンを選び、決定する。**
2. **手順9で、変更したいBSチャンネル番号を選び、決定する。**

お買い上げ時の設定に戻すには

手順9で「BSチャンネル設定の初期化」を選び、決定する。
1 ～ 10/0 のBS用数字ボタンで選べるBSチャンネルが、お買い上げ時の設定（各BSテレビ局の代表チャンネル）に戻ります。

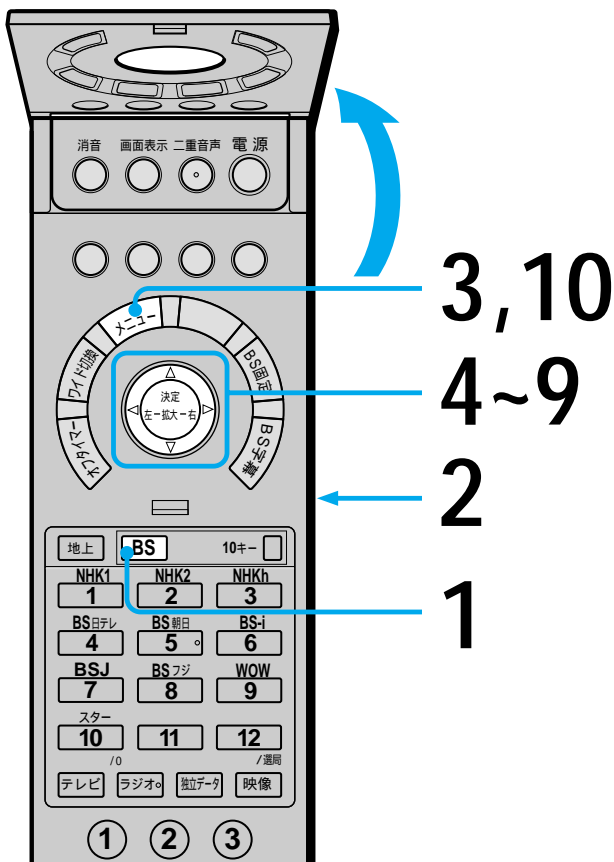
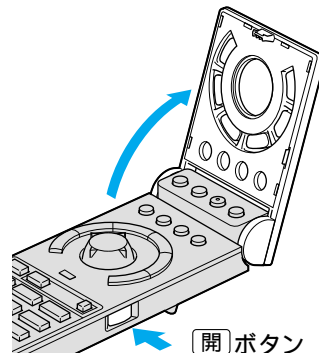
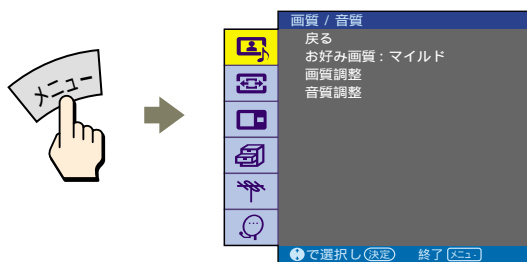
次のページにつづく

BSチャンネルを手動で設定する（つづき）

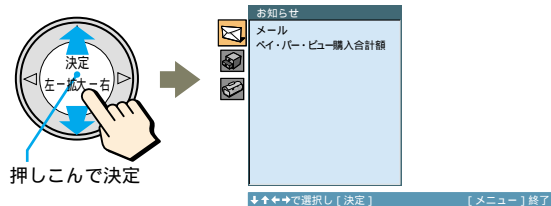
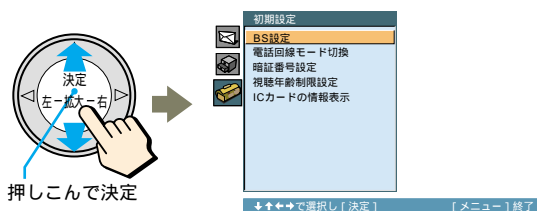
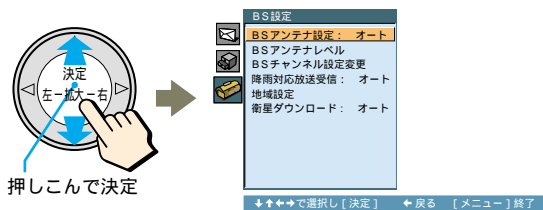
チャンネル+/–ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する

1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンで選べないチャンネルを、チャンネル＋/ーボタンで選んだり、番組表で表示できるように追加できます。
また、「自動登録」に設定するだけで、現在視聴できるBSチャンネルを全て自動登録し、リモコンのチャンネル＋／ーボタンや番組表で選べるようにできます。

ご注意

1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンで選べないチャンネルは、下記の操作で追加しないと番組表に表示されません。

1 BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。

2 開 ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「（BSデジタル）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「（初期設定）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 △/▽で「BSチャンネル設定変更」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

8 △/▽で「BSチャンネル登録」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

BSのすべてのチャンネルが3ケタのチャンネル番号順に表示されます。

9 △/▽/◁/▷で、変更したいチャンネルにカーソルを合わせ、真ん中を押しこんで決定する。

選んだBSチャンネルの□に✓が付き、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようになります。

ちょっと一言

- のように明るく表示されるチャンネルは、契約済みまたは無料のチャンネルです。
- のように暗く表示されるチャンネルは、未契約のチャンネルです。
- □の付いているチャンネルにだけ、✓を付けられます。
- 新しくBS局が開設されると、チャンネルが自動で追加されます。

現在視聴できるBSチャンネルを全て自動登録するには

「自動登録」を選び、決定する。
現在視聴できる全てのBSチャンネルに✓が付き、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようになります。

✓をはずすには

✓の付いているチャンネルを選び、決定する。

ご注意

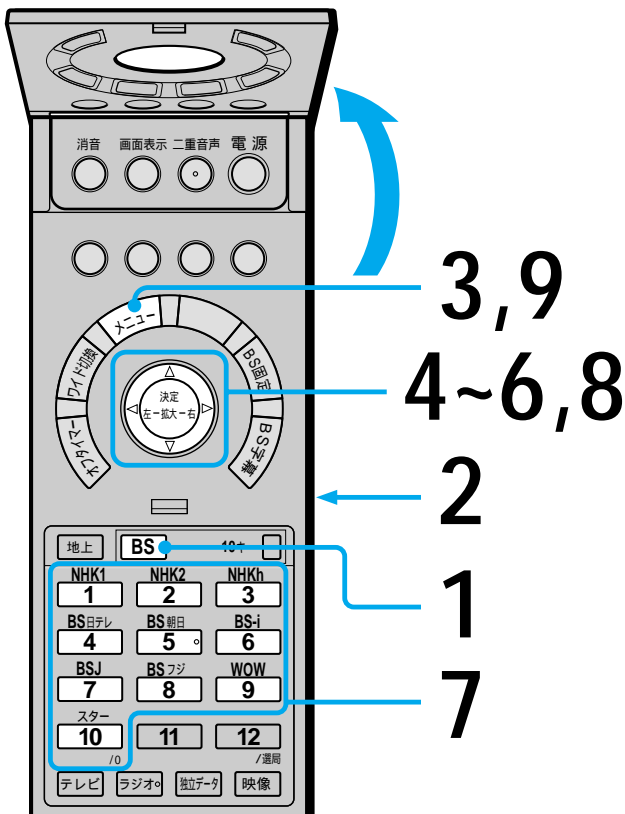
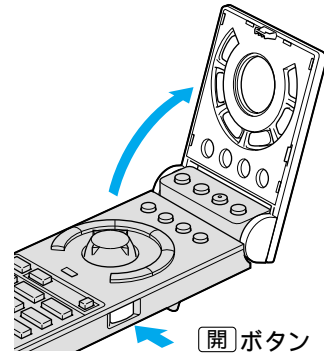
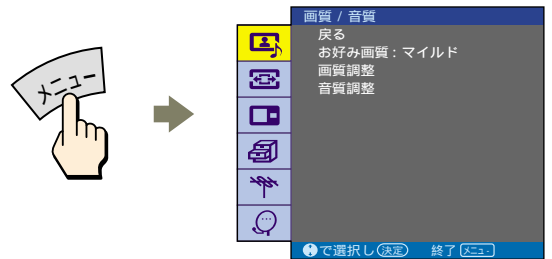
- 1 ～ 12/選局 のBS用数字ボタンに登録されたチャンネルには、あらかじめ□のない✓が付いていて、✓は、はずせません。
- 臨時チャンネルは選べません。□も表示されません。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

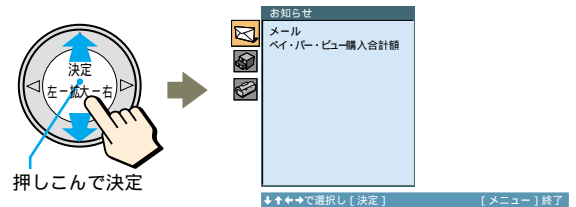
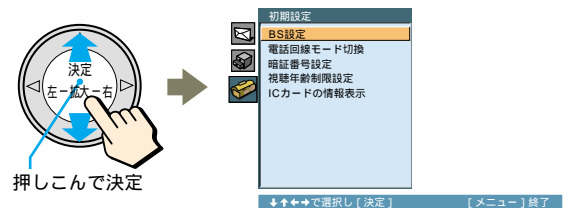
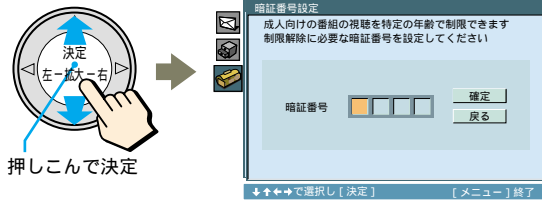
暗証番号を設定する

視聴年齢制限のある番組の視聴（☞26ページ）を制限するためには、暗証番号の設定が必要です。

ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。
視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

1 **BSになっていないときは、[BS]ボタンを押して、BSに切り換える。**

2 **[開]ボタンを押して、フタを開ける。**

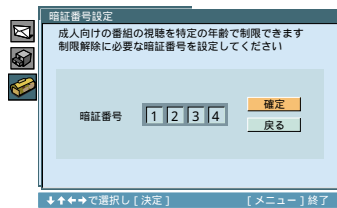
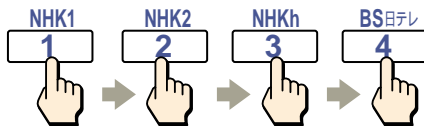
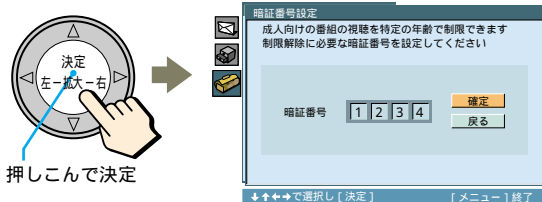
3 **メニューボタンを押す。**

4 **△/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**

5 **△/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

6 △/▽で「暗証番号設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 1〜10 までのBS用数字ボタンで4ケタの暗証番号を入力する。

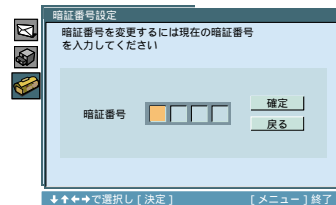
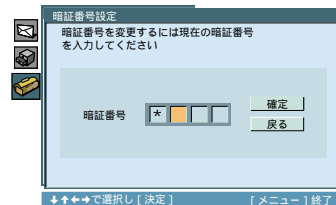
「0」を入力するときは、10 ボタンを押す。
暗証番号を間違えたときは◁で戻り、入力し直してください。

ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

例）暗証番号が1234の場合

8 「確定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

暗証番号を変更するには

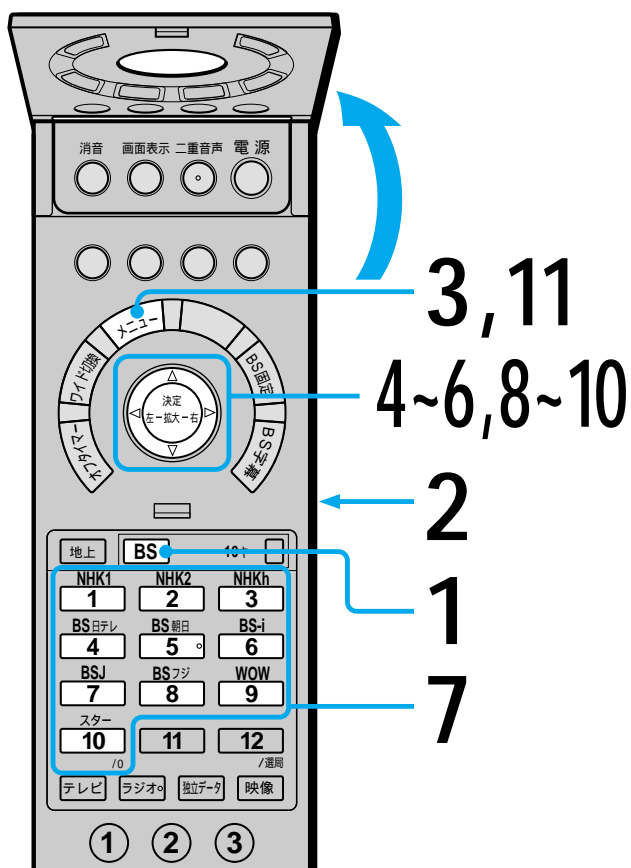
1. BSになっていないときは、BS ボタンを押して、BSに切り換える。
2. リモコン右横の 開 ボタンを押して、フタを開ける。
3. メニューボタンを押す。
4. △/▽で「（BSデジタル）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
5. △/▽で「（初期設定）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
6. △/▽で「暗証番号設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7. 1〜10 までのBS用数字ボタンで変更前の4ケタの暗証番号を入力する。
変更前の暗証番号は、＊マークで表示されます。

変更前の暗証番号を忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

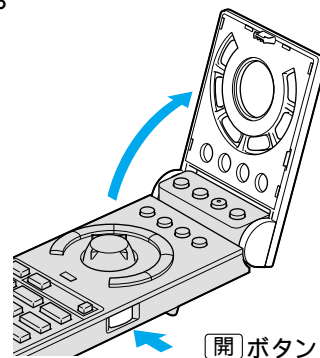
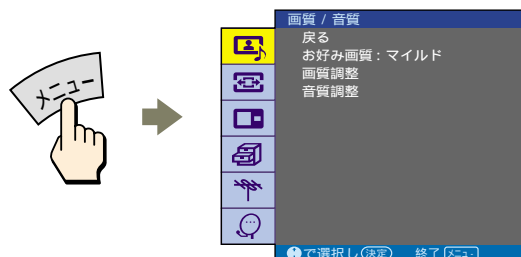
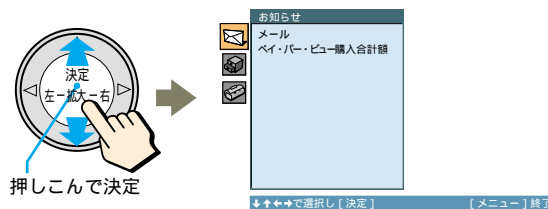
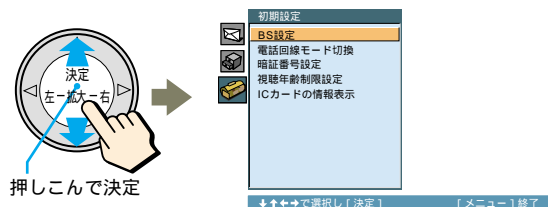
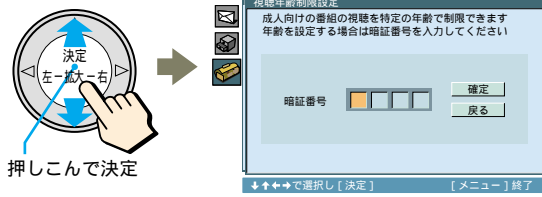
8. 「確定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押し込んで決定する。
9. 1〜10 までのBS用数字ボタンで好みの数字を入力し、△/▽で「確定」を選んで真ん中を押しこんで決定する。
暗証番号が変更されます。

ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、リモコンと本体の△/▽/◁/▷/決定ボタンでも行えます。◁/▷で入力する桁を選び、△/▽で0〜9の数字が選べます。▷ボタンを押すと、数字が決定して次の桁に移動します。4ケタすべての数字を入力したら、最後に真ん中を押し込んで決定します。

視聴年齢制限を設定する

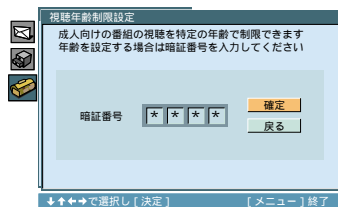
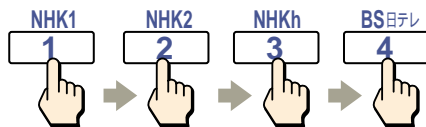
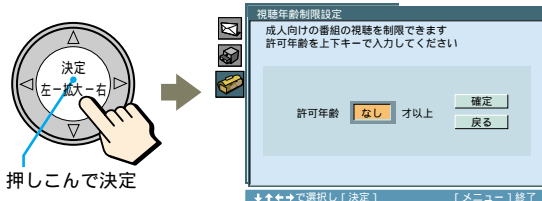
視聴年齢制限付き番組（番組表☞40ページや番組説明画面☞28ページで🔒のついている番組）を視聴できる年齢を制限できます。
制限すると、設定した暗証番号（☞102ページ）を入れないと、視聴できなくなります。
お買い上げ時、視聴年齢制限は設定されていません。

1 BSになっていないときは、BSボタンを押して、BSに切り換える。

2 開ボタンを押して、フタを開ける。

3 メニューボタンを押す。

4 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 △/▽で「(初期設定)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 △/▽で「視聴年齢制限設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

7 1 〜 10 までのBS用数字ボタンで、設定してある4ケタの暗証番号（☞102ページ）を入力する。

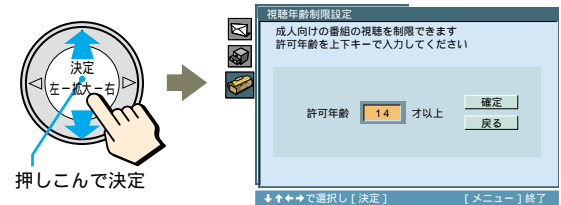
「0」を入力するときは、10 ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは△で戻り、入力し直してください。

入力された数字は＊マークで表示されます。

例）暗証番号が1234の場合

8 「確定」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

9 △/▽で年齢制限を設定し、真ん中を押しこんで決定する。

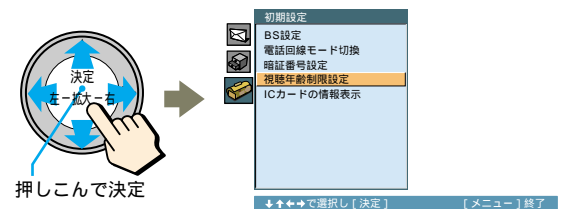
4歳〜19歳で設定できます。

例えば「14歳以上」に設定すると、15歳から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。15歳から視聴可能な番組は、番組表（☞40ページ）や番組説明画面（☞28ページ）では「15才〜（15歳以上視聴可能）」と表示されます。

すべての成人向け番組の視聴を制限するときは

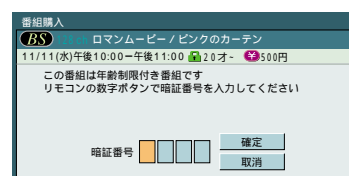
「4歳以上」などの低い年齢に設定する。

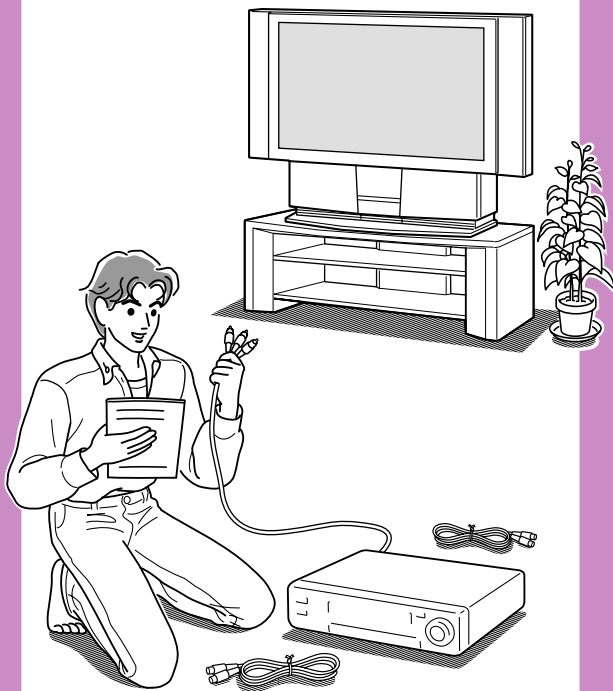
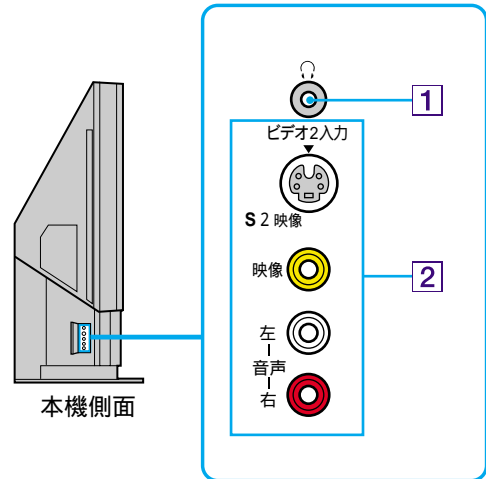
視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

> **視聴制限をしないときは**
>
> 許可年齢を「なし」に設定する。
>
> 視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

10 △/▽/◁/▷で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

11 メニューボタンを押して、メニューを消す。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと

暗証入力画面が表示されます。設定した暗証番号を入力すると、番組を見ることができます。

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「接続」（☞67～77ページ）と「受信設定」（☞78～105ページ）をご覧ください。

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。

2 ビデオ2入力端子（S2映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞117ページ）
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

☞のページに詳しい説明があります。

3 音声出力端子（5kΩ）（固定）（フロント左/フロント右/リア左/リア右/センター/ウーファー）（☞120〜121ページ）

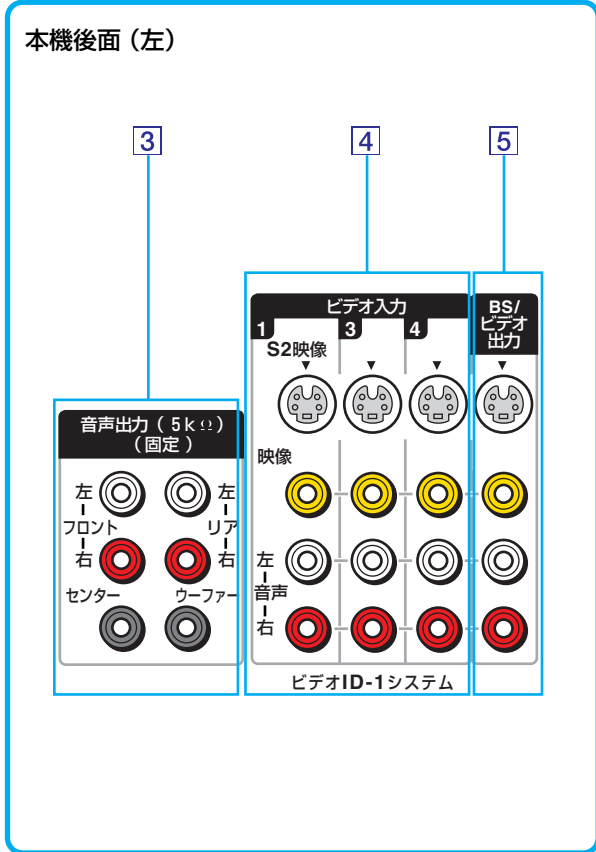
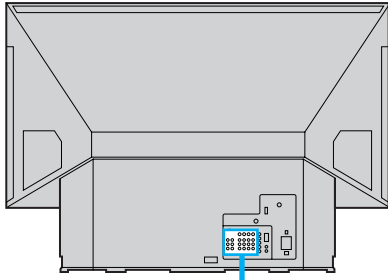
オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。BS固定（☞46ページ）の設定に関係なく、スピーカーから聞こえる音声が出力されます。

ご注意

本機前面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、音声出力端子（5kΩ）（固定）からの音声信号が出力されなくなります。音声出力端子（5kΩ）（固定）にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。

5.1ch入力対応のオーディオ機器につなぐとき：
6個の音声出力端子から5.1chサラウンドステレオの音声信号を出力できます。

ご注意

「(各種切換)」メニューで、「5.1ch→2ch切換」を「5.1ch」に設定してください。

その他のオーディオ機器（2ch）につないだとき：
フロント左/右端子につないでステレオ2chにダウンミックスした音声信号を出力できます。

ご注意

「(各種切換)」メニューで、「5.1ch→2ch切換」が「2ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。

BS固定「入」時（☞46ページ）の二重音声番組の音声出力について：
BS固定したBSチャンネルが二カ国語放送など二重音声番組のときは、本機のスピーカーから聞こえる音声には関係なく、フロント左端子から主音声、フロント右端子から副音声が、つねに出力されます。

4 ビデオ1、3、4入力端子（S2映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞110〜114、116、118ページ）

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

5 BS/ビデオ出力端子（S2映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞110〜114ページ）

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
テレビ（地上波）、BS、ビデオ1〜4入力*、AVマルチ入力の信号を出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、「(テレビ設定)」メニューで「初期設定」を選び、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にする必要があります（☞110ページ）。

ご注意

- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。
- BS字幕放送の字幕の映像信号は出力されません。
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。

BS固定（☞46ページ）のときのご注意
以下の信号を出力します。

- **BS固定が「切」のとき:**
テレビに映っている映像と音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき:**
テレビに映っている映像と音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。
BS固定したBSチャンネルが二か国語放送など二重音声番組のときは、つねに、音声（左）から主音声、音声（右）から副音声が出力されます。

2画面（☞50ページ）のときのご注意
BS固定が「切」のときは、左画面の信号を出力します。
BS固定が「入」のときは、BS 固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

接続端子の名前とはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

6 VHF/UHFアンテナ端子（☞71〜72ページ）

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

7 AVマルチ入力端子（☞115ページ）

別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250）を使って、"プレイステーション２"、"プレイステーション"（PS one）および"プレイステーション"のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

8 BS IF入力端子（☞72、73ページ）

BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

9 コンポーネント1入力端子（Y PB/CB PR/CR 映像/音声）（☞117、119ページ）

Y PB/CB PR/CR 映像入力端子

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子（Y/CB/CRまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/PB/PR）、またはハイビジョン機器の映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

DVDプレーヤーまたはハイビジョン機器の音声出力端子につなぎます。

コンポーネント1入力端子にアナログハイビジョン機器（ベースバンド）をつなぐときは（☞119ページ）

お買い上げ時の設定「HDモード:1080」を「HDモード:1035」に切り換えて接続してください。「(各種切換)」メニューの「HDモード」を「1080」（BSデジタル用）のままにすると、正しく映像が映りません。これは、デジタルハイビジョンの有効走査線数が1080本であるのに対し、従来のハイビジョン（ベースバンド）が1035本になっているためです。

10 コンポーネント2入力端子（D4映像/音声）（☞113、118ページ）

D4映像入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D4映像入力端子での入力信号切換について（HDモード）

通常は、お買い上げ時の設定「HDモード：オート」のままでお使いください。
D4映像入力端子に入力される以下の2種類の信号を自動的に判別して、本機画面に映すためです。

- **デジタルハイビジョン放送**（有効走査線数1080本）：D4映像入力端子に他のBSデジタルチューナーなどデジタルハイビジョン放送機器がつながっているとき。
- **現行のハイビジョン放送**（有効走査線数1035本）：D4映像入力端子に従来のハイビジョン（ベースバンド）機器がつながっているとき。デジタルハイビジョンの識別制御信号がない映像信号は、有効走査線数1035本の画像で表示します。

なお、「(各種切換)」メニューで「HDモード」を選び、「HDモード:1080」や「HDモード:1035」に設定できます。このときは、設定していない方の信号は正しく映りません。

D端子について

BSデジタルには次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。（☞23ページ）
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

BSデジタルの信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

11 サービス端子

修理のときなどサービス業務に使います。ふたを開けないでください。

12 光デジタル音声出力端子（☞121ページ）

MDデッキなどサンプリングコンバーター内蔵オーディオ機器の光デジタル音声入力端子につなぎます。
BSデジタル放送のデジタル音声のみ出力されます。地上波やテレビにつないだ機器からの音声などは出力されません。

BS固定（☞46ページ）のときのご注意

以下の信号を出力します。

- **BS固定が「切」のとき**:
  本機のスピーカーから聞こえるBSデジタルの音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき**:
  本機のスピーカーから聞こえる音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルのデジタル音声を出力します。BS固定したBSチャンネルが二か国語放送など二重音声番組のときは、つねに、主音声と副音声の両方が出力されます。

13 電話回線端子（☞75～77ページ）

付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。

コンポーネント1、2入力端子につないだ機器の画像の色合いについて（カラーマトリクス）

コンポーネント入力につないだデジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどの出力が、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。
通常はお買い上げ時の設定のままでお使いください。色あいが不自然になったときには、設定し直してください。
「(各種切換)」メニューで「カラーマトリクス」を選び、コンポーネント1、2の各入力ごとに、480p、1080i、720pの信号フォーマットを選んで、「Y/CB/CR」または「Y/PB/PR」で、自然な色あいになる方に設定してください。
お買い上げ時は、「480p」は「Y/CB/CR」、「720p」は「Y/PB/PR」、「1080i」では「Y/PB/PR」に設定されています。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

他機との接続

S2映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下表の端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ*2や ビデオカメラ	S2映像
デジタルCSチューナー*3	S2映像
DVDプレーヤー*4	S2映像
テレビゲーム	S2映像

*1 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
*2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含みます。
*3 D映像出力端子付きのデジタルCSチューナーのときは、本機のコンポーネント2（D4映像）入力端子につないでください（☞113ページ）。
*4 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、本機のコンポーネント入力端子につないでください（☞117～118ページ）。

ビデオをつなぐ（つづき）

本機ビデオ1～4入力のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S2映像入力端子から入力された画像が映ります。

1. **ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。**
2. **リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。**
3. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
4. **△/▽で「（各種切換）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
5. **△/▽で「S映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
6. **S2映像入力端子から入力された画像を見るときは**

   △/▽で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

   映像入力端子から入力された画像を見るときは

   △/▽で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
7. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ビデオ1入力の信号をBS/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、BS/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。
そのため、BS/ビデオ出力端子につないだビデオ機器などで、ビデオ1入力の映像や音声を楽しむときなど（☞111、112ページ）は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がBS/ビデオ出力端子から出力されます。

1. **リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **△/▽で「（テレビ設定）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
4. **△/▽で「初期設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
5. **△/▽で「ビデオ出力設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
6. **△/▽で「ビデオ1あり」を選び、真ん中を押し込んで決定する。**
7. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

BSアナログチューナーのないビデオのとき

BSデジタルのBSテレビを録画したり（必ずBS固定にしてください☞46ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

①ビデオの再生画像を見るための接続です（☞19ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

②BSデジタルをビデオに録画するための接続です（☞46ページ）。ビデオにS映像入力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

ビデオを見るには

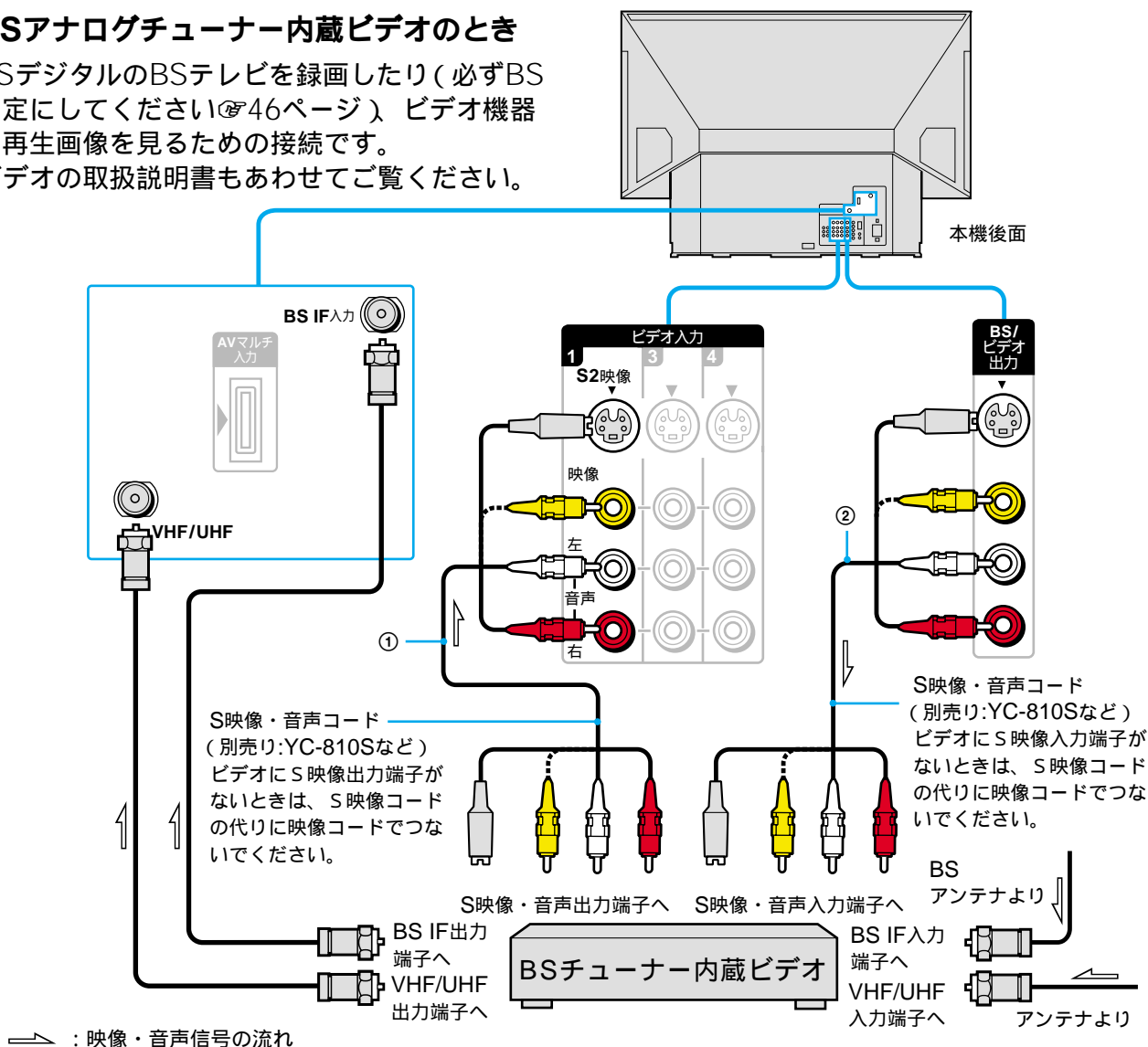
ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

ご注意

- BSデジタルのBSテレビを録画するときは、BS固定をしてください（☞46ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBSデジタルがビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、チャンネルを選んだりしたときなどに、画像が乱れることがあります。
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。
- BS字幕放送の字幕は録画されません。
- 本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3、4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞110ページ）。

次のページにつづく

BSアナログチューナー内蔵ビデオのとき

BSデジタルのBSテレビを録画したり（必ずBS固定にしてください☞46ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

①ビデオの再生画像を見るための接続です（☞19ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

②BSデジタルをビデオに録画するための接続です（☞46ページ）。BSアナログの録画は、ビデオ自身の内蔵BSアナログチューナーで受信し録画してください。ビデオにS映像入力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

ビデオを見るには

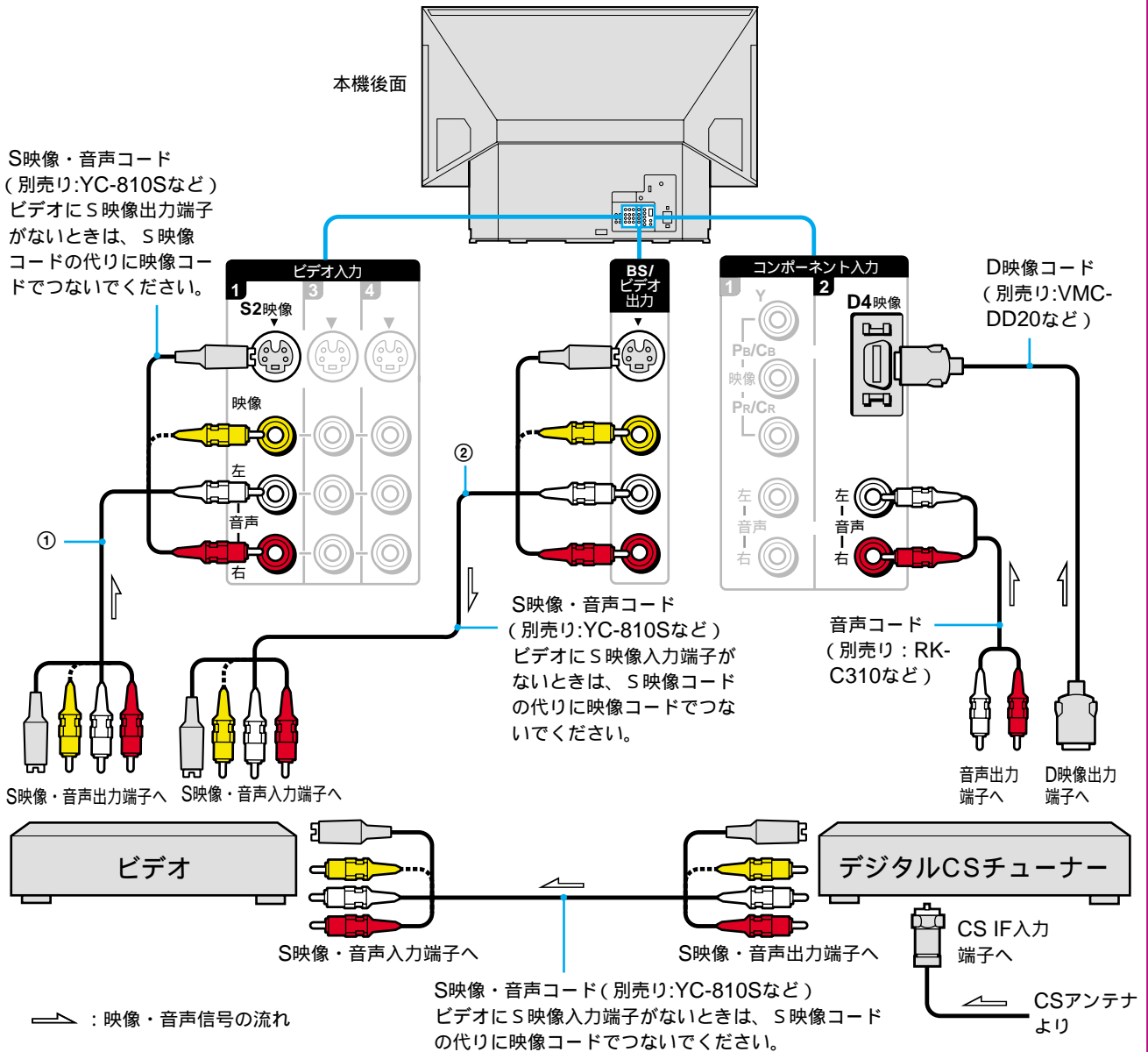
ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

ご注意

- BSデジタルのBSテレビを録画するときは、BS固定をしてください（☞46ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBSデジタルがビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、チャンネルを選んだりしたときなどに、画像が乱れることがあります。
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。
- BS字幕放送の字幕は録画されません。
- 本機から録画した16:9の映像を、画面の縦横比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3、4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞110ページ）。

デジタルCSチューナーをつなぐ

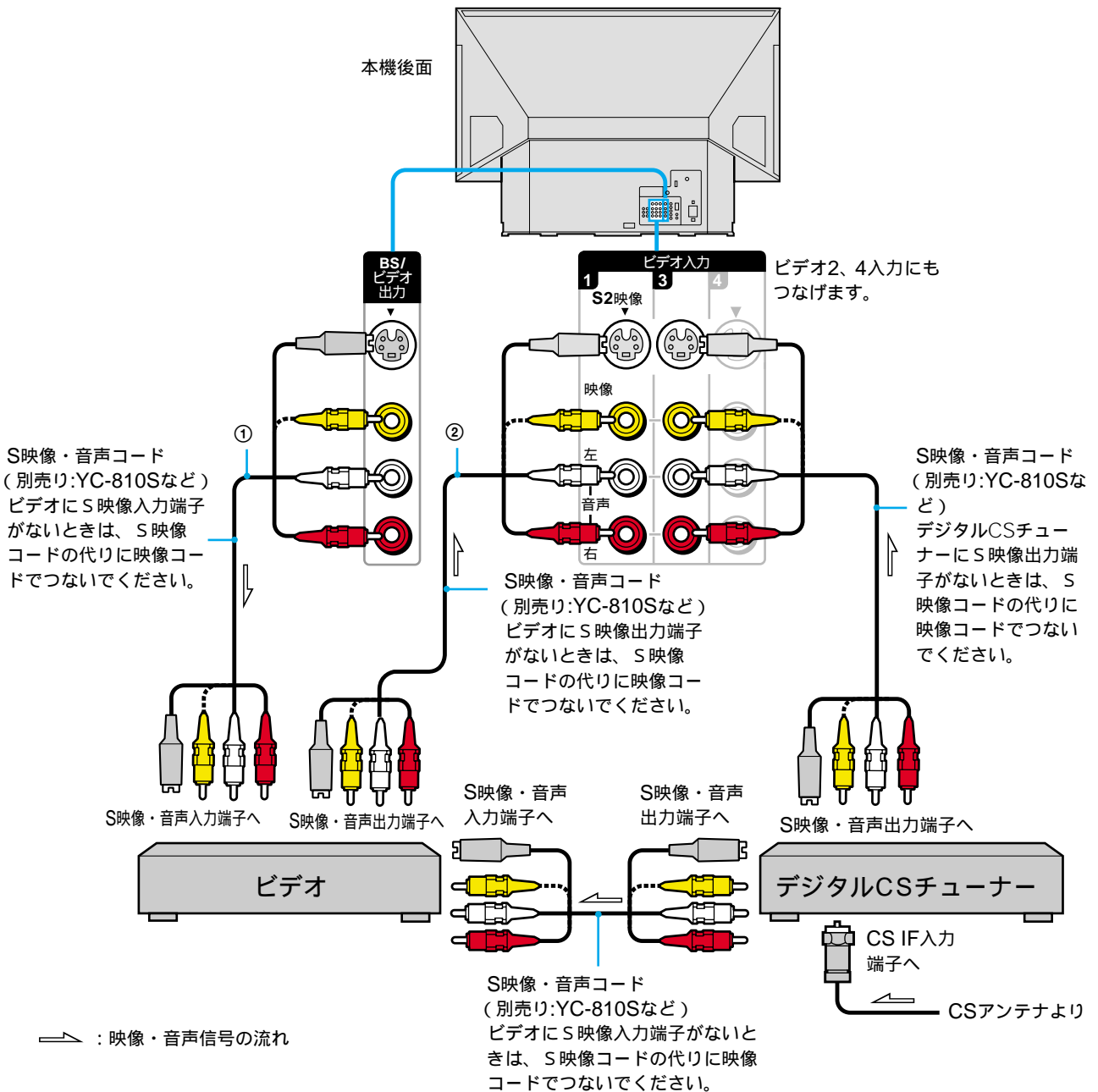
デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

①ビデオの再生画像を見るための接続です（☞19ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

②BSデジタルをビデオに録画するための接続です（☞46ページ）。ビデオにS映像入力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力「コンポーネント2（D端子）」を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

①BSデジタルをビデオに録画するための接続です（☞46ページ）。ビデオにS映像入力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞19ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときは、映像・音声コード（別売り:VMC-810Sなど）でつないでください。

デジタルCS放送を見るには

ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ2」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

“プレイステーション2”、“プレイステーション”(PS one)および“プレイステーション”をつなぐ

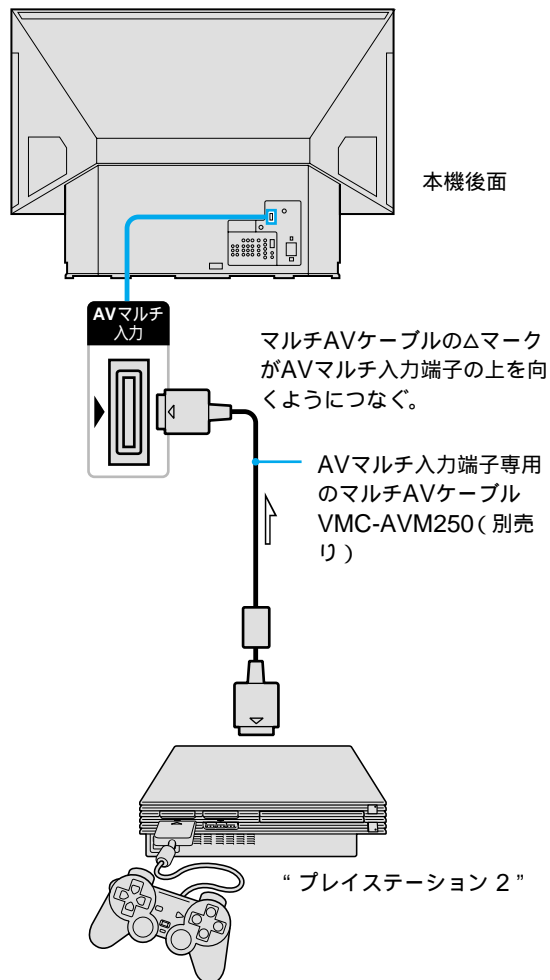
“ プレイステーション 2 ”や
“ プレイステーション ”(PS one) および
“ プレイステーション ”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意
“ プレイステーション 2 ”の一部の機種では、マルチAVケーブル(VMC-AVM250)で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号(RGB)がコンポーネント映像信号(Y CB/PB CR/PR)に固定されるため、画面が乱れる場合があります。
このときは、
- “ プレイステーション 2 ”付属のAVケーブル(映像/音声一体型)(☞116ページ)
- “ プレイステーション 2 ”専用コンポーネントAVケーブル SCPH-10100(別売り)

など、“ プレイステーション 2 ”に対応した他のケーブルを使ってください。
詳しくは、“ プレイステーション 2 ”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル..... 0570-000-929
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
携帯電話・PHSでのご利用は....03-3475-7444
受付時間:10:00〜18:00(土日祝日を除く)

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

RGB接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しめます。

“ プレイステーション 2 ”や“ プレイステーション ”(PS one) および“ プレイステーション ”の画面の左右位置を調整するには

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 △/▽で「(各種切換)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
3 △/▽で「AVマルチ画面位置」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
4 △/▽で画面の左右位置を調整する。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
- AVマルチ入力端子は、RGB映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、本機に影響はありません。
- 「AVマルチ画面位置」は、「AVマルチ」の画像でのみ、調整できます。

他機との接続

次のページにつづく

"プレイステーション 2"、"プレイステーション"(PS one）および"プレイステーション"に付属のAVケーブル（映像/音声一体型）でつなぐときは

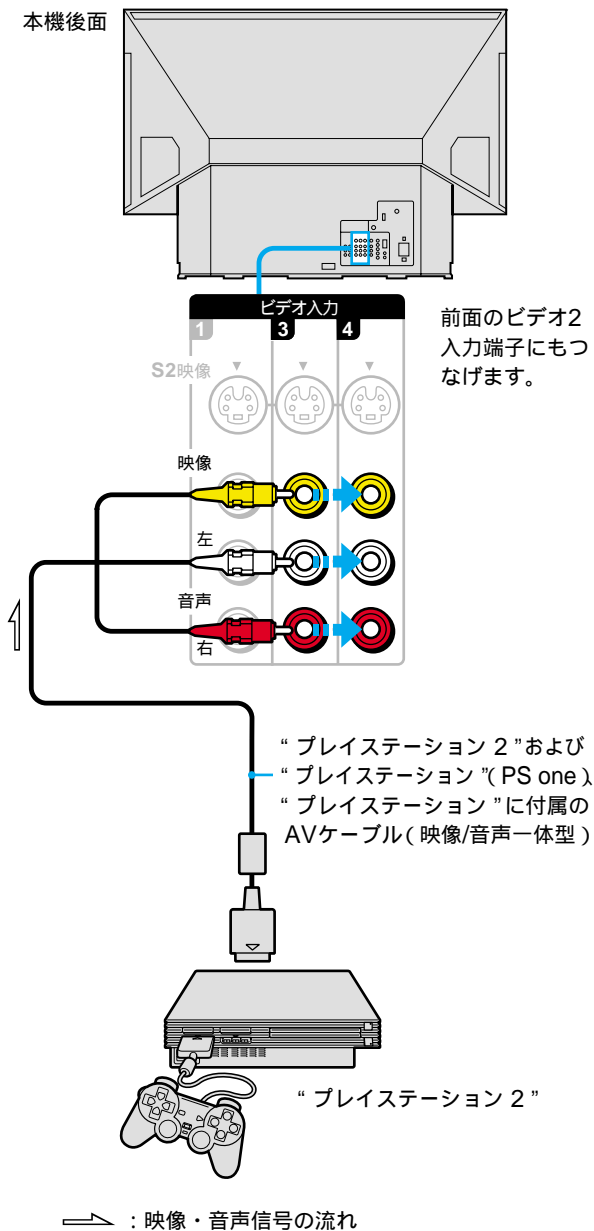
本機後面

ビデオ入力
1 3 4
S2映像
映像
左
音声
右

前面のビデオ2入力端子にもつなげます。

"プレイステーション 2"および"プレイステーション"(PS one)、"プレイステーション"に付属のAVケーブル（映像/音声一体型）

"プレイステーション 2"

：映像・音声信号の流れ

"プレイステーション 2"、"プレイステーション "(PS one）および"プレイステーション"を使うには

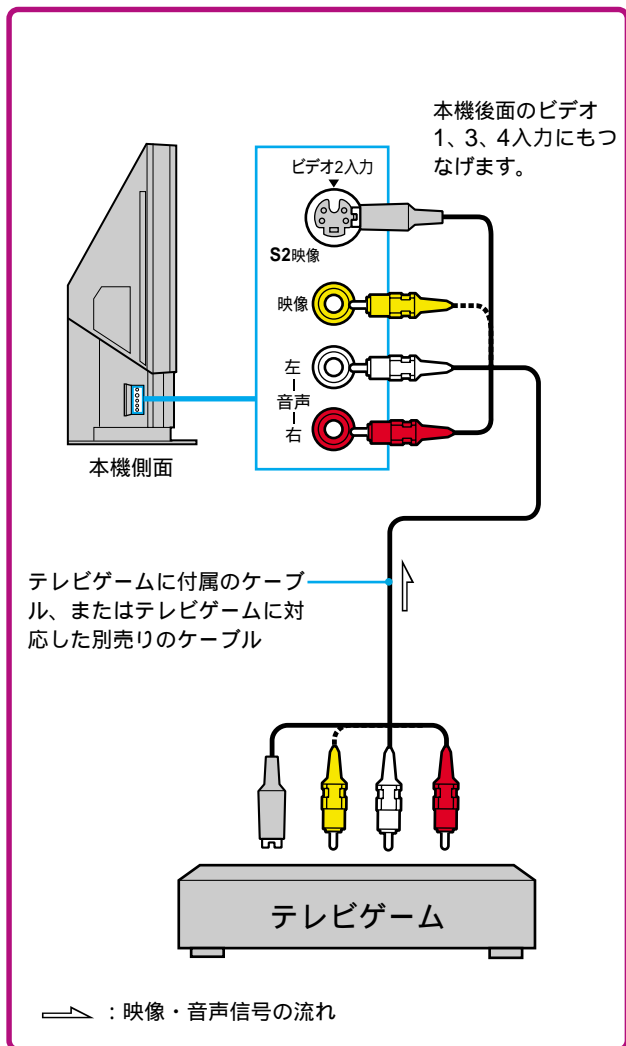
入力切換用のボタンを押して、
"プレイステーション 2"、
"プレイステーション "(PS one）および
"プレイステーション"をつないだ入力（「ビデオ2」～「ビデオ4」または「AVマルチ」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

"プレイステーション 2"をマルチAVケーブルで接続する場合は、入力切換を行う前に、"プレイステーション 2"側のシステム設定画面で、「コンポーネント映像出力」を「RGB」に設定してください。
（本機側ではできません。）

ご注意

- 電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの解説書をご覧ください。
- 将来の"プレイステーション 2"用の高解像度ゲームソフトなどには、本機は対応していません。
詳しくは、各ソフトウェアの解説書をご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

本機前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

ビデオボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

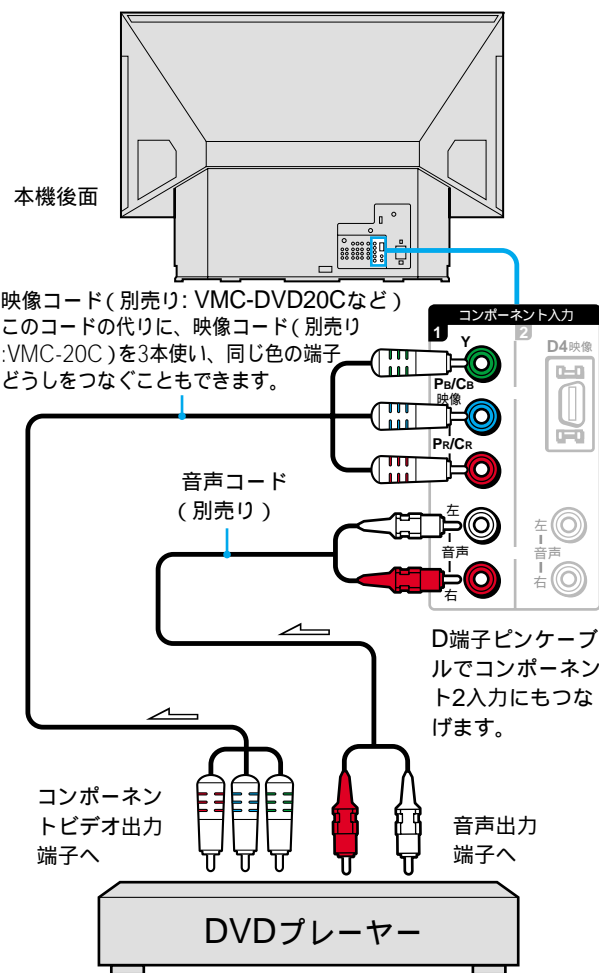
ご注意

電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のないDVDプレーヤーのときは

コンポーネントケーブルでつなぐとき

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

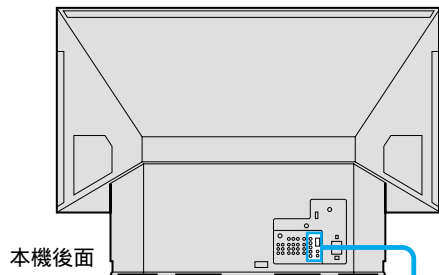
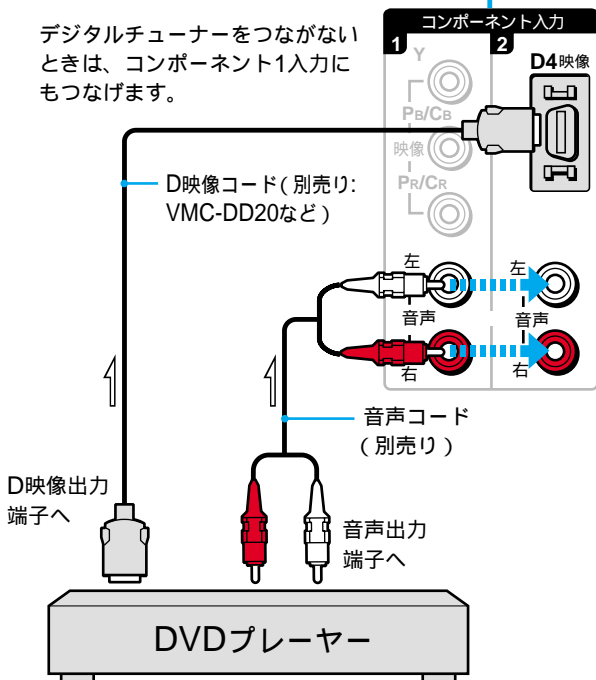
DVDプレーヤーの映像端子	本機の映像端子
Y端子	Y端子
CB、B-Y、PB端子	PB/CB端子
CR、R-Y、PR端子	PR/CR端子

：映像・音声信号の流れ

次のページにつづく

DVDプレーヤーをつなぐ（つづき）

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のあるDVDプレーヤーのときは

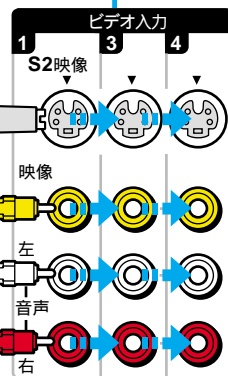
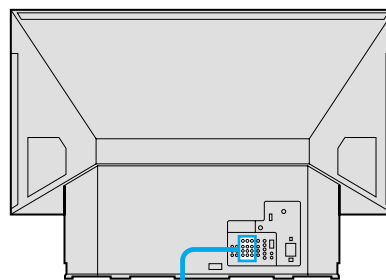
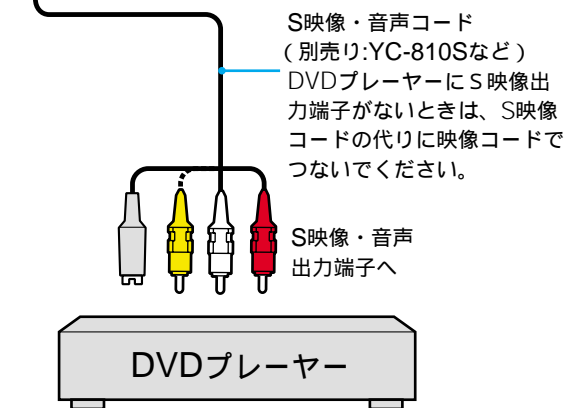
D端子ケーブルでつなぐとき

D映像コードの代わりに、映像コード（別売り: VMC-DP20など）を使ってY端子、 CB端子、 CR端子とD端子をつなぐこともできます。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

コンポーネントボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞19ページをご覧ください。

DVDを見るには

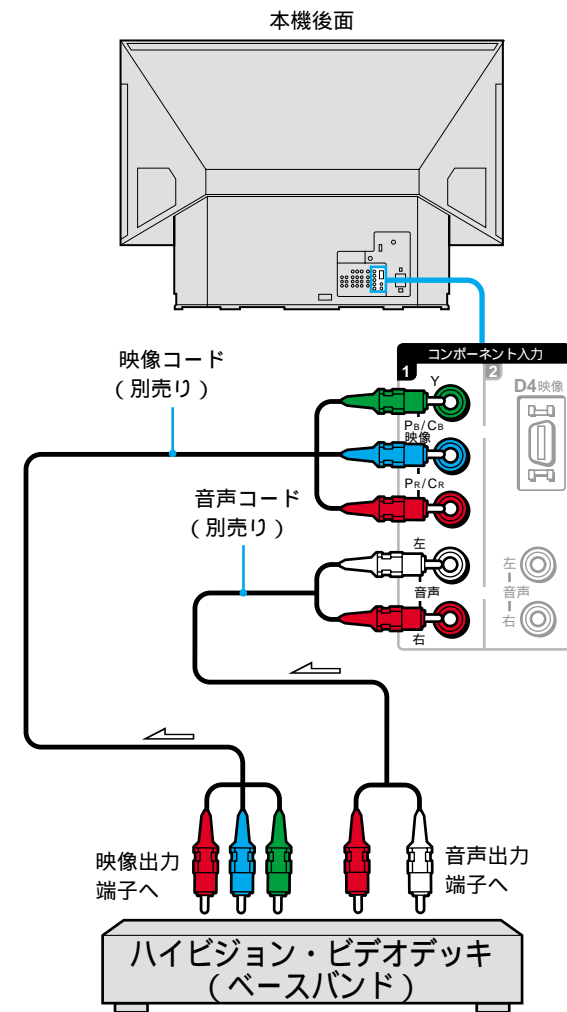
コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞19ページをご覧ください。

ハイビジョン機器をつなぐ

ハイビジョン（ベースバンド）機器をつなぎます。
ハイビジョン機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハイビジョン・ビデオデッキ（ベースバンド）をつなぐ

ハイビジョン機器（ベースバンド）を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、ベースバンド機器をつないだコンポーネント1入力（「コンポーネント1」）を表示させる。
詳しくは、☞19ページをご覧ください。

アナログハイビジョン機器（MUSE方式）をつなぐ場合は

ベースバンドの出力のない機器と、本機を接続するには、別売りのMUSEデコーダーが必要となります。詳しくは、接続するハイビジョン機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

「(各種切換)」メニューの「HDモード」を、お買い上げ時の設定「HDモード:1080」から「HDモード:1035」に切り換えてください。
「1080」（BSデジタル用）のままにすると、正しく映像が映りません。これは、デジタルハイビジョンの有効走査線数が1080本であるのに対し、従来のハイビジョン（ベースバンド）が1035本になっているためです。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 △/▽で「(各種切換)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

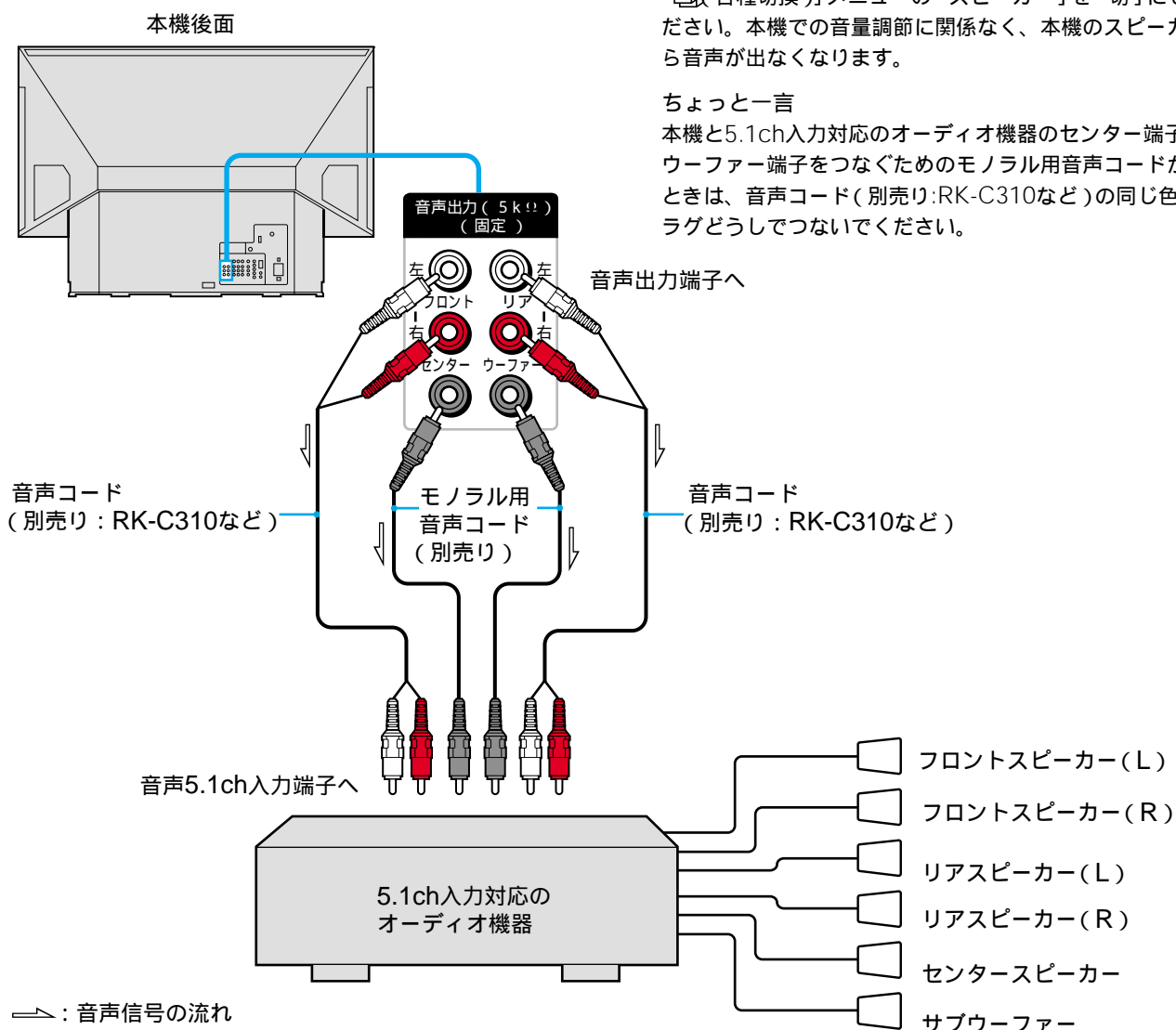
3 △/▽で「HDモード」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

4 △/▽で「1035」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

オーディオ機器を
つなぐ

5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐ

本機後面の音声出力端子に5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドステレオなどの音声を楽しめます。
サラウンドステレオを充分に楽しむためには、5.1ch入力対応のオーディオ機器に加えて、5本のスピーカーとサブウーファーが必要です。詳しくは、5.1ch入力対応のオーディオ機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

「（各種切換）」メニューで、音声出力端子から出る音声を「5.1ch」に切り換えてください。

1 リモコン右横の［開］ボタンを押して、フタを開ける。
2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
3 △/▽で「（各種切換）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
4 △/▽で「5.1ch→2ch切換」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
5 △/▽で「5.1ch」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

光デジタル音声出力端子につないだときは、5.1chでは出力されません。PCM（2ch）音声が出力されるためです。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは

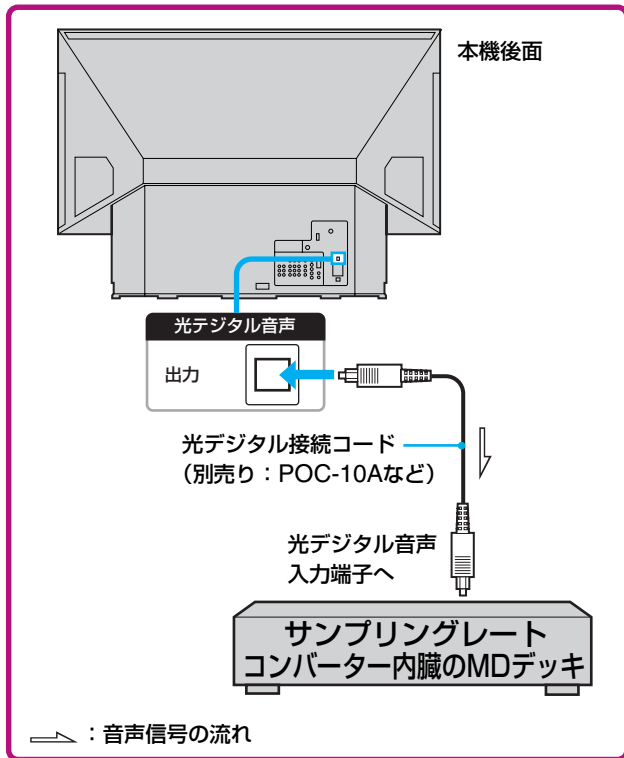
「（各種切換）」メニューの「スピーカー」を「切」にしてください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

ちょっと一言

本機と5.1ch入力対応のオーディオ機器のセンター端子やウーファー端子をつなぐためのモノラル用音声コードがないときは、音声コード（別売り:RK-C310など）の同じ色のプラグどうしでつないでください。

MDデッキなどをつなぐ

光デジタル音声入力端子を持つ**サンプリングレートコンバーター内蔵**のMDデッキなどにつなげます。MDデッキなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機の光デジタル音声出力端子からは、BSデジタル放送のデジタル音声が、PCM（2ch）音声で出力されます。

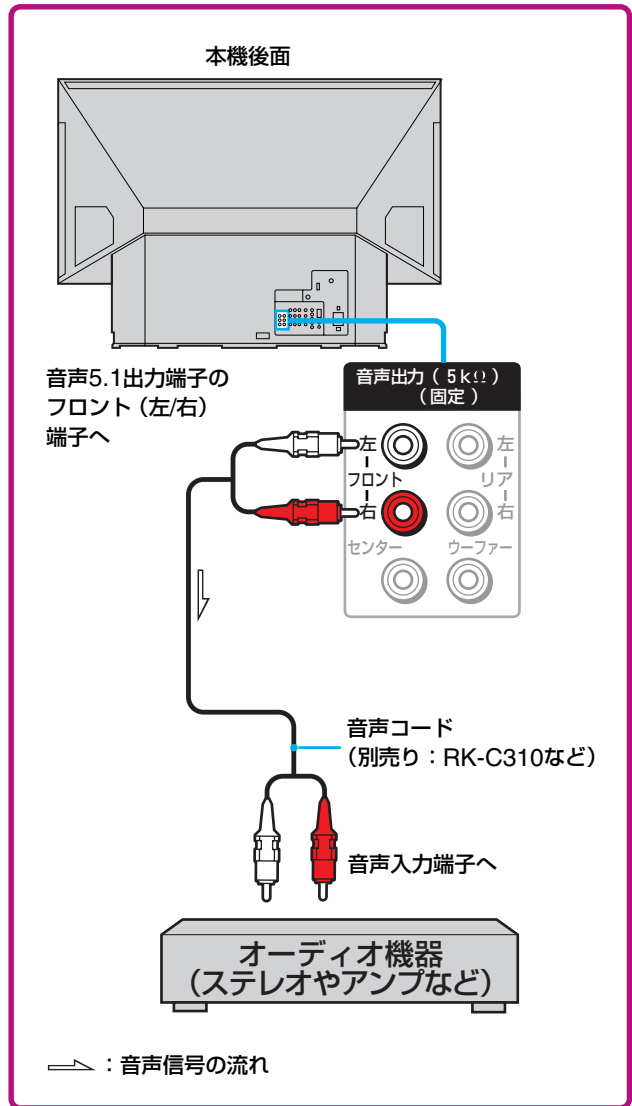
アナログ接続する場合（音声出力端子につなぐときは）
光デジタル音声出力端子の代わりに、本機の音声出力端子のフロント（左/右）端子にも、別売りの音声コード：RK-C310などでつなげます。ただし、アナログ信号になります。

BS固定（☞46ページ）のときのご注意
以下の信号が、光デジタル出力端子から出力されます。

- **BS固定が「切」のとき:**
  本機のスピーカーから聞こえるBSデジタルの音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき:**
  本機のスピーカーから聞こえる音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルのデジタル音声を出力します。BS固定したBSチャンネルが二か国語放送など二重音声番組のときは、つねに、主音声と副音声の両方が出力されます。

ご注意

- 地上波やテレビにつないだ機器からの音声などは、光デジタル音声出力端子から出力されません。
- 「(各種切換)」メニューで、「5.1ch→2ch切換」が「2ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。
- 光デジタル音声出力端子からは、文字スーパーやBSデータでの効果音（ピンポンとかブーなど）は出力されません。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐ

つないだオーディオ機器で本機の音量を調節したり、つないだスピーカーから本機の音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは
「(各種切換)」メニューの「スピーカー」を「切」にしてください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

ご注意

- 「(各種切換)」メニューで、「5.1ch→2ch切換」が「2ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。
- 本機前面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、音声出力端子（5kΩ）（固定）からの音声信号が出力されなくなります。音声出力端子（5kΩ）（固定）にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。
それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

ケーディーエフ　エイチディー
KDF-50HD700,

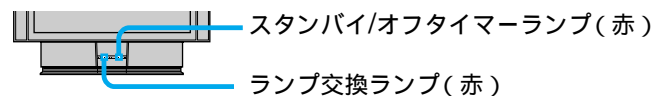
リモコンの型名：

アールエム　ジェイ
RM-J911

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、ランプ交換ランプまたはスタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、ランプ交換ランプまたはスタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせするための機能です。

ランプ交換ランプが点滅しているとき
光源用ランプが切れています。新しいランプと交換してください（☞6ページ）。

スタンバイ/オフタイマーランプが点滅しているとき

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
3回以上の点滅は約2分で止まります。再度確認するときは、もう1度リモコンで電源を入れてください。

2 **点滅回数が3回のとき**: 光源用ランプのランプカバーの取り付けが不完全です。ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください（☞6ページ）。
それ以外のとき: 本機に異常が起きたと思われます。よりスムーズにサービス対応させていただくために、テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数を知らせてください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

映像について

BSデジタルを視聴しているときは、「BSについて」（☞126ページ）をご覧ください。

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞78ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	• テレビの消し忘れを防ぐため、テレビ（地上波）放送終了後（2画面では操作画面、メモでは左画面面放送終了後）、または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。（ただし、BSデジタルのチャンネルを表示しているときは、そのまま画面が表示され、スタンバイ状態にはなりません。） • オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞65ページ） • 光源用ランプが切れていませんか？リモコンで電源を入れて、本体のランプ交換ランプ（赤）が点滅する場合は、光源用ランプを交換してください（☞6ページ）。
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞19ページ）。 • S映像入力のときは、「（各種切換）」メニューで、「S映像」を「入」にしてください（☞110ページ）。 • " プレイステーション 2 "をAVマルチ入力端子につないでいるときは、" プレイステーション 2 "のコンポーネント出力の設定を「RGB」にしてください（☞115ページ）。
きれいに映らない	**地上波の画像が二重、三重になる。**	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • 「（テレビ設定）」メニューで「GR設定変更」を選び、「GR」を「入」にしてください（☞96ページ）。
	BSデジタル放送や外部入力の映像、メニューの画面など全ての映像が二重に映っていたり、色がずれていたりする。	• 「（テレビ設定）」メニューで「初期設定」を選び、「二重画補正」を最適な状態に設定してください。 **「二重画補正」のしかた** 1 メニューボタンを押す。 2 △/▽で「（テレビ設定）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。 3 △/▽で「初期設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。 4 △/▽で「二重画補正」を選び、真ん中を押し込んで決定する。 5 △/▽で「自動」または「0」～「3」の中から最適な数値を選び、真ん中を押し込んで決定する。 お買い上げ時の設定は「自動」になっています。「自動」の設定で二重画となってしまう場合は、「0」～「3」の中から、最適な数値を選んでください。 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
きれいに映らない	**斑点や点模様が走る。**	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞14ページ）。 • 「（画質/音質）」メニューで、画質を調整してください。
	画面がまぶしい。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞14ページ）。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるか確認してください。 • アンテナ線は、他の電源コードや接続ケーブルから、できるだけ離してください。 • 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	• ビデオとテレビが近いため、干渉しあっています。ビデオをテレビからできるだけ離して置いてください。
	画面がぼけている。	• 気温の低い部屋でご使用になっていませんか？結露しているかもしれません。部屋が暖まるまで、そのまましばらくお待ちください。自然に直ります。
	AV**マルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”、“プレイステーション”**（PS One）**および“プレイステーション”の画像がずれる。**	• 「（各種切換）」メニューで「AVマルチ画面位置」を調整してください（☞115ページ）。
ワイド画面が切り換わる	**オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断しているためです（☞12ページ）。 • 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞12ページ）。 • オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、「（画面モード）」メニューで「オートワイド設定」を選び、「オートワイド」を「切」にしてください（☞58ページ）。

音声について

症状		対処のしかた
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。 • 「(各種切換)」メニューの「スピーカー」を「入」にしてください。「切」のときは、本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。
	雑音が多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • 「(テレビ設定)」メニューで、「初期設定」を選び、「オートステレオ」を「切」にしてください（☞18ページ）。
	聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声や第二音声*になっていませんか？（☞18、42ページ）*BSデジタル時のみ
テレビから異音がする	**「ピシッ」というきしみ音が出る。**	• 周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源スタンバイ時「カチッ」と音がする。	• 故障ではありません。これは衛星からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためで、本機に影響はありません。（このときデータ取得ランプが点灯します。）（☞130ページ）
	テレビの電源を切ってもファンの音がする。	• 冷却ファンが回っています。約2分後に止まります。

次のページにつづく

BSについて

症状		対処のしかた
BSが映らない／乱れる	**アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。**	● BSアンテナの前方に障害物がないところに設置してください。 ● BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● BSアンテナの大きさが適切かを確認してください。 ● BSアンテナの方向・角度を調整してください（☞85ページ）。 ● BSアンテナと本機は、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（☞73ページ）。 ● 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。
	BSが映らない/画像が乱れている。	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ●「（BSデジタル）」メニューで「（初期設定）」を選び、「BS設定」で、「BSアンテナ設定」を「オート」または「入」にしてください（☞83ページ）。 ● BSアンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● BSアンテナの大きさが適切かを確認してください。 ● BSアンテナの方向・角度を調整してください（☞85ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● サテライト/UV分配器でVHF/UHFとBSを分波してください（☞72ページ）。 ●「（BSデジタル）」メニューで「（初期設定）」を選び、「BS設定」で、「BSアンテナ設定」を「切」にしてください（☞83ページ）。 **複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合** ● BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、晴れていても、BSを送信する放送衛星会社（☞20ページ）の地域で雨や雪が降っても映りが悪くなることがあります。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● BS専用のケーブルを使ってください（☞73ページ）。 ● 加入申し込みが必要なBSチャンネルもあります（☞94ページ）。
	BSのチャンネルが映らない。	● B-CASカードは正しい向きで入っていますか？（☞90ページ） ● ICカード挿入口のふたは閉まっていますか？（☞90ページ） ● 放送日や時間を確認してください。 ● 受信契約（加入申し込み）をしていますか？（☞94ページ） ● 長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。

症状		対処のしかた
BSが映らない／乱れる	チャンネル＋/－ボタンで選局できない。	● 本機では、BSテレビとBSラジオ、BS独立データの、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっているBSをご確認ください（☞8ページ）。 ● 1 〜 12 のBS用数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないとチャンネル＋/－ボタンで選局できません（☞100ページ）。 ● マルチチャンネル放送の臨時放送（☞29ページ）や緊急放送（☞30ページ）は選局できません。
	BSのチャンネルが切り換わらない。	● BS固定にしていないかを確認してください（☞46ページ）。
	画面が黒くなり何も映らない。	● 音声だけのBSラジオのチャンネルが選ばれたためです。故障ではありません。 ● 2画面のとき、操作画面でBSラジオやBS独立データを選ぶと、操作画面は黒くなり何も映らなくなります。
	映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	● 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り替わる場合があります。ひんぱんに切り替わるときは、「(BSデジタル)」メニューで「(初期設定)」を選び、「BS設定」で、「降雨対応放送」を「切」にしてください（☞28ページ）。
	BSチャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	● デジタルハイビジョン放送HDと標準テレビ放送SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。
BSの音声が乱れる／おかしい	音声が出ない/音声がおかしい。	● 第二音声が選ばれていませんか？（☞42ページ）
	2か国語が混じってビデオに録音されていた。	● BS固定を「入」にして、BS／ビデオ出力端子からビデオに録画すると、つねに、音声(左)から主音声、音声(右)から副音声が出力されます。ビデオで二重音声番組を記録したときは、再生時にビデオのリモコンで聞きたい音声を選んでください。（☞47ページ）（本機後面の光デジタル出力端子から録音したときも、同様です。☞121ページ）
BS番組表に表示されない	番組表に表示されないチャンネルがある。	● 本機では、BSテレビとBSラジオ、BS独立データで、それぞれの番組表が表示されます。ご覧になっている番組表をご確認ください（☞40ページ）。 ● リモコンの△/▽で、番組表を上下に送って表示したいチャンネルを選んでください。 ● 1 〜 12 のBS用数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないと番組表に表示されません（☞100ページ）。
BS番組の購入などができない	ペイ・パー・ビュー（PPV）が購入できない。	● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください（☞75〜77ページ）。 ● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください（☞92〜93ページ）。 ● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 ● 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。

その他

次のページにつづく

症状		対処のしかた
BS電源ランプが点滅する／表示が消えない	**BS電源ランプが点滅する。または、「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」と表示される。**	**BSアンテナをつないでいるときは** ①74ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。 ②表示が消えたときは、もう一度、受信設定してください（☞83ページ）。そのときに、「（BSデジタル」）メニューで「（初期設定）」を選び、「BS設定」で、「BSアンテナ設定」を「オート」または「入」にしてから行ってください。 **マンションなど共同受信システムのときは** ①74ページ下の手順1〜2にしたがって操作し、手順3で「BSアンテナ設定」を「切」にしてください。 ②それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

メニューやリモコンについて

症状		対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	**メニューで選べない項目がある。**	• 黒く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
	設定した（BSデジタル）メニューの項目が正しく反映されていない。	• BSデジタル信号には、多くの情報が含まれています。そのため、（BSデジタル）メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチでテレビの主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、再度設定しなおしてください。
	「ICカードとのアクセスが成立しません　ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。	• B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください（☞90ページ）。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞94ページ）。 • B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンター（☞94ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 • 付属のB-CASカード以外は使えません（☞90ページ）。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部(☞140ページ)に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	リモコンの①〜⑫/選局の地上波用数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞94ページ）** • 「（テレビ設定）」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞94ページ）** • 「（テレビ設定）」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは ① を2回、12チャンネルは ① と ② を続けて押してから、⑫/選局 を押してください。 • ①～⑩/0 の地上波用数字ボタンに続けて ⑫/選局 を押してください。

その他

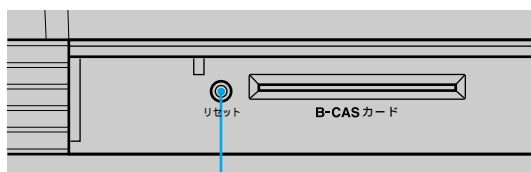
次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

リセットボタンについて

過大な静電気や落雷による電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなったり、映像や音声が正常に出なくなった場合は、ICカード挿入口近くにあるリセットボタンをペンの先などで1回押してください。
本体がリセットされて、正常に動作するようになります。
リセットボタンを押すと、メールランプとデータ取得ランプが数秒間交互に点滅し、リセットされるのに約15秒間かかります。

また、リセット後に異常が改善されず、かつ、以下の表示が出た場合はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。
- 本体前面のメールランプとデータ取得ランプが、同時に点滅した場合は、点滅回数。
- 「デジタル自己診断メニュー」画面が表示された場合は、緑色の数字。

本機前面（ICカード挿入口のフタを開けたところ）

電源スタンバイ時のデータ取得について

電源スタンバイ時に、「カチッ」と音がして、データ取得ランプが点灯したときは、衛星からのデータを取得するための動作です。故障ではありません。
データ取得が終わったら、自動的にスタンバイ状態に戻り、データ取得ランプも消灯します。

自動で衛星ダウンロードする機能について

衛星ダウンロードとは、BSから送信されてくるソフトウェア書き換え用のデータ信号を本機が受信し、**電源スタンバイ中（本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯中）に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。**ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、BSデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

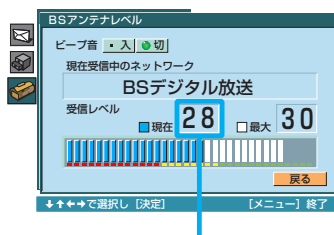
お買い上げ時は、本機が衛星ダウンロードを自動で行う設定（「衛星ダウンロード：オート」）になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、BSデジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

ご注意

- 手動では衛星ダウンロードできません。
- 衛星ダウンロードを行わないようには設定できます（☞133ページ）。ただし、BSデジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動で衛星ダウンロードできる設定のまま、お使いいただくよう、強くお勧めします。
- BS固定中（☞46ページ）は、電源スタンバイ中でも、衛星ダウンロードは行われません。
- 本体の電源スイッチを押して、電源を切ると、衛星ダウンロードは行われません。

次の二つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動で衛星ダウンロードが行われます。

● **BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっている。**

20未満のときは、衛星ダウンロードが正しく行われません。アンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。
BSアンテナの「現在の受信レベル」は、「(BSデジタル)」メニューで「(初期設定)」を選び、「BS設定」で「BSアンテナレベル」を選ぶと、画面に表示されます。

20以上であれば、衛星ダウンロードが正しく行われます。

● **「衛星ダウンロード：オート」の設定*になっている。**

「衛星ダウンロード：しない」に設定されていると、衛星ダウンロードが行われません。
なお、「衛星ダウンロード」設定は、「(BSデジタル)」メニューで「(初期設定)」を選び、「BS設定」で「衛星ダウンロード」を選ぶと、画面に表示されます。

* お買い上げ時の設定です。

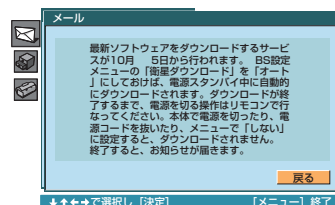
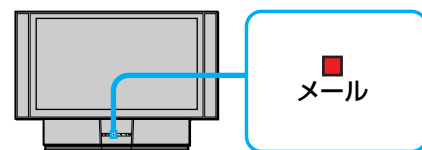
衛星ダウンロードの流れについて

衛星ダウンロードが行われるときは

放送衛星（BS）からソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信されてきたときは、本体のメールランプが点灯し、次のような**「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが届きます。**

文面は異なる場合があります。

その他

次のページにつづく

自動で衛星ダウンロードする機能について（つづき）

「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは

1 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

2 BSになっていないときは、リモコンのBSボタンを押して、BSに切り換える。

3 リモコン右横の開ボタンを押して、フタを開ける。

4 メニューボタンを押して、メニューを出す。

5 △/▽で「(BSデジタル)」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

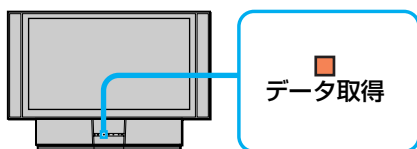
6 「(お知らせ)」が選ばれていることを確認し、真ん中を押し込んで決定する。

7 △/▽で「メール」を選び、真ん中を押し込んで決定する。

8 △/▽/◁/▷で新しいメールを選び、真ん中を押し込んで決定する。
「衛星ダウンロードのお知らせ」のときは、☞131ページのような内容のメールが表示されます。

9 メールを読んだ後、メニューボタンを押して、メニューを消す。

衛星ダウンロードの実行中は

衛星ダウンロードは電源スタンバイ時（テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているとき）にのみ、自動的に行われます。
電源スタンバイ中、数時間ごとに、衛星から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。
また、衛星ダウンロード中は、本体のデータ取得ランプが点灯します。

ご注意

衛星ダウンロード中は、本機の電源を入れたり、本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。衛星ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

衛星ダウンロードについてのQ&A

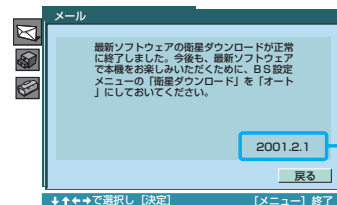
「衛星ダウンロードには、どれくらい時間がかかるの？」
ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、数時間ごとに送信されます。そのため、約3時間くらいの余裕をみてください。

「1回目の信号でうまく衛星ダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくと衛星ダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで電源を切ったりしたときは、衛星ダウンロードは行われません。

「衛星ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

衛星ダウンロードが正常に終了すると

「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、その代わりに、**「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届きます。**

ちょっと一言
新しく「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが送られてくると、その代わりに「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールは、自動的に削除されます。

「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届かないときは
まず、次のことをご確認ください。
- BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっていますか。
- 電源スタンバイ状態になっていましたか。

それでも、メールが届かないときは、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口へご相談ください。

「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールを確認したいときは

『「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは』と同じ手順で行ってください。

ダウンロードの設定を変えるときは

お買い上げ時は、本機が衛星ダウンロードを自動で行う設定（「衛星ダウンロード：オート」）になっています。これは、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、BSデジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただくためです。

そのため、**通常は設定を変えることなく、「オート」のままで、お使いいただくことをお勧めします。**

衛星ダウンロードを行わない設定（「衛星ダウンロード：しない」）にすると、BSデジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。

1. BSになっていないときは、リモコンの［BS］ボタンを押して、BSに切り換える。
2. リモコン右横の［開］ボタンを押して、フタを開ける。
3. メニューボタンを押して、メニューを出す。
4. △/▽で「（BSデジタル）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
5. △/▽で「（初期設定）」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
6. △/▽で「BS設定」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
7. △/▽で「衛星ダウンロード」を選び、真ん中を押し込んで決定する。
8. △/▽で設定し、真ん中を押しこんで決定する。
9. メニューボタンを押して、メニューを消す。

使用上のご注意

別冊の「安全のために」もあわせてご覧ください。

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や緑などの点が消えなかったりすることがあります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

設置場所について

- 本機を設置するときは、強い光が画面に直接あたらないように設置してください。外光や照明などの強い光が画面に直接あたると、液晶プロジェクションテレビの構造上、本機内部で反射して、画面の一部が白っぽく見えることがあるためです。
- 本機は見る位置により、見やすさが多少異なります。また、画面を間近から見ると、目や神経などが疲れることがあります。5ページの図を参考に設置して、見やすい場所からご覧ください。
- また、お買い上げ時、お好み画質モードは、明るくコントラスト（ピクチャー）の強い「ダイナミック」に設定されています。使う場所によっては、暗い画質モードを選んでも、充分ご覧いただけます。
  リモコンのお好み画質ボタンを繰り返し押して、お好み画質モードを選んでください（☞14ページ）。「ダイナミック」の他に、「スタンダード」（標準的な画質）や、「AVプロ」（コントラストや明るさなどが手動で設定できる画質）、「マイルド」（ノイズが目立つ画面用）が選べます。

設置上のご注意

万が一、異常があった場合、電源プラグをすぐに抜く事ができるように本体を据えつけてください。

お手入れ

スクリーン面の汚れは

スクリーン面は反射による映り込みを押さえるため、特殊な表面処理を施してあります。過ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面に付いた汚れは、付属のクリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、付属のクリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研摩剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

各BS局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターやB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KDF-50HD700

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
BSデジタル放送方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
BSデジタルテレビ、BSラジオ、BS独立データの各チャンネル
構造　スクリーン、投射一体型
背面投射タイプ
投射方式　3液晶パネル、1レンズ方式
液晶パネル　1.35インチTFT 液晶パネル
104万9088画素（約315万ドット）
ランプ　UHPランプ
100W: XL-2000J
レンズ　F2.4
大口径広角レンズ
スクリーン　特殊3枚構成スクリーン
画面寸法（幅×高さ×対角線径）
1096×616×1257mm
BS対応周波数　1022～1336 MHz
BS対応ローカル周波数
10.678 GHz
使用スピーカー　ウーファー 10cm 丸（2）
フルレンジスピーカー 7×13cm楕円（2）
ツイーター 3cm 丸（2）
音声出力　総合音声出力 30W

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り替え）
ビデオ1、2、3、4入力端子
S2映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
コンポーネント1入力端子
映像: ピンジャック
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
P_B/P_R、C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
コンポーネント2入力端子
D4映像:
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AVマルチ入力端子　12ピン
BS/ビデオ出力端子
S2映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送の最大出力
–12dB時の数値です。
音声出力端子　5.1ch出力、ピンジャック
最大出力レベル 2.0 Vrms
出力インピーダンス 5 kΩ
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
光デジタル音声出力端子
PCM（2ch）音声のみ出力
電話回線端子　モジュラージャック

電源部・その他

モデム通信速度　2400 bps
使用温度　0～40 ℃
消費電力　223W
消費電力（リモコン待機時）:
BS固定が「切」: 0.5W
BS固定が「入」: 38W
最大外形寸法　137.6×96.4×35.4cm（突起部含まず）
137.6×96.4×41.5cm（突起部を含む）
（幅×高さ×奥行き）
質量　約51kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品
- リモートコマンダー　RM-J911（1）
- 乾電池　単4形（2）
- アンテナ接続ケーブル（1）
- テレホンコード（10m）（1）
- モジュラーテレホンコードカプラー（1）
- ランプ取付用レンチ（1）
- 転倒防止用クリップ（2）
- クリップ取り付け用ネジ（2）
- クリーニングクロス（1）
- BSデジタル放送用ICカード（B-CASカード）とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙（各1）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- ソニー用お客様ご登録カード（1）
- 安全のために（1）
- 安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

専用スタンド　SU-50DX
交換用ランプユニット　XL-2000J
ステレオヘッドホン　MDR-AV55
テレビラック固定ベルト　BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- 本機は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	KDF-50HD700
認証番号	A01-0022JP

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル（☞85ページ）

BSアンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）（☞23ページ）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急放送（☞30ページ）

BSデジタルの標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。
緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ（CATV）（☞80ページ）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送（☞28ページ）

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り替わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

ゴースト（☞96ページ）

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

三次元Y/C分離回路

本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

識別制御信号（☞56ページ）

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－ワイドクリアビジョン放送
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
－横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
－D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

字幕放送（☞45ページ）

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線（☞23ページ）

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビ（地上波）チューナーおよびBSデジタルチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送（☞113ページ）

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン放送HD（☞20ページ）

BSデジタルの放送で1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

ハイビジョン放送（☞3ページ）

BSアナログでのBS9チャンネル（NHKハイビジョン）の放送です。BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送HDではありません。

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

標準テレビ放送SD（☞23ページ）

BSデジタルの放送で525pと525iの画像方式があり、525iは現行テレビ放送と同等の画質です。

プログレッシブ（順次走査）（☞23ページ）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

次のページにつづく

用語集（つづき）

マ行

マルチチャンネル放送（☞21、29ページ）

BSデジタルの標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。
同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する「タイプ1」と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う「タイプ2」があります。

マルチビュー放送（☞21、44ページ）

BSデジタルの標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。
生中継の番組などで、最多3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数（☞23ページ）

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ（地上波）放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。現行のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョンHD放送では、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

臨時放送（☞29ページ）

BSデジタルの標準テレビ放送SDの多チャンネル放送を利用した放送です。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

5.1ch（チャンネル）サラウンドステレオ（☞25ページ）

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンドステレオ方式です。
本機の音声出力端子に5.1ch入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドステレオの音声を楽しめます。

BSアナログ放送（☞3ページ）

従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル（NHK衛星第一／第二、NHKハイビジョン、WOWOW）と、独立音声ラジオ放送1チャンネル（St. GIGA）です。

BSデジタル放送（☞20ページ）

2000年12月から本放送が開始された、放送衛星を使ってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子（☞108ページ）

デジタルCS放送やDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD4入力端子が付いてます。

- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応
  本機では 750p の画像方式を 1125i の画像方式に変換して表示します。

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG（☞40ページ）

「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、放送局から送信される番組表（タイトルや番組説明、放映時間など）のことです。

ICカード（B-CASカード）（☞90ページ）

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チューナー本体のID番号やチャンネルの契約、購入内容などの情報がICカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

ID-1方式（ビデオID-1システム）（☞12ページ）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～4入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

PPV（ペイ・パー・ビュー）（☞37ページ）

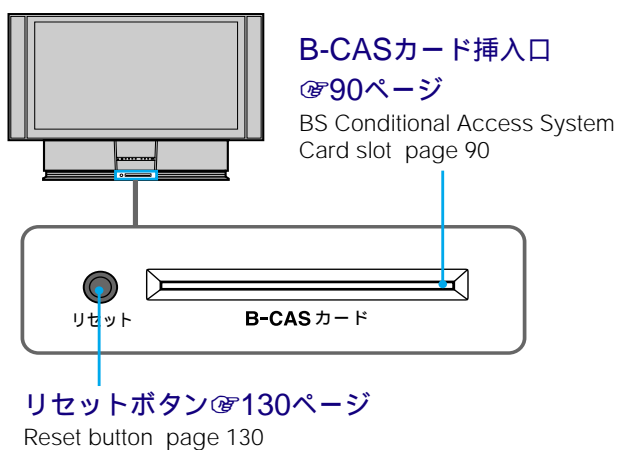
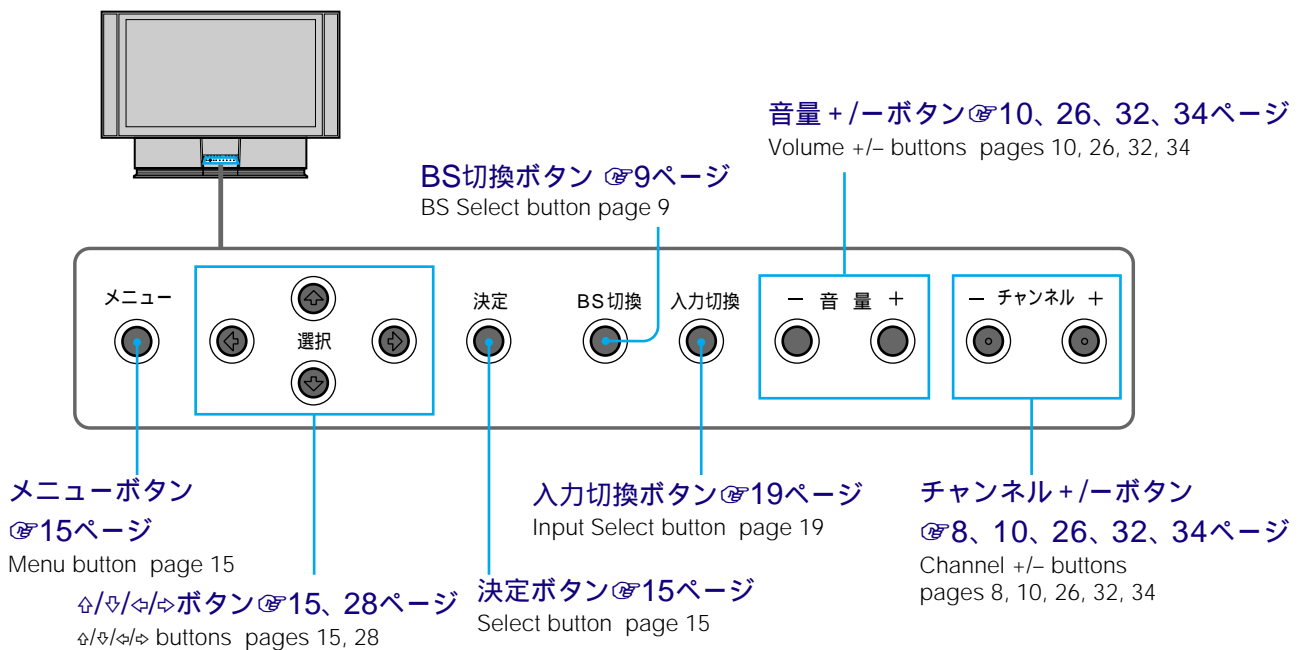
「見るたびに支払う」という意味で、一回視聴するごとに購入する番組のことです。

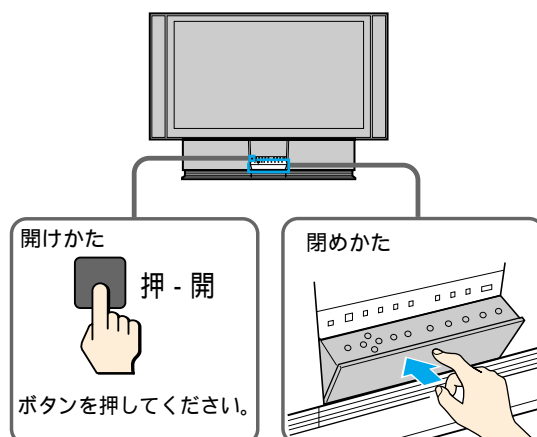
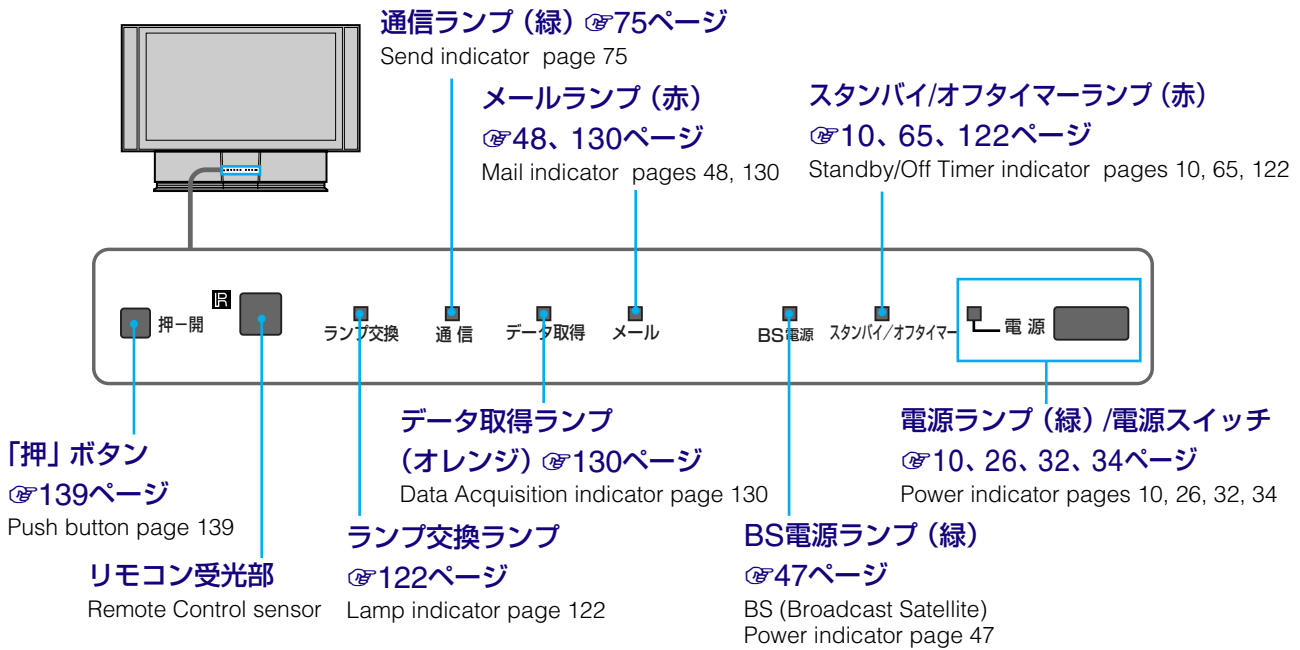
S2方式（S2映像）（☞12ページ）

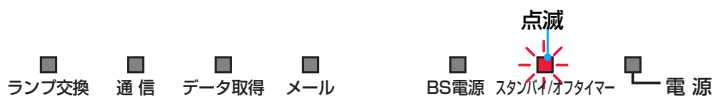
S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。
本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

その他

次のページにつづく

ランプの点灯について

状態	ランプ交換	通 信	データ取得	メール	BS電源	スタンバイ/オフタイマー	電 源
主電源「切」のとき							
電源スタンバイのとき（BS録画固定「切」のとき）							
電源スタンバイのとき（BS録画固定「入」のとき☞47ページ）							
電源が入っているとき						オフタイマー「入」のときは、赤く点灯（☞65ページ）	
BSアンテナ電源のショートなど（☞74ページ）					点滅		

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

状態	ランプ交換	通 信	データ取得	メール	BS電源	スタンバイ/オフタイマー	電 源
自己診断表示（☞122ページ）						点滅	
データ取得中/衛星ダウンロード中（☞130、131ページ）							
通信中（☞75ページ）（電源スタンバイ時も点灯しません）							
未読メールがあるとき（☞48ページ）							
光源用ランプが切れているとき（☞6、122ページ）	点滅						

リモコン/Remote Control

画面表示ボタン☞10、26、32、34ページ
Display button　pages 10, 26, 32, 34

消音ボタン☞10、26ページ
Mute button　pages 10, 26

入力切換用ボタン☞19ページ
　ビデオボタン
　コンポーネントボタン
　AVマルチボタン
Input Select buttons　page 19
　Video button
　Component button
　AV Multi button

d（連動データ）ボタン☞31ページ
Linkage Data button　page 31

お好み画質ボタン☞14ページ
Favorite Picture button　page 14

2画面ボタン☞50ページ
Picture-and-Picture button
page 50

音量＋/－ボタン
☞10、26、32、34ページ
Volume +/– buttons
pages 10, 26, 32, 34

二重音声ボタン☞18、42ページ
Audio Mode (Bilingual) button
pages 18, 42

電源スイッチ
☞10、26、32、34ページ
Power switch　pages 10, 26, 32, 34

メモボタン☞55ページ
Memo button　page 55

戻るボタン☞31、34ページ
Return to Menu button　pages 31, 34

番組説明ボタン☞28、41、42ページ
Program Explanation button　pages 28, 41, 42

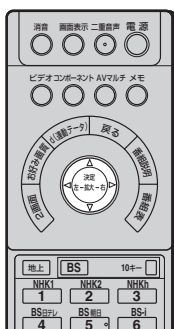
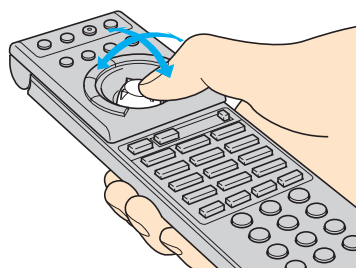
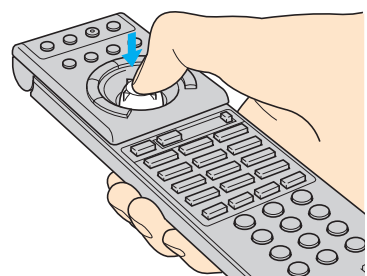
番組表ボタン☞41ページ
TV Program button　page 41

△/▽/◁/▷/決定/左拡大/右拡大
☞15、51、53ページ
△/▽/◁/▷/Select/Left Enlarge/Right Enlarge　pages　15, 51, 53

地上波用数字ボタン
☞8、10ページ
Non-Satellite TV Channel Number buttons　pages 8, 10

チャンネル＋/－ボタン☞8、10、26、32、34ページ
Channel +/– buttons　pages 8, 10, 26, 32, 34

ちょっと一言
- 青いボタンや青い文字のボタンは、BSの操作専用ボタンです。
- 黄色い文字のボタンは、二画面の操作専用ボタンです。

その他

各部の名前
Identifying parts and controls（つづき）

カラーボタン☞31、34ページ
Color buttons pages 31, 34

メニューボタン☞15ページ
Menu button page 15

ワイド切換ボタン☞13ページ
Wide Mode Select button page 13

オフタイマーボタン☞65ページ
Off Timer button page 65

BS ボタン☞8、26、32、34ページ
BS Select button pages 8, 26, 32, 34

地上 ボタン☞8、10ページ
Non-Satellite TV Select button pages 8, 10

テレビ ボタン☞8、26、32、34ページ
BS TV Select button pages 8, 26, 32, 34

ラジオ ボタン☞8、32ページ
BS Radio Select button pages 8, 32

BS固定ボタン☞46ページ
BS Recording button page 46

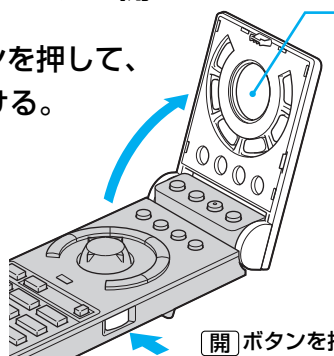
BS字幕ボタン☞45ページ
BS Submit button page 45

開 ボタン☞13ページ
Open button page 13

10キー ボタン☞8、26、32、34ページ
BS 10 Key button pages 8, 26, 32, 34

BS用数字ボタン☞8、26、32、34ページ
BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 8, 26, 32, 34

映像 ボタン☞44ページ
Multi View Select button page 44

独立データ ボタン☞34ページ
Data Select button page 34

メニュー一覧

- メニューは△/▽/◁/▷で選び、真ん中を押しこむか、または▷で決定します。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 灰色で表示される部分は選べません。
- もう一度メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

その他

次のページにつづく

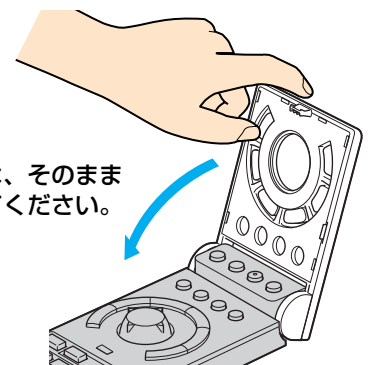
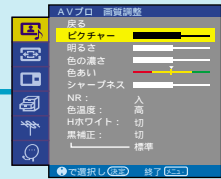
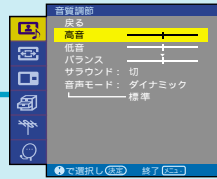
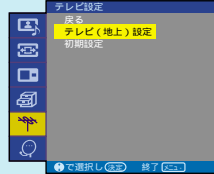
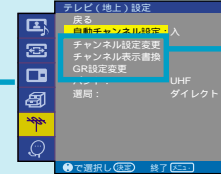
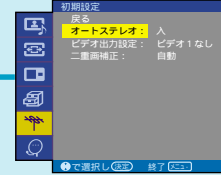
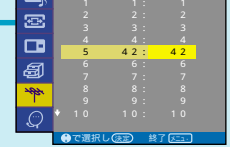
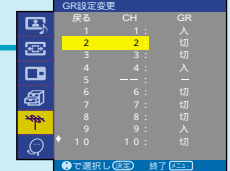
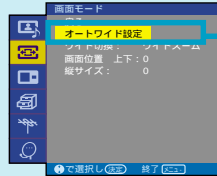
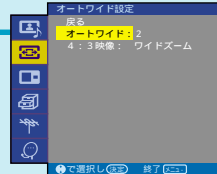
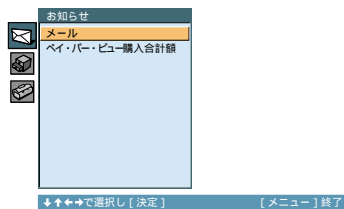
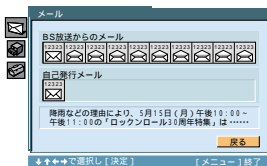
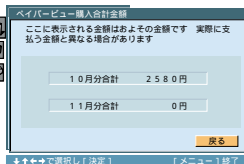
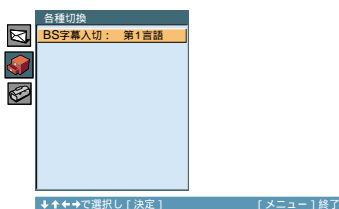
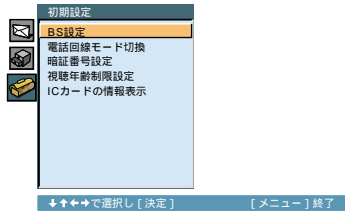
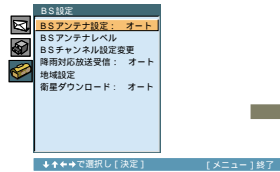
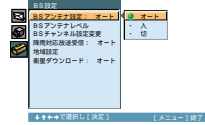
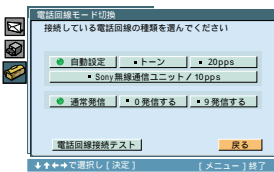
メニュー一覧（つづき）

（BSデジタル）メニューの一覧

（BSデジタル）メニュー以外の各メニュー（☞143ページ）に戻るには

1 メニューボタンを押して、（BSデジタル）メニュー画面を消す。
2 もう一度、メニューボタンを押す。
☞143ページのメニュー画面が表示されます。
3 △/▽/◁/▷で選び、真ん中を押しこむか、または▷で決定する。

ご注意

BSデジタル信号には、多くの情報が含まれています。そのため、（BSデジタル）メニューの項目を設定した直後（約2分以内)に、本体の電源スイッチでテレビの主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、再度設定しなおしてください。

初期設定（☞83、85、87、92、98、100、102、104ページ）
初期設定
BS設定
電話回線モード切換
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
ICカードの情報表示
BS設定（☞83、85、87、98、100ページ）
電話回線モード切換（☞92ページ）
暗証番号設定（☞102ページ）
視聴年齢制限（☞104ページ）
ICカードの情報表示
BSアンテナ設定（☞85ページ）
BSアンテナレベル（☞85ページ）
BSチャンネル設定変更（☞98、100ページ）
地域設定（☞87ページ）
降雨対応放送受信（☞28ページ）
衛星ダウンロード（☞133ページ）
県域設定（☞87ページ）
郵便番号入力（☞87ページ）

その他

索引

青色の文字は、メニュー中の項目です。

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

その他